

授業評価調査報告書

—よりよい授業への改善を目指して—

2012

四條畷学園短期大学

FD 委員会

目次

1. 全体像	2
2. カテゴリー別分析	
(1) ①の回答率別カテゴリー	7
(2) ②の受講者数別カテゴリー	13
(3) ③の1・2年生、2年生別カテゴリー	18
3. 自己点検報告書	29
付表 「教員による自己点検報告書」	
—学生による授業アンケート調査結果を受けて	
2012年度前期	30
2012年度後期	60
《保育学科→ライフデザイン総合学科→介護福祉学科・総合福祉コースの順》	
別紙	
1. 2012年度前期「授業についてのアンケート」実施要領	90
2. 自由記述用紙	93
3. 2012年度前期「教員による自己点検報告書」(様式)	94
《実施要領、自己点検報告書の内容、様式は後期についても 実質同じであり、前期分だけを掲載》	

2012 年度前期・後期授業評価アンケート調査報告

2011 年度前期から新しい方式での授業評価アンケート（注1）の実施を再開したが、本報告書では 2012 年度前期および後期のアンケート調査結果の内容を取り上げる。

注1：マークシート方式のアンケートから、携帯電話（補完的に学内のパソコン）を使用してアンケートサイトにアクセスする Web 形式のアンケートに変更した。また、質問項目も大幅に変更したが、新しい質問項目は下記を、更にアンケート実施要領についても巻末に掲載しているので、それぞれ参照されたい。

1. 全体像

全体の結果は下記の表1「授業評価アンケート比較（2012 年度・2011 年度前期～後期）」の通りである。学科ごとにアンケートの質問事項に対してその評価点平均値を示している。授業内容が学科ごとに大きく異なることから、学科ごとに集計し、3 学科・1 コース全体（注2）での集計は意図的に避けている。2011 年度のデータも付して、前期、後期ごとの比較も行えるようにしている。同一学科内でも前期、後期では授業内容が異なるが、それぞれ前期、後期に関しては年度が異なっても内容は似かよっているので年度間の比較は意味があるものと考えられる。

注2：2012 年度から介護福祉学科は、ライフデザイン総合学科「総合福祉コース」に改組した。2011 年度入学生は介護福祉学科にとどまるが、2012 年度生は「総合福祉コース」に属している。本報告書ではこの介護福祉学科・総合福祉コースは本文、表ともに「介護」と表記している。

表1 授業評価アンケート比較（2012年度・2011年度前期～後期）

年度・期	学科	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1～4 平均	II-B 1～2平 均	II-A/ II-B 平均 (*)
			1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2012年度 前期	保育	53.9%	0.64	3.81	4.02	3.86	3.82	3.96	3.93	3.92	3.83	3.96	3.89	3.88	3.88
	ライフ	56.2%	1.34	3.82	4.05	4.08	4.04	4.19	4.10	4.21	4.02	4.18	4.10	4.10	4.10
	総合福祉	72.7%	0.67	3.57	3.95	3.94	3.91	3.99	3.94	3.94	3.90	4.01	3.94	3.92	3.93
2012年度 後期	保育	40.8%	1.12	3.73	3.92	4.02	3.95	4.11	4.05	3.98	3.99	4.08	4.03	3.99	4.01
	ライフ	51.0%	2.05	3.99	4.20	4.26	4.22	4.36	4.31	4.30	4.21	4.39	4.29	4.26	4.27
	総合福祉	69.6%	1.16	3.66	3.80	4.01	3.97	4.03	3.90	3.94	4.00	4.17	3.98	3.97	3.97
2011年度 前期	保育	59.0%	0.90	3.66	3.93	3.83	3.82	3.92	3.89	3.94	3.84	3.97	3.86	3.89	3.88
	ライフ	67.2%	1.12	3.81	4.06	4.17	4.16	4.26	4.25	4.27	4.10	4.25	4.21	4.19	4.20
	介護	69.1%	0.78	3.36	3.68	3.98	3.94	3.95	3.93	4.00	3.93	4.04	3.95	3.97	3.96
2011年度 後期	保育	42.0%	1.59	3.68	3.96	4.14	4.14	4.21	4.15	4.19	4.17	4.24	4.16	4.18	4.17
	ライフ	60.4%	1.48	3.87	4.16	4.31	4.24	4.40	4.35	4.37	4.28	4.37	4.33	4.33	4.33
	介護	68.9%	1.06	3.51	3.72	3.90	3.92	4.01	3.92	3.99	3.98	4.17	3.94	3.98	3.96

・数値は授業科目ごとの結果を単純平均したもの。

* II-A 1～4平均とII-B 1～2平均

・授業科目ごとに担当教員に還元しているグラフ入りの結果では平均は項目ごとの平均で授業科目の枠を取り払って算出している。

のさらに平均をとったもの

I は学生が授業評価を行うに当たってまず自分自身の受講態度を振り返るために設けた質問項目である。このような導入プロセスを踏むことで授業評価に真摯に取り組む姿勢を助長することを狙ったものである。(注3)

注3:「自己点検報告書」では、一部の教員の間でこのIの点数も学生の授業評価の対象と理解されている向きがあったが、FD委員会としては、このデータは参考として捉えている。

II が授業評価の中心となるものだが、教員の姿勢（授業の「教え方」）についての質問項目（II-A）と授業の内容（授業の「中身」）についての質問項目（II-B）に大きく分かれる。

次に、新方式のアンケートでは授業全体の総合評価をII-Cとして独立させている。

質問項目は次の通りである。

授業評価アンケート項目

あなたの授業への取り組み姿勢について評価して下さい。

1. あなたのこの授業の欠席回数を選択して下さい。

0回・1回・2回・3回・4回・5回

2. 授業中に私語、メール、居眠りなどしませんでしたか。

そう思わない（私語などした）・あまりそう思わない ・ どちらでもない ・
ややそう思う ・ そう思う（私語などしなかった）

3. 授業中、勉学に集中していると思いますか。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

教員の取り組み姿勢と授業内容について評価して下さい。

A) 教員の姿勢（授業の「教え方」）

1. 教員の話し方は聞きとりやすかった（声の大きさ、スピードなど）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 内容が理解できるように授業が工夫されていた

（テキスト、プリント、板書、スライド、視聴覚教材、実演など）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

3. 教員は、学生の質問や発言に適切に対応していた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

4. 教員は、学生の私語を注意し、勉強しやすい環境を作っていた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

B) 授業の内容（授業の「中身」）

1. シラバスに書かれた授業目標を達成するのに、適した授業内容だった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 授業内容は理解しやすかった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

C) 総合評価

良くなかった ・ あまり良くなかった ・ どちらともいえない ・

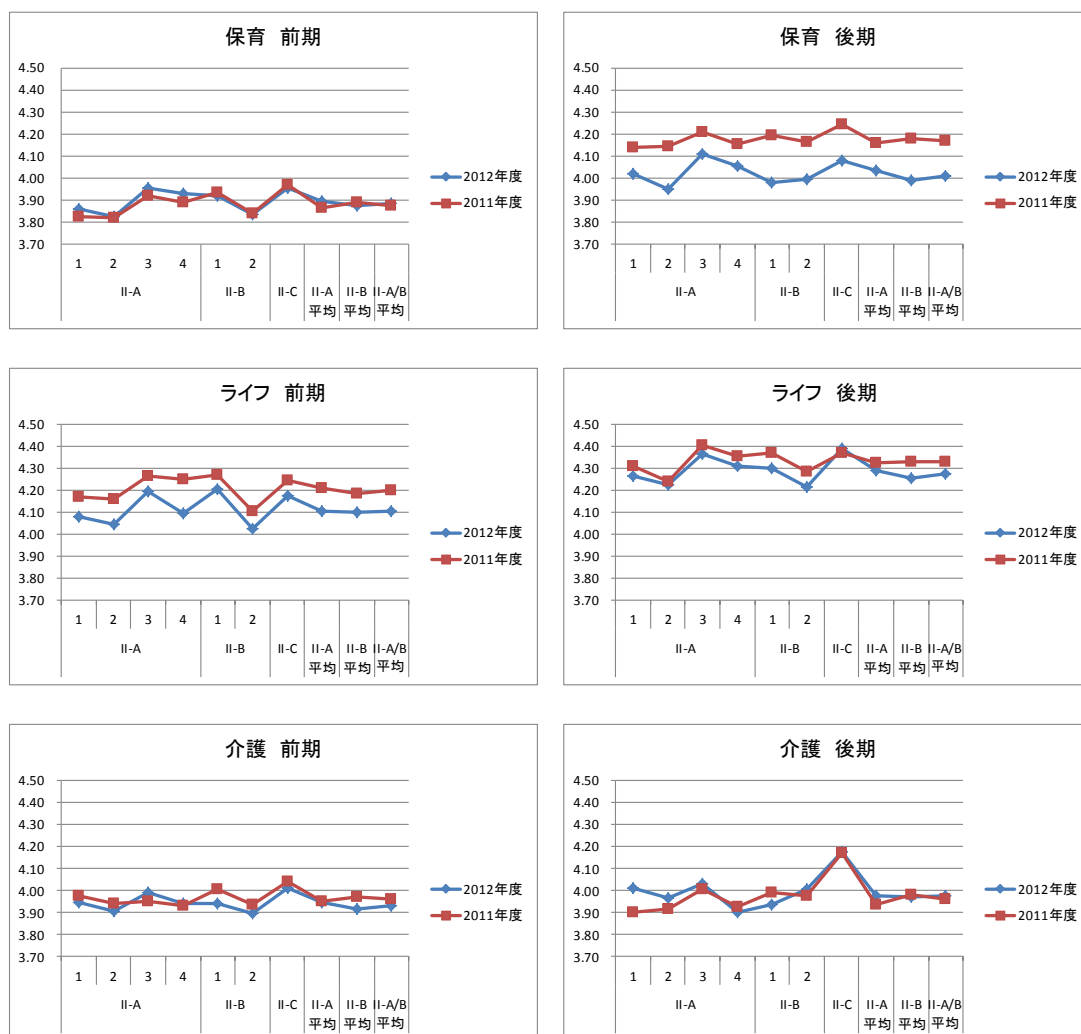
やや良かった ・ 良かった

各教員にはこの II-C までの数字が還元されているが、表 1 では II-A の中の項目 1~4 の単純平均および II-B の中の項目 1~2 の単純平均を算出している。授業の教え方と授業の中身とで評価に差がないかを見るためのものである。そして最終的にこの II-A の平均と II-B の平均のさらに単純平均をとったのが II-A/II-B 平均である。この数値と II-C を比較することで、総合評価の数字の出方の傾向を見ようと試みたものである。

尚、表 1 では回答率というデータを提供しているが、これは授業ごとの有効回答数を当該授業の受講者人数（アンケートを行う時点での UNIPA での履修登録人数）で割って得られる百分率の形で示している。主に携帯電話でアンケートを行う方式としていることの副作用としてマークシート方式でのアンケートに比べて回答率の低下が顕著にみられることから、このデータを算出している。履修登録人数には失格者やアンケート実施日に欠席した学生も含まれており、これらの学生にはアンケートを実施していないため、回答率は実際より過小評価される傾向がある。

こうした理解をした上で、表 1 をグラフ化したものが図 1 である。

図 1 授業評価アンケート比較（2011 年度 vs 2012 年度）



学科ごとに見ていくと次のように言える。

- ① 保育学科（以下、「保育」と略す）では、2012年度前期の評価は2011年度前期と比べほとんど同一結果となった。II-A/II-B 平均（項目ごとの評価平均値）では、3.88と同一であった。後期に関しては、2012年度は2011年度比評価がかなり低下した。II-A/II-B 平均では4.17から4.01に下降している。但し、両年度共に後期の方が前期より評価点は高い傾向が見られる。
- ② ライフデザイン総合学科（以下、「ライフ」と略す）では、2012年度前期の評価点は2011年度前期と比較するとやや低下している。II-A/II-B 平均では4.20から4.10に下降している。後期に関しては、2012年度は2011年度より僅かながら低い評価となっている。II-A/II-B 平均では4.33から4.27に下降している。後期の方が前期より評価が高い傾向が保育と同様に見られる。
- ③ 介護福祉学科・総合福祉コース（以下、「介護」と略す）では、前、後期共に2012年度は2011年度とほとんど同じ評価となっている。II-A/II-B 平均では、前期は3.96（2011年度）と3.93（2012年度）、後期は3.96（2011年度）と3.97（2012年度）となっている。前、後期で評価はほとんど同じ水準と言える。

尚、2011年度と同様に2012年度に関しても学科間で次のことが共通して言える。

- ① II-A 1～4 平均と II-B 1～2 平均の間には大きな差がない。
- ② II-C は II-A/II-B 平均（項目ごとの評価平均値）より大きい、すなわち総合評価は個別項目の評価より高くなる傾向が見られる。

一方、回答率については、表 1 に依拠すると学科別に次の事が言える。

- ① 保育では、前期に比べ後期が低い傾向がはっきりしているが、2012年度は2011年度に比べ同じ傾向を示しつつ、回答率の水準がさらに低下し、2012年度後期の回答率は40.8%にまで下降した。
- ② ライフでも、前期と後期間の関係では保育と同じ傾向が見られるが、回答率の下落傾向は一層顕著で、2012年度後期は51.0%まで低下した。回答率の水準としては2011年度は60%台、2012年度は50%台であった。
- ③ 介護でも、前期と後期間の関係は保育、ライフと同じ傾向はあるものの、低下幅は小さい。2011年度から2012年度にかけて、介護では回答率の上昇が見られる。2012年度前期は72.7%、後期でも69.6%と、保育、ライフに比べ圧倒的に高い回答率水準となっている。

2. カテゴリー別分析

こうした全体的な傾向を掘り下げて分析するため、次の3つのカテゴリーに分けてデータを分析してみた。

- ① 回答率別
- ② 受講者数別
- ③ 1・2年生、2年生別

①は回答率を20%刻みで5つの階層に分け、階層ごとの評価点平均値を上記Iと同じ項目について算出した。②は上記Iの回答率を算出する際に用いた受講者数データを利用して、50人以上、30～49人、10～29人、10人未満の4つの階層に分けて同様に平均値を算出した。③はシラバス記載ベースで2年生しか受講できないものと1、2年生双方が受講できるものとに区分して、それぞれの評価点平均値を同じく算出した。

尚、①～③のそれぞれのカテゴリーについて階層毎にどれくらいの授業科目が分布しているかを見るため、階層毎の授業科目数とその構成比率も算出してみた。

2011年度の報告書は新しい方式での授業評価に移行後最初の分析で、比較対象データが2011年度の前期、後期しかなかったが、2012年度報告書については、2011年度、2012年度と2年間のデータが利用できることから、前期、後期について年度ごとに比較対象を行うこととした。

(1) ①の回答率別カテゴリー

学科毎に次のことが言える。評価点平均値(以下「評価点」と記述する)は上記のII-A/II-B平均を指す。(下記の表2-1、2-2「回答率別」を参照)

(保育)

前期については、全体の評価点は2011年度が3.88に対して2012年度は3.88とまったく同水準であった。

2011年度 20～40%未満の階層を除いて回答率が下がるほど評価点は高くなる傾向がある。

2012年度 20%未満の階層を除いて回答率が下がるほど評価点も下がる傾向がある。

(2011年度と反対の現象)

後期については、全体の評価点は2011年度が4.17に対して後期は4.01と低下した。

2011年度 回答率が下がるにつれて評価点も下がる傾向がある。

2012年度 回答率が40%以上の階層では回答率が下がるにつれて評価点も下がる傾向があるが、40%未満の階層では逆に上昇している。

(前期と逆の現象)

2012年度については、回答率の低下にしたがって評価が下がる傾向はみられるものの、構成比率が45.7%と圧倒的に大きい階層（2012年度後期）から評価が反転しており、確定的な傾向ではない。

（ライフ）

前期については、全体の評価点は2011年度が4.20に対して2012年度は4.10と下降。

2011年度 回答率と評価点との相関関係は確認できない。

2012年度 回答率が低くなると評価点も下がる傾向が確認できる。

後期については、全体の評価点は2011年度が4.33に対して2012年度は4.27と下降。

2011年度 20%未満の階層を除くと回答率が低くなると評価点も下がる傾向がある。

2012年度 40%以上の階層では回答率が低下すると評価は上昇する傾向があるが、40%未満からは反対に下降している。

ライフに関しても、回答率と評価の間の相関関係は認めがたいのが実情である。

（介護）

前期については、全体の評価点は2011年度が3.96で、2012年度は3.93と若干低下した。

2011年度 60～80%未満の真ん中の階層の評価点が高く、これより高い階層、低い階層では評価点がやや低くなる傾向が見られる。

2012年度 回答率が低下すると評価点も下がる傾向が見られる。

後期については、全体の評価点は2011年度が3.96で、2012年度は3.97とほとんど変わっていない。

2011年度 60～80%未満の真ん中の階層で評価点が低く、これより高い階層、低い階層では評価点が高くなっている。

2012年度 回答率と評価点の間に相関関係は見られない。

介護に関しても、回答率と評価の間の相関関係を認めることは困難である。

表 2-1 回答率別 (2011 年度)

年度・期	学科	回答率	授業科目数	授業科目数構成比率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
					1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	80%~100%	14	16.3%	1.00	3.46	3.87	3.48	3.53	3.76	3.87	3.62	3.59	3.90	3.74	3.76	3.75
		60%~80%未満	30	34.9%	0.90	3.63	3.94	3.81	3.77	3.92	3.90	3.87	3.80	3.95	3.85	3.84	3.84
		40%~60%未満	25	29.1%	0.89	3.71	3.90	3.95	3.93	4.01	3.95	4.01	3.96	4.07	3.96	3.99	3.97
		20%~40%未満	14	16.3%	0.88	3.64	3.91	3.72	3.81	3.79	3.70	4.00	3.76	3.75	3.75	3.88	3.82
		20%未満	3	3.5%	0.67	4.00	4.20	4.27	4.27	4.27	4.27	4.20	4.27	4.60	4.27	4.23	4.25
		計	86	100.0%													
	ライフ	80%~100%	24	25.8%	1.06	3.80	4.09	4.26	4.24	4.39	4.33	4.34	4.20	4.37	4.31	4.27	4.29
		60%~80%未満	45	48.4%	1.22	3.82	4.00	4.08	4.08	4.21	4.18	4.21	4.01	4.19	4.14	4.11	4.12
		40%~60%未満	16	17.2%	1.00	3.69	4.12	4.22	4.29	4.36	4.34	4.37	4.16	4.22	4.30	4.26	4.28
		20%~40%未満	6	6.5%	1.12	3.93	4.17	4.45	4.14	4.27	4.32	4.21	4.31	4.28	4.29	4.26	4.28
		20%未満	2	2.2%	0.63	4.38	4.38	3.88	4.00	3.13	3.88	4.13	4.00	4.00	3.72	4.06	3.89
		計	93	100.0%													
	介護	80%~100%	6	20.0%	0.67	3.46	3.71	4.03	3.92	3.91	3.90	3.97	3.80	4.04	3.94	3.89	3.91
		60%~80%未満	20	66.7%	0.78	3.25	3.67	3.99	3.95	3.98	3.93	4.03	4.00	4.06	3.96	4.02	3.99
		40%~60%未満	4	13.3%	0.92	3.75	3.72	3.84	3.91	3.86	3.94	3.90	3.78	3.93	3.89	3.84	3.86
20%~40%未満																	
20%未満																	
計		30	100.0%														
2011年度 後期	保育	80%~100%															
		60%~80%未満	10	12.0%	2.06	3.58	3.98	4.22	4.23	4.32	4.27	4.33	4.35	4.37	4.26	4.34	4.30
		40%~60%未満	33	39.8%	1.63	3.58	3.89	4.13	4.11	4.24	4.20	4.19	4.15	4.21	4.17	4.17	4.17
		20%~40%未満	35	42.2%	1.43	3.79	4.03	4.15	4.18	4.20	4.12	4.18	4.22	4.29	4.16	4.20	4.18
		20%未満	5	6.0%	1.58	3.83	3.93	3.88	3.93	3.82	3.91	4.03	3.58	3.85	3.89	3.81	3.85
		計	83	100.0%													
	ライフ	80%~100%	19	21.1%	1.27	4.10	4.30	4.51	4.48	4.65	4.59	4.63	4.49	4.57	4.56	4.56	4.56
		60%~80%未満	29	32.2%	1.59	3.81	4.17	4.26	4.17	4.39	4.29	4.30	4.23	4.34	4.28	4.27	4.27
		40%~60%未満	30	33.3%	1.50	3.80	4.11	4.24	4.19	4.29	4.27	4.33	4.23	4.32	4.25	4.28	4.26
		20%~40%未満	10	11.1%	1.39	3.67	4.04	4.19	4.12	4.20	4.23	4.21	4.12	4.12	4.19	4.17	4.18
		20%未満	2	2.2%	1.84	4.67	4.00	4.67	4.34	5.00	4.84	4.17	4.67	4.84	4.71	4.42	4.56
		計	90	100.0%													
	介護	80%~100%	3	12.5%	0.97	3.78	3.91	3.95	4.02	4.20	4.12	4.12	4.09	4.35	4.07	4.10	4.09
		60%~80%未満	14	58.3%	1.14	3.51	3.63	3.82	3.87	3.91	3.86	3.87	3.91	4.09	3.86	3.89	3.87
		40%~60%未満	7	29.2%	0.96	3.40	3.82	4.04	3.97	4.12	3.96	4.17	4.07	4.25	4.02	4.12	4.07
20%~40%未満																	
20%未満																	
計		24	100.0%														

表 2-2 回答率別 (2012 年度)

年度・期	学科	回答率	授業科目数	授業科目数構成比率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
					1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2012年度 前期	保育	80%~100%	8	10.1%	0.62	3.59	4.20	3.97	3.94	4.22	4.12	4.00	3.99	4.13	4.06	4.00	4.03
		60%~80%未満	27	34.2%	0.57	3.81	4.04	3.92	3.91	3.99	4.00	3.94	3.88	4.04	3.95	3.91	3.93
		40%~60%未満	22	27.8%	0.66	3.91	4.07	3.84	3.80	3.96	3.93	3.84	3.83	3.93	3.88	3.84	3.86
		20%~40%未満	20	25.3%	0.68	3.78	3.84	3.76	3.67	3.81	3.77	3.92	3.69	3.79	3.75	3.81	3.78
		20%未満	2	2.5%	1.00	4.00	4.25	3.75	4.05	3.98	3.91	3.98	4.04	4.20	3.92	4.01	3.97
		計	79	100.0%													
	ライフ	80%~100%	19	20.2%	1.47	4.16	4.42	4.26	4.31	4.47	4.45	4.48	4.29	4.45	4.37	4.34	4.35
		60%~80%未満	21	22.3%	1.08	3.73	3.99	4.10	4.09	4.30	4.13	4.19	4.10	4.24	4.15	4.14	4.15
		40%~60%未満	35	37.2%	1.30	3.87	4.03	4.19	4.12	4.23	4.11	4.24	4.07	4.24	4.16	4.15	4.16
		20%~40%未満	14	14.9%	1.57	3.65	3.94	4.05	4.02	4.12	4.05	4.20	4.02	4.17	4.06	4.11	4.08
		20%未満	5	5.3%	1.44	2.92	3.40	2.82	2.58	2.78	2.78	3.22	2.58	2.58	2.74	2.90	2.82
		計	94	100.0%													
	介護・ 総合 福祉	80%~100%	6	20.0%	0.45	3.70	4.03	4.13	4.00	4.17	4.15	4.05	4.00	4.21	4.11	4.03	4.07
		60%~80%未満	21	70.0%	0.75	3.54	3.96	3.91	3.88	3.95	3.90	3.91	3.87	3.99	3.91	3.89	3.90
		40%~60%未満	3	10.0%	0.61	3.52	3.74	3.82	3.89	3.87	3.82	3.89	3.87	3.73	3.85	3.88	3.86
20%~40%未満																	
20%未満																	
計		30	100.0%														
2012年度 後期	保育	80%~100%	2	2.9%	2.02	4.01	4.25	4.29	4.27	4.31	4.33	4.16	4.35	4.25	4.30	4.25	4.28
		60%~80%未満	10	14.3%	1.13	3.71	3.99	4.11	4.03	4.28	4.17	4.00	4.10	4.18	4.15	4.05	4.10
		40%~60%未満	19	27.1%	1.13	3.75	3.94	3.88	3.76	3.91	3.90	3.84	3.80	3.92	3.86	3.82	3.84
		20%~40%未満	32	45.7%	1.12	3.64	3.82	3.97	3.92	4.10	4.01	3.98	3.97	4.03	4.00	3.98	3.99
		20%未満	7	10.0%	1.14	3.99	4.07	4.21	4.25	4.24	4.25	4.16	4.23	4.25	4.24	4.19	4.21
		計	70	100.0%													
	ライフ	80%~100%	14	15.6%	1.79	4.11	4.32	4.20	4.12	4.37	4.26	4.38	4.18	4.41	4.24	4.28	4.26
		60%~80%未満	21	23.3%	2.08	3.94	4.21	4.39	4.31	4.48	4.36	4.38	4.29	4.34	4.39	4.34	4.36
		40%~60%未満	23	25.6%	2.07	3.98	4.22	4.37	4.30	4.47	4.40	4.38	4.32	4.49	4.39	4.35	4.37
		20%~40%未満	24	26.7%	2.05	4.06	4.26	4.29	4.24	4.29	4.30	4.22	4.22	4.32	4.28	4.22	4.25
		20%未満	8	8.9%	2.38	3.72	3.72	3.66	3.88	3.97	4.03	3.97	3.75	4.39	3.88	3.86	3.87
		計	90	100.0%													
	介護・ 総合 福祉	80%~100%	6	23.1%	1.23	3.80	3.80	3.76	3.69	3.75	3.68	3.74	3.74	3.81	3.72	3.74	3.73
		60%~80%未満	15	57.7%	1.10	3.69	3.90	4.19	4.17	4.23	4.09	4.18	4.22	4.43	4.17	4.20	4.19
		40%~60%未満	4	15.4%	1.25	3.38	3.46	3.67	3.65	3.68	3.49	3.38	3.57	3.70	3.92	3.94	3.93
20%~40%未満		1	3.8%	1.20	3.60	3.80	4.20	3.80	4.20	4.00	3.60	4.00	4.40	4.05	3.80	3.93	
20%未満																	
計		26	100.0%														

尚、2012年度と2011年度の回答率別評価点をグラフ化すると次の図2-1、2-2の通りであるが、回答率が20%未満の場合、評価は他の回答率の階層と比べかけ離れて高かったり低かったりする傾向が見られ、回答数の少なさが極端な結果となる可能性が大きいことを示しているものと解釈される。

図 2-1 回答率別評価点（前期）

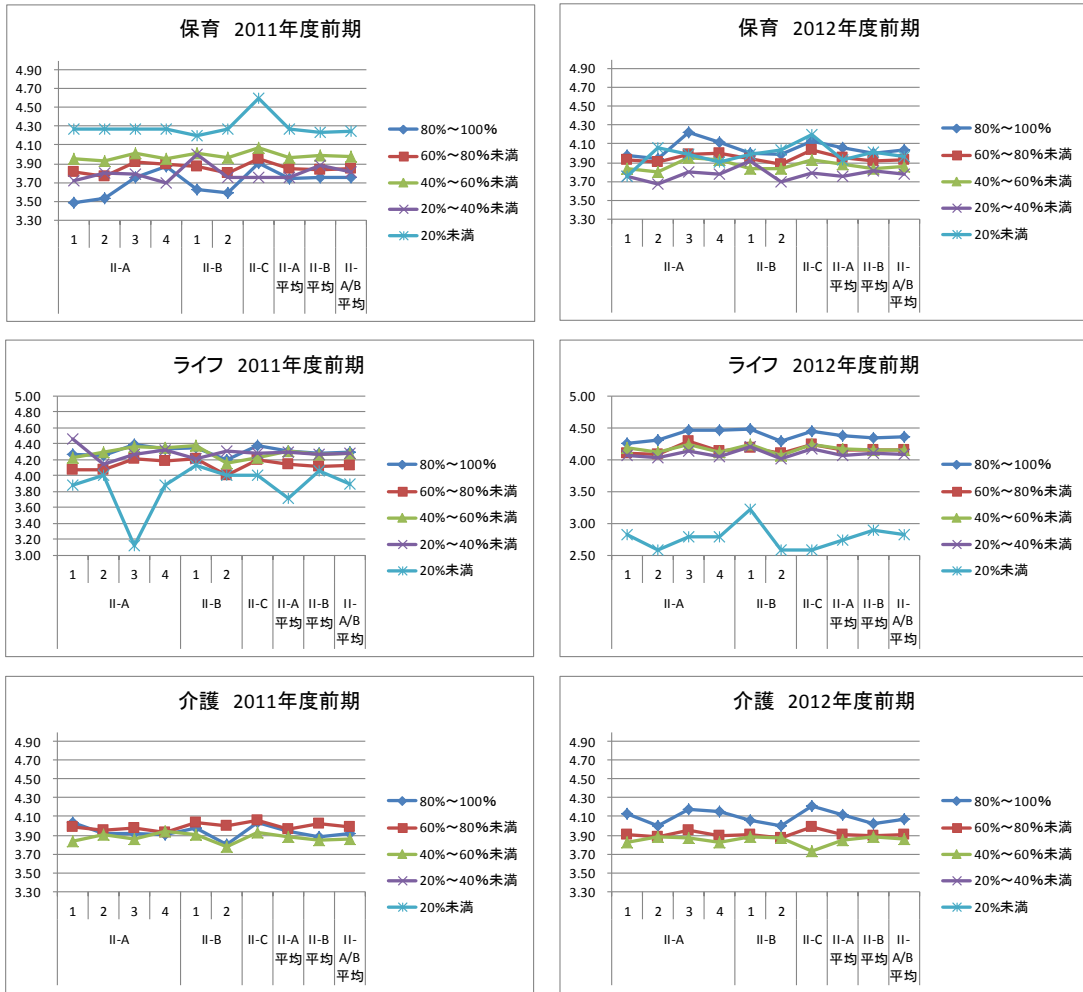
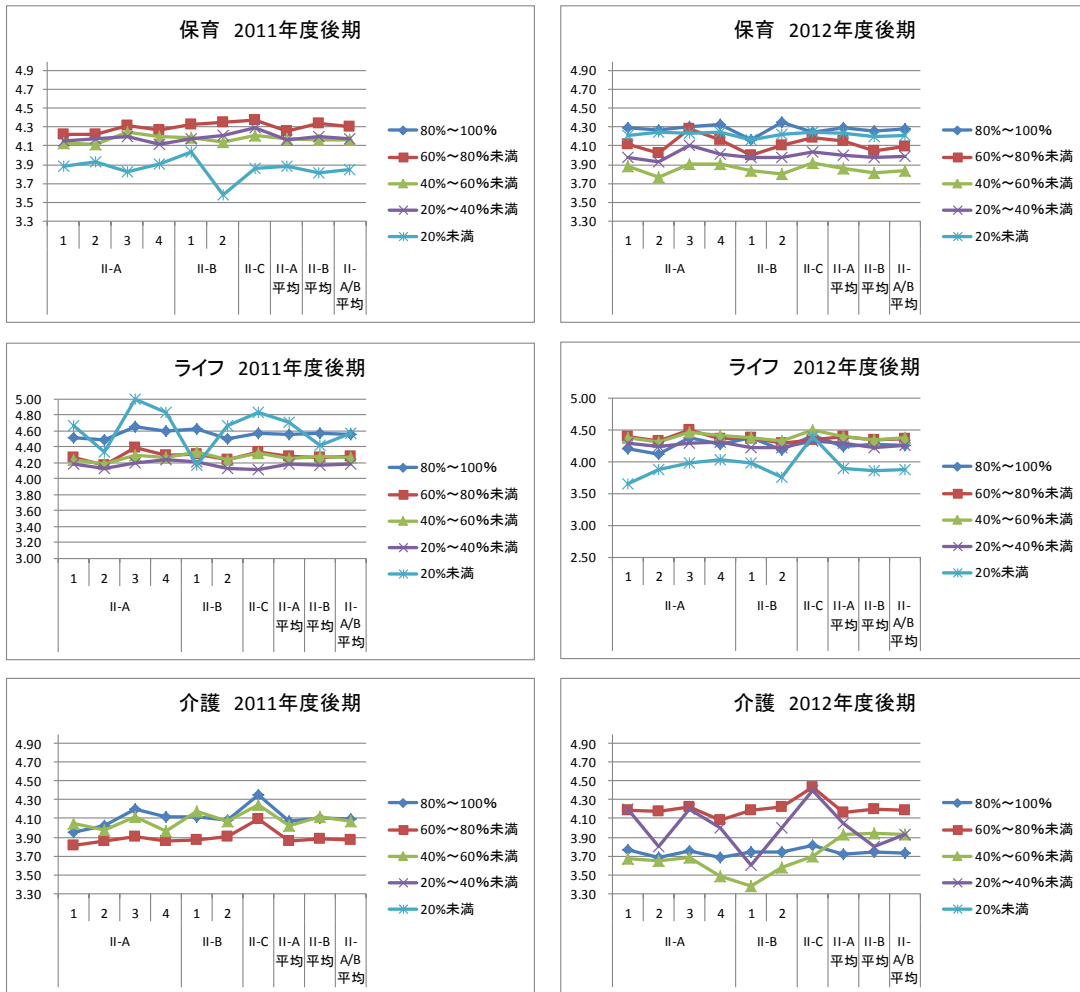


図 2-2 回答率別評価点（後期）



(2) ②の受講者数別カテゴリー

学科毎に次のことが言える。(下記の表 3-1、3-2「受講者数別」参照)

(保育)

前期については、全体の評価点は 2012 年度が 3.88 に対して 2011 年度は 3.88 とまったく同水準であった。

2011 年度 受講者数が少ないほど評価点は上がる傾向がはっきり見える。50 人以上の授業科目の評価点は全体の評価点 3.88 に対して 3.72 と低い。全体の約 30%のクラスがこの階層に入る。

2012 年度 受講者数が少ないほど評価点が上がる傾向はみられるが、構成比率の高い 50 人以上、30～49 人の階層間の評価点の違いは僅少で、いずれも平均に近い。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.17 に対して後期は 4.01 と低下した。

2011 年度 前期と同じ傾向が見られるが、10～29 人のクラスでは評価点が 50 人以上のクラスより良いが、30～49 人のクラスの評価点より下がっている。

2012 年度 10～29 人のクラスの評価が一番高いが、30 人以上のクラスは評価点が 3.9 点台で 2011 年度比低下している。50 人以上のクラスの評価点が 30～49 人のクラスの評価点より若干低い。

2011 年度、2012 年度を通じて 10～29 人のクラスの評価点が一番高いが、構成比率が低く、授業の大半を占める 30 人以上のクラスの評価点が全体の評価点を左右している。2012 年度は前期、後期共に 50 人以上のクラスの評価点が 30～49 人のクラスとほぼ同じ評価点水準に上昇したが、後期に関しては 30～49 人のクラス、50 人以上のクラスの評価点が 2011 年度比低下して、全体でも低下を見た。

2011 年度はクラスの大きさが評価点に与える影響が大きい可能性が示唆されたが、2012 年度の結果を見ると、その影響は低下傾向にあるものと推測される。

(ライフ)

前期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.20 に対して 2012 年度は 4.10 と下降。

2011 年度 50 人以上のクラス (1 科目だけ) を除くと受講者数が減るにしたがって評価点が確実に上がっている。ライフでは 3 分の 2 強のクラスが 10～29 人規模となっている。

2012 年度 2011 年度と同じように 50 人以上のクラス (3 科目) を除くと受講者数が減るにしたがって評価点が確実に上がっている。ただし、どの大きさのクラスでも評価点が下がっている。ことに 30～49 人のクラスでは評価点の水準も大きく低下している。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.33 に対して 2012 年度は 4.27 と下降。

2011 年度 受講者数が減ると評価点が増える現象がはっきり見られる。後期も 3 分の 2 近いクラスが 10～29 人規模となっている。

2012 年度 10 人未満のクラスを除くと 2011 年度比評価点が低下している。10～29 人クラスの構成比率は 2011 年度比若干低下し、10 人未満のクラスの構成比率は上がっているが、全体の評価点は下がっている。

クラスの大きさが評価点に与える影響はみられるが、10 人未満のクラスを除いて、一般的に前期、後期ともにクラスの大きさと関係なく評価点が下がる傾向が見られる。

(介護)

前期については、全体の評価点は 2011 年度が 3.96 で、2012 年度は 3.93 と若干低下した。

2011 年度 他の学科と同じく受講者数と評価点とは負の相関関係にある。受講者数が少なくなると評価点は上昇している。介護では 10～29 人のサイズのクラスが圧倒的に多く約 4 分の 3 強を占めている。

2012 年度 30～49 人のクラス（構成比率は 10%と小さいが）の方が 10～29 人のクラスより評価点が上であった。10～29 人のクラスの構成比率は 83%で 10 人未満のクラスは 6.7%の構成比率と、10～29 人の大きさのクラスが圧倒的に多い。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 3.96 で、2012 年度は 3.97 とほとんど変わっていない。

2011 年度 前期と全く逆の現象で受講者数が減ると評価点も下がっている。クラスのサイズの構成比率は前期と大きく変わっていない。

2012 年度 すべてのクラスが 10～29 人の階層に属す結果となった。この 10～29 人の階層に関して、2011 年度より評価点が 0.08 上昇した。

介護に関しては、クラスの大きさが 10～29 人の階層に集約化されつつあり、クラスの大きさの違いによる評価への影響度を考えること自体があまり大きな意味を持たなくなっている。

表 3-1 受講者数別 (2011 年度)

年度・期	学科	受講者数	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	50以上	27	31.4%	64.6%	0.63	3.45	3.67	3.65	3.68	3.80	3.74	3.77	3.68	3.79	3.72	3.72	3.72
		30-49	26	30.2%	55.6%	0.87	3.78	4.06	3.91	3.89	3.95	3.87	3.97	3.89	4.01	3.90	3.93	3.92
		10-29	33	38.4%	57.0%	1.14	3.73	4.04	3.91	3.88	3.99	4.03	4.05	3.93	4.08	3.95	3.99	3.97
		10未満																
		計	86	100.0%														
	ライフ	50以上	1	1.1%	69.0%	1.58	3.75	4.18	4.20	4.28	4.20	4.38	4.28	4.30	4.38	4.26	4.29	4.28
		30-49	19	20.4%	72.2%	1.36	3.67	3.79	3.82	3.85	4.06	3.94	4.06	3.83	3.97	3.92	3.94	3.93
		10-29	64	68.8%	65.8%	1.03	3.85	4.12	4.22	4.21	4.29	4.29	4.30	4.14	4.26	4.25	4.22	4.24
		10未満	9	9.7%	66.2%	1.18	3.84	4.20	4.54	4.48	4.49	4.60	4.50	4.40	4.71	4.53	4.45	4.49
		計	93	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49	6	20.0%	60.6%	0.89	3.61	3.59	3.72	3.78	3.74	3.72	3.97	3.78	3.86	3.74	3.88	3.81
		10-29	23	76.7%	71.2%	0.73	3.33	3.74	4.03	3.98	4.00	3.98	4.01	3.95	4.08	4.00	3.98	3.99
10未満		1	3.3%	71.4%	1.20	2.40	3.00	4.20	4.00	4.00	4.00	4.00	4.40	4.20	4.05	4.20	4.13	
計		30	100.0%															
2011年度 後期	保育	50以上	9	10.8%	33.4%	1.25	3.82	3.97	4.09	4.11	4.08	4.07	4.04	4.02	4.11	4.09	4.03	4.06
		30-49	45	54.2%	42.4%	1.34	3.72	3.98	4.20	4.19	4.27	4.21	4.23	4.22	4.30	4.22	4.23	4.22
		10-29	29	34.9%	43.1%	2.06	3.59	3.93	4.03	4.06	4.13	4.08	4.17	4.10	4.18	4.07	4.14	4.11
		10未満																
		計	83	100.0%														
	ライフ	50以上	3	3.3%	45.7%	1.61	3.61	3.65	3.89	3.91	4.05	4.03	4.05	3.93	3.98	3.97	3.99	3.98
		30-49	9	10.0%	64.1%	1.59	3.69	4.09	4.01	4.04	4.28	4.18	4.27	4.10	4.23	4.13	4.18	4.16
		10-29	57	63.3%	57.6%	1.43	3.92	4.16	4.29	4.26	4.39	4.34	4.35	4.26	4.35	4.32	4.31	4.31
		10未満	21	23.3%	68.5%	1.56	3.85	4.27	4.53	4.31	4.54	4.50	4.50	4.48	4.53	4.47	4.49	4.48
		計	90	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49	3	12.5%	55.8%	1.01	3.31	3.65	4.04	4.10	4.18	4.03	4.21	4.20	4.45	4.09	4.20	4.15
		10-29	19	79.2%	70.2%	1.02	3.54	3.75	3.89	3.90	3.98	3.90	3.96	3.97	4.15	3.92	3.97	3.94
10未満		2	8.3%	77.1%	1.52	3.52	3.52	3.77	3.82	4.04	3.97	3.97	3.65	3.91	3.90	3.81	3.85	
計		24	100.0%															

表 3-2 受講者数別 (2012 年度)

年度・期	学科	受講者数	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2012年度 前期	保育	50以上	16	20.3%	55.5%	0.49	3.66	3.86	3.76	3.78	3.92	3.83	3.90	3.75	3.93	3.82	3.83	3.83
		30-49	52	65.8%	51.3%	0.64	3.84	4.01	3.83	3.78	3.92	3.92	3.88	3.79	3.90	3.86	3.84	3.85
		10-29	11	13.9%	63.6%	0.84	3.92	4.29	4.15	4.11	4.20	4.14	4.12	4.15	4.27	4.15	4.14	4.14
		10未満																
		計	79	100.0%														
	ライフ	50以上	3	3.2%	59.4%	0.97	3.56	3.78	4.01	4.07	4.22	4.07	4.18	4.19	4.15	4.09	4.19	4.14
		30-49	15	16.0%	36.5%	1.25	3.45	3.67	3.44	3.39	3.52	3.42	3.82	3.42	3.56	3.45	3.62	3.53
		10-29	63	67.0%	60.5%	1.32	3.84	4.10	4.17	4.14	4.29	4.21	4.27	4.13	4.30	4.20	4.19	4.20
		10未満	13	13.8%	57.8%	1.60	4.15	4.28	4.39	4.33	4.47	4.34	4.34	4.14	4.26	4.38	4.24	4.31
		計	94	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49	3	10.0%	82.2%	0.47	3.60	3.79	4.18	4.01	4.35	4.33	4.01	4.02	4.31	4.22	4.02	4.12
		10-29	25	83.3%	71.1%	0.68	3.54	3.94	3.89	3.86	3.94	3.89	3.91	3.86	3.97	3.90	3.89	3.90
		10未満	2	6.7%	85.7%	0.95	3.94	4.35	4.27	4.27	4.08	4.00	4.17	4.15	4.05	4.15	4.16	4.16
		計	30	100.0%														
2012年度 後期	保育	50以上	14	20.0%	37.1%	0.99	3.61	3.77	3.82	3.87	4.07	3.97	3.98	3.86	3.98	3.93	3.92	3.93
		30-49	44	62.9%	37.2%	1.14	3.75	3.91	4.01	3.92	4.07	4.04	3.95	3.98	4.04	4.01	3.96	3.99
		10-29	12	17.1%	58.1%	1.38	3.79	4.07	4.17	4.06	4.20	4.12	4.02	4.13	4.19	4.14	4.08	4.11
		10未満																
		計	70	100.0%														
	ライフ	50以上	5	5.6%	35.4%	2.06	3.65	3.82	3.85	3.75	4.05	3.97	3.91	3.74	3.90	3.90	3.82	3.86
		30-49	5	5.6%	38.6%	1.93	3.48	3.81	3.80	3.90	4.05	4.15	3.98	3.71	3.83	3.98	3.85	3.91
		10-29	53	58.9%	50.8%	1.93	4.04	4.20	4.17	4.16	4.29	4.26	4.26	4.16	4.39	4.22	4.21	4.21
		10未満	27	30.0%	56.7%	2.31	4.05	4.33	4.61	4.50	4.63	4.49	4.51	4.50	4.59	4.56	4.50	4.53
		計	90	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49																
		10-29	26	100.0%	69.6%	1.16	3.66	3.80	4.01	3.97	4.03	3.90	3.94	4.00	4.17	3.98	3.97	3.97
		10未満																
		計	26	100.0%														

尚、受講者別評価点についてもグラフ化したのが、次の図 3-1、3-2 の通りである。グラフ化すると、学科ごとで受講者数の違いによる評価の高低差の違いがよく表れている。保育では幅は小さく、ライフでは大きな幅が見られる。介護はこの中間と言うより、保育に近く幅は比較的小さい。

図 3-1 受講者数別評価点（前期）

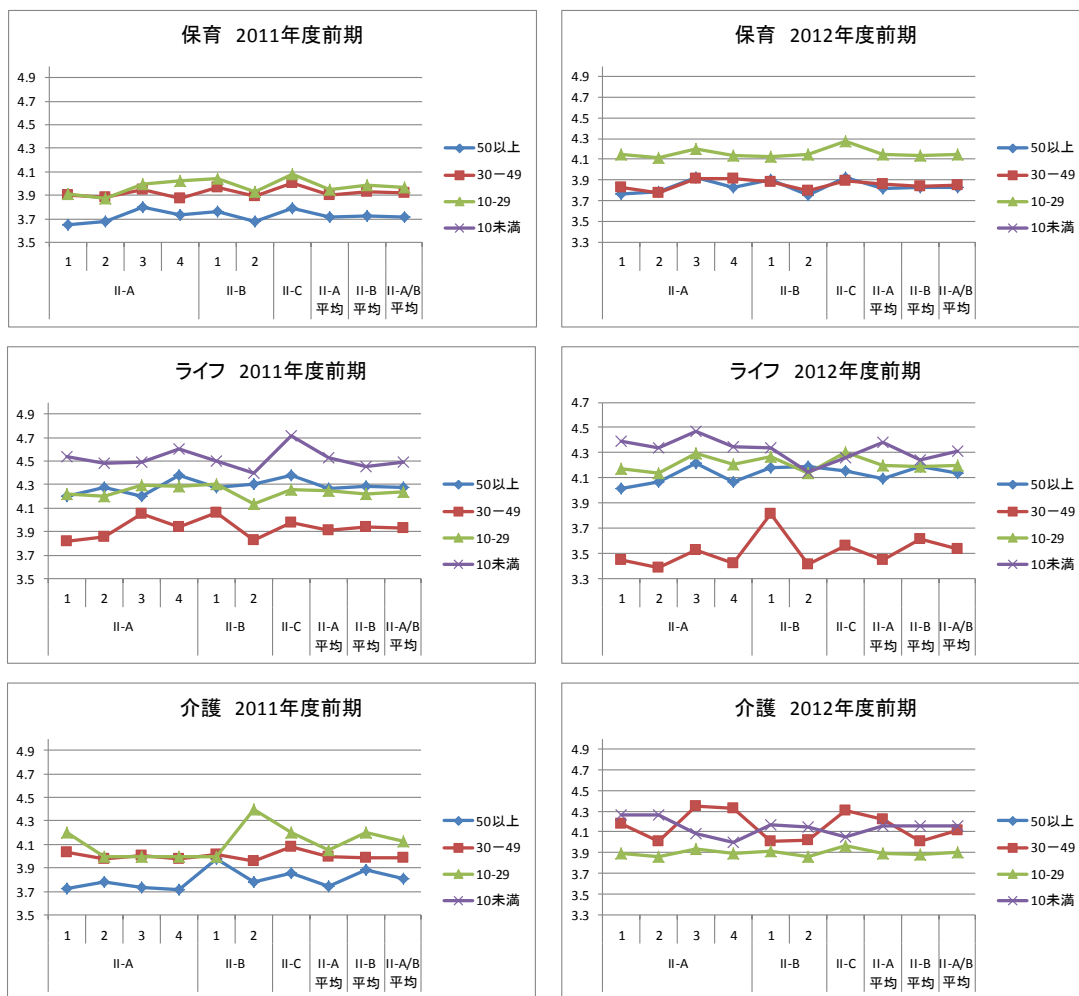
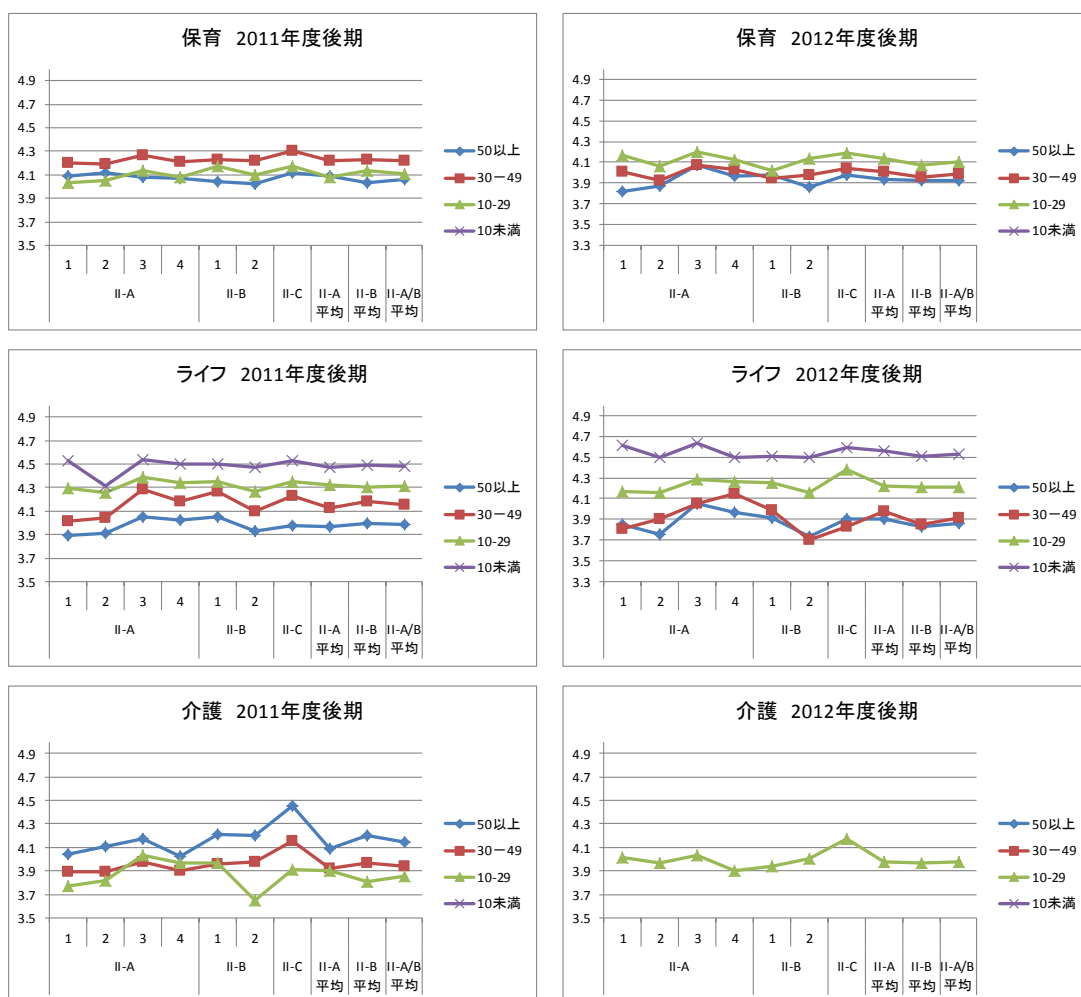


図 3-2 受講者数別評価点（後期）



(3) ③の1・2年生、2年生別

学科毎に次のことが言える。(下記の表 4-1、4-2「1年次・2年次別比較」参照)

(保育)

前期については、全体の評価点は2011年度が3.88に対して後期は3.88とまったく同水準であった。

2011年度 2年次のクラスの方が評価点が良い。クラスの構成比では過半数を若干下回る46.5%となっている。

2012年度 2年次のクラスの方が1年次のクラスより評価点は昨年度同様良いが、差は縮小している。クラスの構成比では、1年次生が73%、2年次生が27%と大きな差がついている。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.17 に対して後期は 4.01 と低下した。

2011 年度 1 年次のクラスの方が 2 年次だけのクラスより評価点が若干高い。2 年次のクラスの構成比が 53%と前期と逆転している。

2012 年度 2 年次のクラスの方が 1 年次のクラスより評価点が若干高い。クラスの構成比は前期とほとんど変わっていない。

2012 年度前期は 2 年次生に比べ評価の低かった 1 年次生のクラスの比率が圧倒的に高い割には、全体では 2011 年度と変わらない評価となっている。これは、2012 年度生の評価点が 2011 年度生が 1 年次のときより上昇していることが要因である。一方、2012 年度後期の評価点の低下要因は、1 年次生、2 年次生ともに評価点が 2011 年度より下がったことにある。

(ライフ)

前期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.20 に対して 2012 年度は 4.10 と下降。

2011 年度 1・2 年次共に受けられるクラスが 80%強を占めているが、評価点では 2 年次だけのクラスの方が高い。

2012 年度 1・2 年次共に受けられるクラスは約 83%と 2011 年度比ほとんど変わらない。評価点は 2 年次は上昇したものの、比重の高い 1・2 年次ともに受けられるクラスの評価点が下降した。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 4.33 に対して 2012 年度は 4.27 と下降。

2011 年度 クラスの構成比率は前期とほとんど同じであったが、1・2 年次共に受けられるクラスの評価点は上昇し、2 年次のみのクラスは微減となっている。

2012 年度 2 年次のみのクラスの評価点は上昇したが、クラスの比重は若干低下した。一方、1・2 年次ともに受けられるクラスの比重が微増、さらに評価点が減少し、全体での評価点が減少した。

評価点の高い 2 年次生だけのクラスは構成比が小さく、1・2 年次共に受けられるクラスの評価によって全体的な動向が決まる。

(介護)

前期については、全体の評価点は 2011 年度が 3.96 で、2012 年度は 3.93 と若干低下した。

2011 年度 1 年次のクラスが約 57%で、評価点は 2 年次のクラスより良い。

2012 年度 1 年次のクラスが 62%で、評価点は 2 年次より良いが、2011 年度の水準を下回った。

後期については、全体の評価点は 2011 年度が 3.96 で、2012 年度は 3.97 とほとんど変わっていない。

2011 年度 クラスの構成比率は前期とほぼ同じだが評価点は逆転して 2 年次のクラスの方が良くなっている。

2012 年度 クラスの構成比率は前期とほぼ同じだが、2012 年度は 1 年次のクラスで前期より評価点が上がリ、2 年次のクラスでは逆に評価点が下降した。

1 年次のクラスの評価が 2 年次のクラスの評価より高い点が顕著である。

表 4-1 1 年次・2 年次別比較 (2011 年度)

1 年：1 年次生も 2 年次生も受講可一表の欄外の注記参照

年度・期	学科	年次	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4平均	II-B 1~2平均	II-A/II-B 平均(*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	1年	46	53.5%	64.0%	0.68	3.65	3.89	3.74	3.77	3.86	3.80	3.84	3.80	3.89	3.79	3.82	3.81
		2年	40	46.5%	53.1%	1.15	3.67	3.97	3.92	3.88	3.99	3.99	4.04	3.89	4.05	3.95	3.96	3.95
		計	86	100.0%														
	ライフ	1年	77	82.8%	65.8%	1.12	3.83	4.06	4.13	4.13	4.22	4.25	4.25	4.09	4.22	4.18	4.17	4.18
		2年	16	17.2%	73.9%	1.14	3.71	4.10	4.37	4.31	4.44	4.26	4.36	4.17	4.39	4.35	4.26	4.30
		計	93	100.0%														
	介護	1年	17	56.7%	71.2%	0.72	3.09	3.69	4.02	4.01	4.02	3.95	4.01	3.98	4.08	4.00	3.99	3.99
		2年	13	43.3%	66.4%	0.85	3.71	3.67	3.92	3.85	3.86	3.91	3.99	3.88	3.98	3.88	3.94	3.91
		計	30	100.0%														
2011年度 後期	保育	1年	39	47.0%	38.0%	1.07	3.82	4.05	4.18	4.17	4.21	4.17	4.16	4.19	4.24	4.18	4.17	4.18
		2年	44	53.0%	45.5%	2.06	3.55	3.88	4.10	4.12	4.21	4.14	4.22	4.14	4.24	4.14	4.18	4.16
		計	83	100.0%														
	ライフ	1年	75	83.3%	60.0%	1.43	3.87	4.17	4.31	4.25	4.40	4.36	4.39	4.30	4.37	4.33	4.35	4.34
		2年	15	16.7%	62.8%	1.71	3.85	4.09	4.29	4.17	4.44	4.29	4.27	4.19	4.36	4.30	4.23	4.26
		計	90	100.0%														
	介護	1年	14	58.3%	75.5%	1.01	3.51	3.67	3.78	3.86	3.90	3.83	3.87	3.95	4.12	3.84	3.91	3.87
		2年	10	41.7%	59.8%	1.14	3.51	3.79	4.07	4.00	4.16	4.05	4.15	4.02	4.24	4.07	4.09	4.08
		計	24	100.0%														

・保育、介護では「1年」の授業は原則1年次生が受講する授業で、1年次で不合格等で単位修得ができていない場合、2年次生も受講。
・ライフでは一部の科目を除いて大半が1、2年次生双方が受講可。

表 4-1 1年次・2年次別比較（2012年度）

年度・期	学科	年次	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4平均	II-B 1~2平均	II-A/II-B 平均 (*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2012年度 前期	保育	1年	57	72.2%	60.0%	0.52	3.77	4.02	3.82	3.81	3.96	3.91	3.91	3.83	3.93	3.87	3.87	3.87
		2年	22	27.8%	37.8%	0.95	3.91	4.02	3.97	3.87	3.96	3.98	3.94	3.84	4.03	3.94	3.89	3.92
		計	79	100.0%														
	ライフ	1年	78	83.0%	53.5%	1.37	3.74	3.99	4.01	3.98	4.13	4.03	4.16	3.95	4.11	4.04	4.05	4.05
		2年	16	17.0%	69.7%	1.19	4.19	4.34	4.44	4.36	4.51	4.43	4.44	4.37	4.49	4.43	4.37	4.40
		計	94	100.0%														
	介護・ 総合福祉	1年	18	60.0%	73.5%	0.48	3.71	4.02	3.99	3.88	4.03	3.98	3.98	3.87	4.04	3.97	3.93	3.95
		2年	12	40.0%	71.6%	0.97	3.37	3.86	3.88	3.94	3.93	3.88	3.88	3.93	3.97	3.91	3.90	3.91
		計	30	100.0%														
2012年度 後期	保育	1年	52	71.2%	40.3%	1.00	3.69	3.89	4.01	3.93	4.11	4.04	3.96	3.98	4.08	4.02	3.97	4.00
		2年	21	28.8%	41.9%	1.41	3.85	4.00	4.03	4.01	4.10	4.08	4.04	4.02	4.07	4.05	4.03	4.04
		計	73	100.0%														
	ライフ	1年	77	85.6%	48.5%	2.10	3.97	4.17	4.22	4.18	4.32	4.27	4.25	4.17	4.35	4.25	4.21	4.23
		2年	13	14.4%	65.9%	1.79	4.12	4.37	4.54	4.46	4.62	4.56	4.61	4.49	4.58	4.54	4.55	4.55
		計	90	100.0%														
	介護・ 総合福祉	1年	16	61.5%	74.5%	0.90	3.86	4.03	4.19	4.12	4.21	4.08	4.18	4.18	4.29	4.15	4.18	4.16
		2年	10	38.5%	61.8%	1.57	3.35	3.44	3.73	3.72	3.75	3.60	3.54	3.73	3.99	3.70	3.63	3.67
		計	26	100.0%														

・保育、介護では「1年」の授業は原則1年次生が受講する授業で、1年次で不合格等で単位修得ができていない場合、2年次生も受講。
 ・ライフでは一部の科目を除いて大半が1、2年次生双方が受講可。

尚、1年次生・2年次生別の評価点をグラフ化したものは次の図 4-1、4-2 の通りである。

図 4-1 1年次・2年次別評価点(前期)

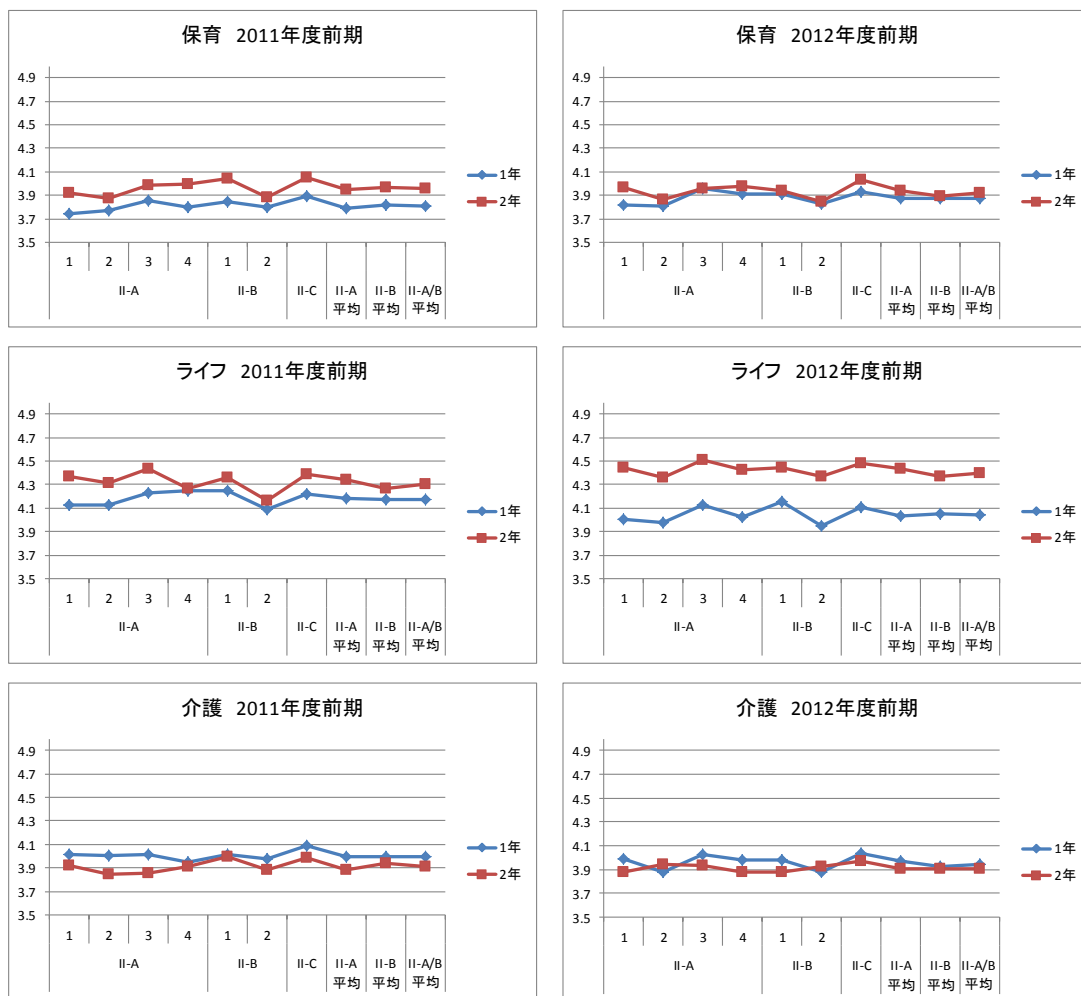
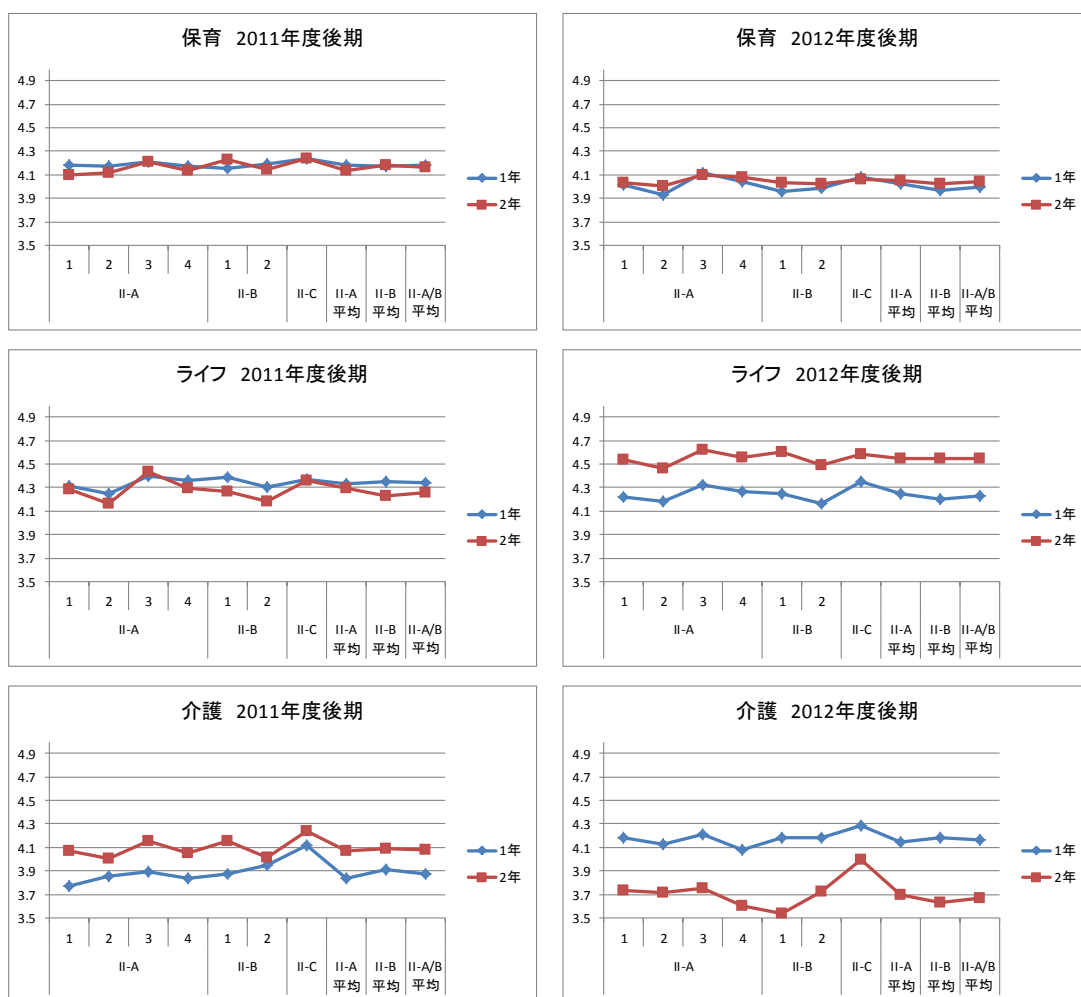


図 4-2 1年次・2年次別評価点（後期）



上記分析の総まとめとして言うならば、クラスのサイズは授業評価に影響力を持っていることが一般的には言えるが、ライフに関してはこの傾向が強いものの、保育に関しては上記の通り受講者数の評価点に与える影響度が低減傾向にある。介護ではクラスの大きさが 2012 年度後期には 10～29 人の階層に集約化される現象も生じている。

一方、回答率と評価点との間には、2012 年度も 2011 年度と同様にはっきりした相関関係は見いだせない。また、回答率の違いによる階層間での評価点の違いは上記のグラフで見ると意外と小さいのが実態である。回答率が 20%未満の階層の評価は回答数の小さいことを反映して他の回答率階層と比べ評価が上下にかけ離れる傾向を示しており、回答率があまりに低い場合は得られたデータは慎重に解釈すべきであろう。

従来から授業評価アンケート調査結果の分析は年度単位として前期と後期をひとまとめで行ってきた。2011年度は新しい授業評価アンケート方式に移行した初年度で、前期、後期の比較しかできななかったが、2012年度は2年間の比較が可能となり、前期、後期それぞれについて2012年度と2011年度を比較することに力を注ぎ、評価がどのように変化しているかを示そうとした。

最後に、個別の授業科目の評価結果をリストアップすることはできないが、評価点を一定のバンドで分類し階層化したデータは各教員がその担当授業科目の評価を全体と比較する上で参考に資するものと判断し、表 5-1、5-2「学科別評価点分布」のようにまとめた。これも年度間の比較ができるよう2011年度のデータも付している。更に、これをグラフ化した図もその後に付け加えた。

表 5-1 学科別評価点分布 (2011 年度)

学科	評価点	2011年度前期		2011年度後期	
		授業科目数	授業科目数構成比率	授業科目数	授業科目数構成比率
保育	4.50～5.00	4	4.7%	19	22.9%
	4.25～4.49	13	15.1%	18	21.7%
	4.00～4.24	18	20.9%	19	22.9%
	3.75～3.99	17	19.8%	17	20.5%
	3.50～3.74	19	22.1%	8	9.6%
	3.25～3.49	10	11.6%	1	1.2%
	3.00～3.24	4	4.7%		
	3.00未満	1	1.2%	1	1.2%
	計	86	100.0%	83	100.0%
ライフ	4.50～5.00	17	18.3%	37	41.1%
	4.25～4.49	30	32.3%	19	21.1%
	4.00～4.24	21	22.6%	16	17.8%
	3.75～3.99	14	15.1%	7	7.8%
	3.50～3.74	5	5.4%	8	8.9%
	3.25～3.49	5	5.4%	2	2.2%
	3.00～3.24	1	1.1%		
	3.00未満			1	1.1%
	計	93	100.0%	90	100.0%
介護	4.50～5.00			1	4.2%
	4.25～4.49	2	6.7%	3	12.5%
	4.00～4.24	13	43.3%	8	33.3%
	3.75～3.99	8	26.7%	7	29.2%
	3.50～3.74	6	20.0%	2	8.3%
	3.25～3.49	1	3.3%	2	8.3%
	3.00～3.24			1	4.2%
	3.00未満				
	計	30	100.0%	24	100.0%

表 5-2 学科別評価点分布 (2012 年度)

学科	評価点	2012年度前期		2012年度後期	
		授業科目数	授業科目数構成比率	授業科目数	授業科目数構成比率
保育	4.50～5.00	2	2.5%	6	8.2%
	4.25～4.49	14	17.7%	17	23.3%
	4.00～4.24	23	29.1%	17	23.3%
	3.75～3.99	11	13.9%	16	21.9%
	3.50～3.74	15	19.0%	10	13.7%
	3.25～3.49	8	10.1%	4	5.5%
	3.00～3.24	5	6.3%	2	2.7%
	3.00未満	1	1.3%	1	1.4%
	計	79	100.0%	73	100.0%
ライフ	4.50～5.00	22	23.4%	35	38.9%
	4.25～4.49	20	21.3%	20	22.2%
	4.00～4.24	20	21.3%	17	18.9%
	3.75～3.99	15	16.0%	7	7.8%
	3.50～3.74	6	6.4%	5	5.6%
	3.25～3.49	6	6.4%	4	4.4%
	3.00～3.24	2	2.1%	1	1.1%
	3.00未満	3	3.2%	1	1.1%
	計	94	101.1%	90	100.0%
介護	4.50～5.00	3		2	7.7%
	4.25～4.49	2	6.7%	6	23.1%
	4.00～4.24	11	36.7%	8	30.8%
	3.75～3.99	8	26.7%	3	11.5%
	3.50～3.74	3	10.0%	5	19.2%
	3.25～3.49	2	6.7%	0	0.0%
	3.00～3.24	0		0	0.0%
	3.00未満	1		2	7.7%
	計	30	100.0%	26	100.0%

図 5-1 評価点分布（前期）

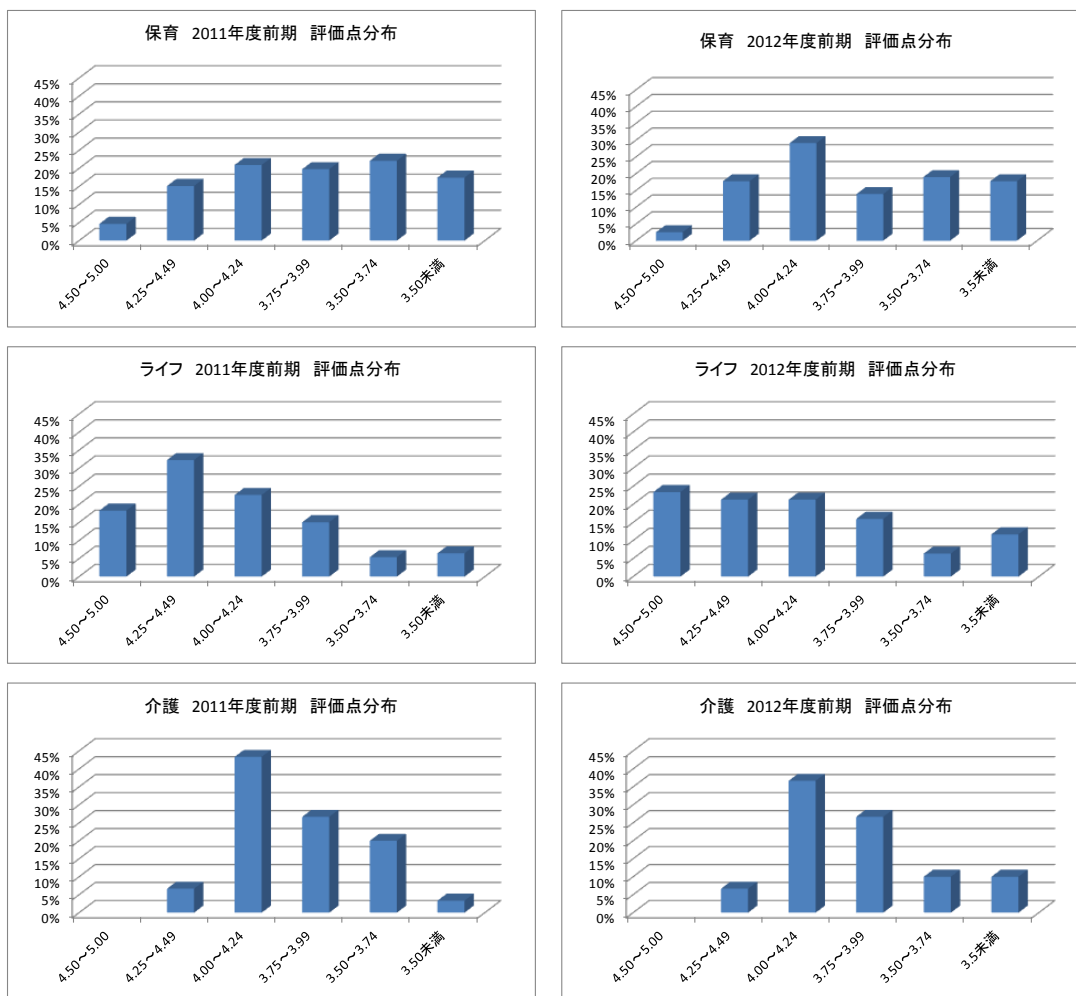
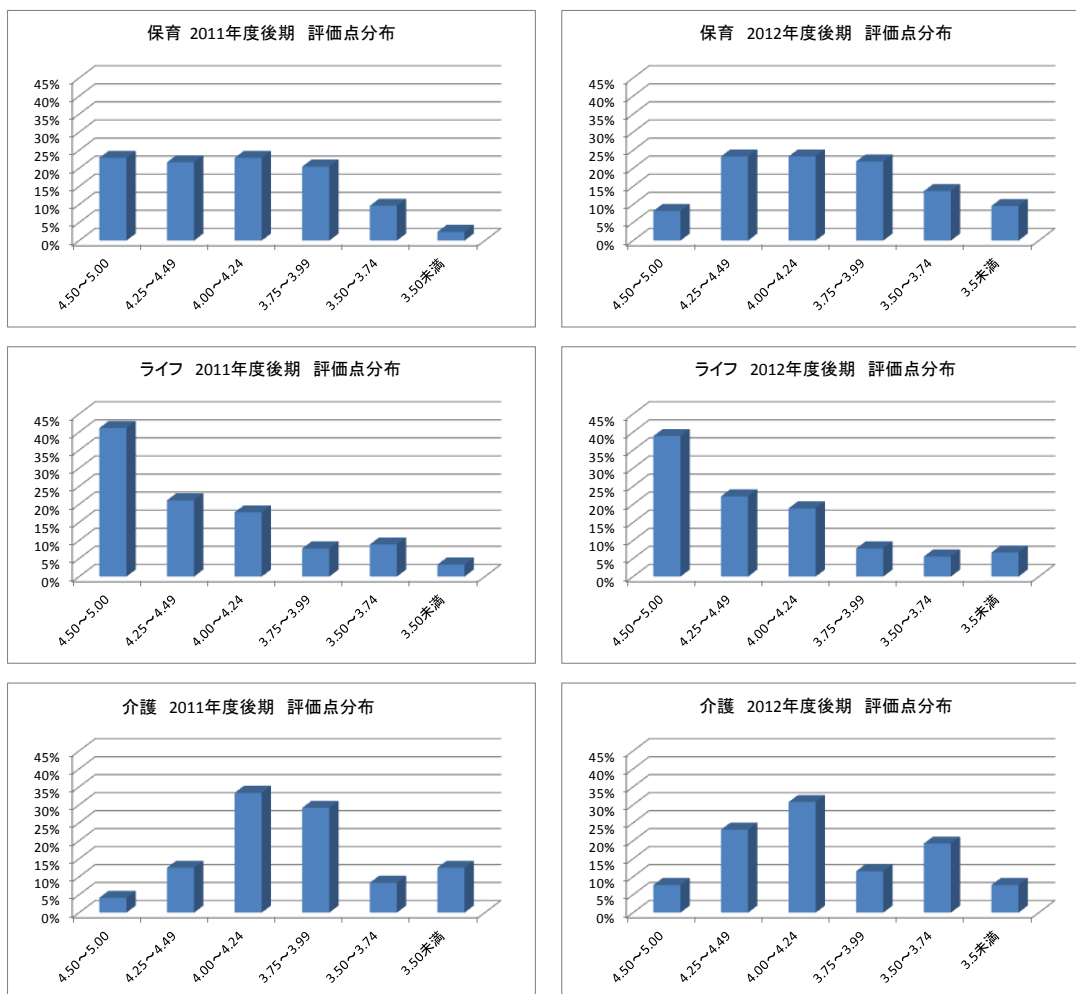


図 5-2 評価点分布（後期）



3. 自己点検報告書

授業毎に学生によるアンケート評価結果を担当教員に還元しているが、従来通り、この結果に対して担当教員がアンケート結果をレビューし、授業改善に取り組むFD活動の実践を自己点検報告書の作成の形で行っている。新方式でのアンケートへの切り替えと同時に、この自己点検報告書の様式の一部も授業改善の意識向上、また改善を容易にするための道筋の提供を目的として、新たにチェック項目も設けた。この自己点検報告書は従来から全面公開を行ってきたが、新方式の授業評価に移行後もこの慣行を踏襲することをあらかじめ担当教員には断り、協力を得た。前期、後期とに分けて、授業科目コード順（保育、ライフ、介護・総合福祉での開講科目順）に以下の通り、この自己点検報告書内容を掲載している。

この自己点検報告書の内容については、授業を担当している各教員のレビューの内容を他の教員も授業改善の参考としてご覧いただくこととして、本報告書ではコメントは差し控えたい。

以上

付表:「教員による自己点検報告書」
 - 学生による授業アンケート調査結果を受けて -

2012年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子ども文化Ⅰ (音楽)	小齊由美	学生への取り組み姿勢が学内平均を上回っていた反面、教員の姿勢、授業内容に関する評価が下回った。	教室が狭い、2クラスに分けて欲しい、授業中の私語が多い、毎回新曲を取り入れて欲しい等の意見があった。	11月の「こどもげきじょう」の本番を見据えて、100名の学生を対象に合唱、リトミック、音楽劇を全員に体験させたので、反復練習が多くなる傾向にあった。それが2. の記述につながったと考えられる。保育現場で役立つ体験の1つである、多人数で1つの題材に挑戦し、練り上げたものを創造する大切さを、今まで以上に説明に工夫を凝らして展開していきたい。	1	1	1
子ども文化Ⅱ 腹話術	谷本丹津子	授業中の学生の態度から察して、良い評価を得ることは想像できた。	学んだスキルを教育実習でぜひ試してみたいという記述が多く、その成果を確認できないことが非常に残念である。	底辺から全体の底上げをするよりもハードルを少し高くして競争意識を持たせた方が効果的であると感じた	1	1	1
子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	倉地宏幸	面白かった、よかった、という意見が予想以上にあったが、成果としては課題を理解できていない学生が多かった。	コンピュータを使った学習にあまり慣れていない学生が多く、作りたいものを考える前に、使い方が分からないという事が大きなハードルとなっていたようだ。	コンピュータの基本的な使い方についての講義を増やし、技術的な問題でつまづいてしまう学生を減らしたい。	1	1	1
日本国憲法と人権	曾和信一	全体的に見て、学内平均よりも私の授業平均の方が上回っているものの、授業中の私語などについて、それが下回っているという結果になっている。	授業に関して、前向きな意見が多く見られたが、授業内容の理解が困難であるという意見も散見された。	授業中の私語については、注意を促すように心掛けていきたいと思う。	1	1	1
日本国憲法と人権	曾和信一	総合評価を含めてよい評価をされているが、授業への集中度を問う項目だけ、授業平均が学内平均をやや下回っているという結果になっている。	授業内容についての肯定的な意見がほとんどで、学生が前向きに授業に取り組んでいることがわかった。	授業への集中度を高めていくために、多様な情報機器の組み合わせについての工夫を図っていきたいものである。	1	1	1
英語 (英会話A)	伊藤紀美江	有効回答数が受講生の半分以下なので1人当たりのパーセンテージが高くなり、結果に関しては何とも言えないが、大体の項目で学内平均を上回っていたようで安心した。	リスニングの教材や教科書を理解させる補助教材を作成して使ったのでその点の評価は高かった。しかし、1名授業がうるさいと書いている学生がいる。だが、このクラスはあまり反応も無いくらい静かで活気に欠けている。彼女が本当は何を求めているのかさっぱり分からない。個人が特定できれば直接話を聞きたいのだが・・・。	正直に書かせて頂いて、かなり理解力が低い。中には出来る学生もいるのだが中1からつまづいてしまった学生がほとんどなので、英語の様な積み重ねが必要な科目ではより分かりやすい教材が求められると実感している。	1	1	1
英語 (英会話A)	伊藤紀美江	総合評価は学年平均と同じだった。保育の専門科目ではなくむしろ苦手意識を持つ学生が多い教科の割には、良い評価が出たと思っている。	適度な活気があるので1,2組に比べ授業がやりやすいせいか、概ね好意的な感想であった。	同上	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話A) (3・4組)	原川博善	1つの項目を除いて平均を下回っているのは残念。結果を受けとめて改善に努めたい。	板書の見やすさに心がけたい。(ボードマーカーがうすい点、後部座席の学生が見にくいこともある)私語、いねむりには厳しく注意したい。	ワークシート、DVDなど補助教材の見直しを行い、授業理解度の向上を目指す。学習環境にも留意する。	1	1	1
スポーツⅠ	熔 功	「教員の話し方は・・・」だけ、学内平均を下回った。後は、良かったと思う。	自由記述アンケートの回収がほとんどなく、暑いだけだった。	体育館の実技なので、大きな声を出しているつもりだったが、気をつけようと思う。	1	1	1
スポーツⅠ	熔 功	学生からの評価が、学内平均を下回ることが多く、数字的にも3点台が多かった。	自由記述アンケートは、白紙ばかりだった。	4限目で、私自身も学生も、疲れてしまったのかもしれない。頑張ろうと思う。	1	1	1
スポーツⅠ	熔 功	学生の出席率もよく、学生からの評価も良かった。このまま続けていこうと思う。	体育館までが遠く、夏場はプール指導をしてほしかったという意見があった。	暑い時期には、学生の動きが鈍くなり、けが等に注意が必要だと思った。	1	0	0
スポーツⅠ	熔 功	学内平均よりも、いい評価をもらった。学生自身の私語があったとあるが、実技なので問題なしだったと思う。	体育館は、暑いという声が多かった。	水分補給や、風の通り道の確保をしっかりとしようと思う。	1	1	0
保育者 キャリア 支援演習 (1・2組)	石村哲代	「授業への取り組み姿勢」については、私語をせず授業に集中したと、比較的高い自己評価をしている。これに対して「教員の取り組み姿勢」については、「総合評価」が3.62と学内平均を下回る評価となっており、その主な理由としては、「教え方」では「授業の工夫」が、「授業の中身」では「授業内容の理解」の評価が低いことなどが挙げられる。自分たちは一生懸命に授業を受けたのに、教員の授業の工夫が不足し十分に理解できなかった、という手厳しい評価である。	毎回自由記述を記載する者が少ない。そこで今回は全員に必ず5行以上は記載するように求めたところ、数名を除くほぼ全員が何らかのコメントを寄せてくれた。大半は「面接や礼状の書き方など、役に立つ授業内容であった」と、ソツのないコメントであったが、「内容が難しく過ぎて全く理解出来なかった」というコメントや「パワーポイントの解答を写す時間が足りなかった」等のコメントも複数得ることが出来て参考になった。	ペーパーテストで、興味を持って聞いてくれているだろうと、当方がむしろ自信をもって講義していたことさえも全く理解できていない学生が相当数いることがわかり衝撃を受けたが、今回のこの調査結果により、実は「私の説明が難し過ぎて」、或いは「言葉が理解できなくて」、伝えたい内容を殆ど理解できていない学生が予想以上に多くいるのだということを改めて認識させられた。今後の改善点として、今以上に速度を落とし、わかりやすい言葉を選び、理解できたかどうか確認しながら講義することを心がけたい。	1	1	1
保育者 キャリア 支援演習 (3・4組)	石村哲代	「授業への取り組み姿勢」については、65～75%が私語をせず授業に集中したと、比較的高い自己評価をしている。これに対して「教員の取り組み姿勢」については、「総合評価」が3.69と学内平均を下回る評価となっており、その主な理由としては、「教え方」では「話し方」や「授業の工夫」が、「授業の中身」では「授業内容の理解」の評価が低いことなどが挙げられる。自分たちは一生懸命に授業を受けたのに、教員の授業の工夫が不足し十分に理解できなかった、という手厳しい評価である。	毎回自由記述を記載する者が少ない。そこで今回は全員に必ず5行以上は記載するように求めたところ、数名を除くほぼ全員が何らかのコメントを寄せてくれた。大半は「面接や礼状の書き方など、役に立つ授業内容であった」と、ソツのないコメントであったが、「内容が難しく過ぎて全く理解出来なかった」というコメントや「パワーポイントの解答を写す時間が足りなかった」等のコメントも複数得ることが出来て参考になった。	ペーパーテストで、興味を持って聞いてくれているだろうと、当方がむしろ自信をもって講義していたことさえも全く理解できていない学生が相当数いることがわかり衝撃を受けたが、今回のこの調査結果により、実は「私の説明が難し過ぎて」、或いは「言葉が理解できなくて」、伝えたい内容を殆ど理解できていない学生が予想以上に多くいるのだということを改めて認識させられた。今後の改善点として、今以上に速度を落とし、わかりやすい言葉を選び、理解できたかどうか確認しながら講義することを心がけたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育者キャリア支援演習(5・6組)	石村哲代	「授業への取り組み姿勢」については、約80%が私語をせずに授業に集中したと、高い自己評価をしている。また総合評価は4.44で、受講者の1～2名を除く約95%が「良かった」と高い評価をしてくれている。同じ授業科目であっても、対象クラスによって評価がこのように大きく変わることを示す結果となった。	毎回自由記述を記載する者が少ない。そこで今回は全員に必ず5行以上は記載するように求めたところ、数名を除くほぼ全員が何らかのコメントを寄せてくれた。大半は「面接や礼状の書き方など、役に立つ授業内容であった」というものであった。	前述の1・2組、3・4組のクラスに比べて殆どの学生が授業に高い評価をしてくれており、同じ内容の授業でも、対象により評価が大きく変わることを改めて認識させられた。しかし受講生の多くが「教員の取り組み姿勢」に満足感を示してくれていないことを謙虚に受け止め、今後もよりわかりやすい、学生の興味を駆り立てることができるような授業改善に努めていきたい。	1	1	1
言葉と表現Ⅰ	工藤真由美	授業中の自己評価が、集中しなかったという率が高く、そこが満足感が足りないのと連動している。ただ、同一内容でも満足度の高いクラスもあり、全体的なクラスの雰囲気との関係もある。	私語対策に関して満足しているという声が多かったが、一方で注意される学生からは評価が低かったのではと予想される。	集中させ、私語を注意しなくて済む授業に関して、いろいろと検討する必要がある。	1	1	1
言葉と表現Ⅰ	工藤真由美	授業中の自己評価が、集中したという割合が高かったため、授業の満足度も比較的高かった。同一内容でも満足度の低いクラスもあり、全体的なクラスの雰囲気との関係もある。	私語対策に関して満足しているという声が多かった。	集中させ、私語を注意しなくて済む授業に関して、いろいろと検討する必要がある。	1	1	1
言葉と表現Ⅰ	工藤真由美	非常に満足度が高いという結果をうれしく思います。授業中の集中力や指示に対する反応もとてもよく、教員と学生相互の関係の良さが授業の雰囲気、授業の成果、さらには評価につながったと思われる。	私語、内容、雰囲気等満足しているということが書かれていて大変光栄に思う。	授業評価の高さと、学生の学習成果(成績等)との相関についても視野に入れ、学習成果の出る授業に今後も工夫していきたい。	1	1	1
音楽Ⅰ(Aクラス)	森脇由紀	学生の私語注意の項目で学内平均を上回ったのは、取り組みが学生に伝わっているという意味で良かった。授業内での課題は難しいものとなっており、学生の理解、意識改革、習得にはさらに教員の努力が必要といえる。	課題が難しい、課題の量が多い等の意見があった。	複数の教員で担当する授業なので、教員間での話し合いを深めたい。学生のやる気を引き出し、将来実際の現場で役立つ授業内容とするために必要な課題であることを理解して前向きに取り組んでもらえるよう、授業づくりを進めていかなければいけない。	1	1	1
音楽Ⅰ(Bクラス)	野秋未紗	授業内容の理解が学内平均より下回っているのが残念です。	課題が多すぎる、初心者には難しいという意見が多かった。自由記述は学生の意見を率直に聞けるので、良いと思います。	今年から課題内容が少し変わり、より実習や、就職してから役立つ内容になっているので、課題の多さや、レベルについては、曲のレパートリーを増やす為にも仕方がないと思います。一人ひとりのレベルに合わせてながら、課題をこなしていけるように、指導方法を考えていきたいと思えます。			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
音楽Ⅰ (学保1クラス)	久保雅世	学内平均を下回る評価が多かった。学生が授業内容を良く理解し、授業の目標や目的がきちんと伝わるよう、後期の授業で徹底していかなければならないと感じる。	課題の量が多すぎる、試験に時間が取られるため、レッスンの時間が少ない等の意見が多かった。課題の量に関しては、限られた数をこなすだけでなく、将来を見据えて出来るだけたくさん曲をこなせるよう設定した。学生の中には、初心者も多いが、分かり易い説明と、やる気につながる指導を心がけたい。	今年度は、たくさんの課題に取り組み保育現場で通用する力を身につけるため、新たに課題の内容を変えている。ピアノの上達には、日々の練習が不可欠であり、たくさんの課題をこなすことで、毎日練習する習慣をつけて欲しいと願う。今回のアンケート調査では、教員側の願いと学生が授業に対して感じた満足度や理解度に温度差があったように感じる。個人レッスンの特性を生かし、学生一人ひとりのレッスンが充実できるよう、試験の時間とレッスンの時間配分は考えていきたい。その上で、一人ひとりに合わせた指導、練習することの大切さを伝えていきたい。	1	1	1
音楽Ⅰ (学保2クラス)	森麻希子	ほとんどの項目で学内平均を下回る評価だったが、学生の取り組み姿勢は平均を上回っており、真剣に授業に取り組もうとする様子がうかがえる。しかし、授業参加者が40名ほど居るのに対し、有効回答数が29名なのが気になった。また、質問の対応、内容理解、総合評価の項目で低い評価になっているので、課題の到達目標、授業の意図、内容理解など学生に的確に伝わるようにする必要はある。	課題が多くて難しい、という意見と前向きに頑張ります、という意見わかれた。また、補講をしてくれるのでうれしい、教員の厳しさが人によって違うので不公平だ。という意見があった。	課題の量が増え、定期的に授業内試験をしたことによって、自ら勉強し進めていかなければならない、と意識が高まっている学生と、課題の量が多すぎるので消極的になっている学生がいる。学生の進度にあわせた指導はもちろんだが、前向きに取り組んでいけるように、学生のやる気を引き出しつつ、教員間の話し合いを深め、学生に的確に内容・意図が伝わるように工夫をこらし、取り組んでいきたい。	1	1	1
音楽Ⅱ (1・2組)	木谷祐子	全体的に学内平均よりも高い項目が多く、特に、学生の取り組み姿勢・教員の取り組み姿勢のところで良い評価が出ていた。	「課題も多く大変だったが、アドバイスをもらえて良かった」等の意見があった。	課題の量を増やしても、それをこなすことを目標にして努力する学生も見受けられたので、後期の授業においても、学生が意欲的に、一歩ずつ力をつけていけるように、指導の工夫をしていきたいと思う。	1	1	1
音楽Ⅱ (3・4組)	吉原千景	ほとんどの項目で学内平均を下回る評価でした。この授業の目的、存在意義を理解させ、自主的自発的に取り組む姿勢を身に着くよう、教員は努めていく必要がある。	レッスン時間のわりに、課題が多いという意見、各教員のやり方、取り組み方を一致させてほしいという意見があった。	実習、就職を見据えた課題作成、授業作りをしているが、その意図があまり理解されていないように思う。まず、練習する習慣は不可欠である。また、就職後を見据えて、自らが楽譜を読み、弾けるようになる基礎力をつけなくてはならない。教員は、学生の将来を見据えた指導を考えていく必要がある。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
音楽Ⅱ (5・6組)	永井美穂	実技の時間であるので、私語や居眠りをするのではなく、授業に集中できていた。ただ内容を理解しやすくするための工夫がもっと必要であるようだ。	課題が多く、テストが多いことに対して、やる気になって勉強になったという意見と不満に思っているような意見があった。	就職試験や保育の現場でピアノは不可欠である。就職して困らない実力をつけるために、課題曲をどんどんこなして欲しい。テストのように人前で緊張して弾くことで実力もつので、前向きに頑張ってもらいたいと思う。	1	1	1
図工Ⅰ (学保1クラス)	香月欣浩	学保クラスということで、仲間意識が高く、いい雰囲気の中で授業が進んだからか予想以上の学生評価だった。	分かりやすく、将来役に立つ内容で楽しかったと多くの学生が記述してくれた。	過大評価だと謙虚にとらえ、より一層の授業改善を目指していこうと思います。	1	1	1
図工Ⅰ (学保2クラス)	香月欣浩	学保クラスということで、仲間意識が高く、いい雰囲気の中で授業が進んだからか予想以上の学生評価だった。総合評価が満点というのは逆に危険だと思う。	仲間との授業が安心して受講できるの後期からもこのメンバーで受けたいとのこと。分かりやすく、将来役に立つ内容で楽しかったと多くの学生が記述してくれた。	過大評価だと謙虚にとらえ、より一層の授業改善を目指していこうと思います。	1	1	1
図工Ⅰ (Aクラス)	服部正志	他人と比べてしまい、思いつき挑戦することをためらう学生が目立った。意識改革・環境作りを考えたい。	課題説明、制作手順などがうまく伝わらない時があり、その指摘があった。	人と比べるのではなく、「自分らしく」精一杯に取り組むことで、自信を持たせること。伝え方の工夫。次は、子供たちに自分が伝えるという責任感を持たせたい。	1	1	1
図工Ⅰ (Bクラス)	服部正志	欠席者が多く、未提出課題の説明がうまくいかないことがあった。このことについて改善策を考える。	もっとたくさん作りたかったという意見があり、更に効率良く出来る限り多くを体験してもらおう工夫が必要である。	じっくりと時間をかけて取り組む課題はもちろん、単発に体験することを重視し、多くのアイデアを吸収してもらおうためにも、その時の学生に合った課題選びと工夫をする。	1	1	1
水4 生活Ⅰ 1・2組	長谷秀揮	総合評価をはじめ教員の取り組み姿勢のうちの1項目を除いて全ての項目の評価が学内平均より少し高い評価だった。昨年度より全体として高い評価結果となった。	学生の勉強しやすい環境作りには私語対策を含め、意識してかなり丁寧に取り組むようにしたが、不十分との意見が少数あった。	理解しやすい授業内容となるように、視聴覚教材の一層の活用等も含め、さらなる工夫、改善に努めていきたい。	1	1	1
水1 生活Ⅰ 3・4組	長谷秀揮	総合評価以外の全ての項目で学内平均より少し高い評価だった。総合評価のみが学内平均を若干下回った。昨年度より全体としてかなり高い評価結果となった。	授業が楽しかった分かりやすかった、との意見が複数あった。反面、ノートが大変だったとの意見も若干あった。書くことの大切さや意義についての理解をさらに深める必要性を感じた。	教員の取り組み姿勢の評価は全ての項目で学内平均を大きく上回っていて大いに励まされた。さらに工夫改善に努めていきたい。	1	1	1
水2 生活Ⅰ 5・6組	長谷秀揮	総合評価は学内平均より若干高い評価だった。しかし教員の姿勢の2つの項目と授業内容の計3つの項目で学内平均を少し下回った。昨年度より全体として高い評価結果となった。	授業の内容が面白かった楽しかった、との意見が多数あった。反面、書くことが多く大変だったとの意見も複数あった。ノートすることの大切さや意義についての理解をさらに深める必要性を感じた。	話し方や視聴覚教材の活用の工夫とともに、学生の質問や発言を丁寧に取り上げ、より適切に対応していくように努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
教育原理	工藤真由美	原理系の教科目で、理解を促すためには授業中の私語対策に力を入れた。その点は、勉強しやすい環境として高く評価され喜ばしい。ただ、内容理解が難しく、満足度の低さに表れた。	私語対策に満足しているという声が多く聞かれたのが良かった。	集中させ、私語を注意しなくて済む授業に関して、いろいろと検討する必要がある。また、教室規模と収容人数の関係(教育環境)も評価にはある程度関係もあると思われる。	1	1	1
教育原理	工藤真由美	同じ原理系科目でも、このクラスでは非常に満足度が高い。内容理解は難しいがそれ故にこそ集中したという回答が多かった。真剣に学ぶ姿勢をもつ学生たちの作り出すクラスの雰囲気の結果として満足度につながるといえる。	内容は難しくとも、必死に学ぼう理解しようとした自己の姿勢を高く自己評価し、それに見合う善い授業として評価していただいたことがうれしい。	私語は少なくとも難しい原理の内容を十分に理解まで到達させるという授業の本質的な点で問われている。レベルを落とさず、内容を噛み砕くことの工夫がさらに必要である。	1	1	1
保育原理	美越芳枝	授業内容B-11については学内平均を少し上回っていたが、B-3については、学内平均に達していなかった。理解度を考慮しながら、指導内容を検討していく必要がある。	授業の進み方が早いという意見や理解しやすく、よく判ったという意見も少数あった。また、声が聞こえにくい//声が大きすぎるといふ相反する意見もあった。	15回の授業回数では、基礎的なものだけに絞込む必要がある。また、理解度を考慮しながら進めていく必要性を感じた。授業内容が聞き取れるようにマイクの使用も視野に入れていきたい。	1	1	1
保育原理	美越芳枝	授業内容については、学内平均に達していなかった。理解度を考慮しながら、指導内容を検討していく必要がある。	授業の進み方が早いという意見や理解しやすく、よく判ったという意見も少数あった。	15回の授業回数では、基礎的なものだけに絞込む必要がある。また、理解度を考慮しながら進めていく必要性を感じた。	1	1	1
発達心理学 I (1・2・3組)	鍛冶谷静	同じ教科目であるのに、4・5・6組と比べて約半分の回答率(36%)である。ネガティブな評価の学生は回答していないのだろうか。	パワーポイントのスライドが見やすかったという学生と、進め方が早いという学生がいた。	ノートテイクの速度は個人差が大きい部分だと思われるので、配慮していきたい。	1	1	1
発達心理学 I (4・5・6組)	鍛冶谷静	1・2・3組の評価よりも低い結果が出ている。金曜日の5限ということも影響しているのだろうか、学生の自己評価項目も低い。	回答率同様コメント数も多く、授業参加への意欲の高さを感じた。進度をゆっくりしてほしい、ノートをとっている間は説明を待ってほしいなど具体的なコメントがあり、参考にしたい。	授業内容の多さに関わらず、学生は必死でついてきてくれているという印象があった。説明の簡潔化などを検討したい。	1	1	1
幼児臨床心理学 (1・2・3組)	鍛冶谷静	前年度までは通年科目だったのが半期科目になり、内容を一新した。高い評価を得たが、回答が受講者の約半数によるものであるのが気になる点である。	ノートテイクの量が多いとのコメントがあった。	授業中の発言が多いクラスだったので内容からややそれることもしばしばで、それを学生がどう感じているか気になっていたがこのアンケート結果からは読み取れない。ノートの分量を減らすのは難しいが、提示の仕方などを工夫したいと思う。	1	1	1
幼児臨床心理学 (4・5・6組)	鍛冶谷静	教員に対しては1・2・3組の評価とあまり変わらないが学生の自己評価項目はやや低い。	教員の体験談や事例への関心が高い。	知能指数の算出方法や障害の症状など難しいと感じた学生が多かったようであるが、具体的な事例を示すことでよりいっそうの理解をはかっていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子どもの保健Ⅰ	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中、授業の工夫・内容並びに、勉強しやすい環境づくり等下回っている。シラバスに適した授業内容だけが平均値に近い以外、全体的に平均より下回っており、前年度より改善していない。	授業中周りがうるさい、集中できない時があるが多数で、厳しく注意して欲しいもあり、反省である。教室が狭い、マイクの通りが悪いや白板の字が薄いもあり、留意である。解りやすいもあるが、内容難しいもある。	学生の私語、態度に注意すると共に、授業に集中させる工夫が必要。盛りだくさんにならないよう内容を精選し、専門用語の押さえ、小テストの活用、板書、マイク、授業の環境づくりを意識して行う。ゆとりを持つ。	1	1	1
子どもの保健Ⅰ	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均よりかなり下回っている。教員の取り組み、授業内容すべてが平均より下回っている。内容理解も下回り、厳しい内容である。どちらともいえないの割合が高い結果で反省である。	授業中周りがうるさい、集中できない時があるが多数で、厳しく注意して欲しい、また、早口、声が聞きとりにくかった等反省である。マイクがないと聞こえない音量を小さくやノイズが入り聞き取りにくい、教室が狭い等もある。解りやすい、楽しかったもあるが、メリハリ付けても良かった。	学生の私語、態度に注意すると共に、授業に集中させる工夫が必要。盛りだくさんにならないよう内容を精選し、専門用語の押さえ、小テストの活用、板書、マイク、授業の環境づくりを意識して行う。ゆとりを持つ。	1	1	1
子どもの保健Ⅱ	内田クリ子	授業中の私語無しが平均を上回っているが、勉強集中は平均である。授業の工夫については平均だが、他は平均を下回っている。総合評価は平均をやや上回っており、前年よりは改善である。	時々早口、授業の進め方も速い。白板が後ろは見えない、漢字がわからない時もある。授業は解りやすいもある。また、大切なのでちゃんと聞けば良かったもある。	早口にならないよう、授業内容の選択と時間配分のメリハリ、演習・実技を工夫したい。楽しい授業を模索したい。	1	1	1
子どもの保健Ⅱ	内田クリ子	授業中の私語無しが平均を上回っているが、勉強集中はやや下回る。授業の工夫、シラバス対応は平均を上回る・並ぶが、他は平均を下回っている。総合評価は平均をやや上回っており、前年よりは改善である。	時間がなくなると早口となりわかりづらい。また、どこをしているのか、どこに書くのかわからないときもあった。プリントにまとめてあり、勉強しやすい。実習など解り易かった。ためになったもあり。	意識はしているつもりだが、早口の傾向あり、学生の理解度、反応を見ながら余裕を持つ。学生を集中させるには、上記同様、メリハリをつけていく。	1	1	1
こどもの食と栄養(Bクラス)	石村哲代	総じて学生は真面目に授業に取り組み、総じて授業に満足していることを示す結果ではあったが、有効回答数が4という少数による評価なので、これをもって授業内容の良し悪しを判断するのは難しい。回答数が少なかった理由としては、定期試験直前に実施したため、「心ここにあらず」ということであつたかも知れない。	毎回自由記述を記載する者が極めて少ないことから、今回は、全員に必ず5行以上は記載するように求めた。ほぼ全員からコメントが寄せられた。「授業内容が多すぎる」、「実習が楽しかった」、「もっと実習をしたい」、「子どもの食育に役立てたい」、などであった。	当授業は、2コマ続きの授業が15週にわたって展開される。身体を動かす「実習」には嬉々として取り組むが、「演習(講義)」はかなり苦痛である様子がうかがえる。しかしその割には多くの学生が前向きに取り組む、与えられた課題も精力的に果たしてくれたように思う。今後とも学生の理解をより深めていくことが出来るように授業改善に努めていきたい。	1	1	1
こどもの食と栄養(Aクラス)	阪上愛子	4. 5時限と2コマ続きの座学中心の授業ということで、学生よりの拒否反応が強かったのが、評価は悪いとは思っていたが、思っていたよりは良かった。	配布プリント数が多いとの意見があった。教科書未購入学生にも授業への参加を促すためにも、配布プリント数が多くなったが、学生には負担となったようだ。	授業の理解度を増すために、もしも次年度も担当させて頂く機会があるのであれば、内容をより基礎的なものに変更したい。が、国家資格であるのでどうしたものか。授業方法も含めて考えたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
乳児保育	城野富美代	授業の内容については理解しやすかったといった評価をいただいたものの、他のクラスも同じように指導しているが理解しづらい評価となっていることなどから、全ての学生が理解できる工夫が必要と感じる	板書が多いので疲れるといった意見があるが、教科書に書かれている年齢別の特徴あるいは発達状態等を自分でまとめて表にする作業などを行うことで、身についたり、現場に出るから、活用できると考えて指導している。	現場で即必要とされる手遊び・歌遊び、粘土遊び等を取り入れ、みんなの前で実際に行ってもらうなど、自信が持てるようにしていきたい	1	1	1
乳児保育	城野富美代	理解しづらいといった評価となっていることから、クラスごとに授業の進め方を見直していきたい。	実践を多く取り入れながら授業を進めることで、わかりやすかったという意見も多いが、評価では、理解しづらいといった結果となっていることから、さらなる工夫が必要。	前回の授業が理解できているかどうか復習をしてから次の章に進めているが、なかなか難しいようなので、プリント等を工夫していきたい。	1	1	1
障害児保育	曾和信一	全体的に高い評価となっているが、授業中の居眠りなどを問う項目だけ、授業平均が学内平均を下回っているといった結果となっている。	授業の展開のスピードにムラがあるのではないかと、この意見が散見された。	授業の導入、展開及びまとめについて、全体のバランスを考えながら、きめ細かく適切な時間配分に心掛けていきたいと考える。	1	1	1
障害児保育	曾和信一	授業中の私語及び集中度を問う項目だけ、授業平均が学内平均をやや下回っているといった結果となっている。	授業内容の中で、専門用語が難しいという意見が僅かながら見られた。	授業に臨む学生の心構えに適度な緊張と緩和をもてるように配慮していきたいと考える。	1	1	1
障害児保育	曾和信一	全体的にかなり高い評価となっているが、授業中の私語などを問う項目だけ、授業平均が学内平均を下回っている。	難しい授業内容であるが、障がい児問題とその保育への理解が少し深まったという意見が見られた。	「私語」が「死語」となるように、授業への集中度を高めるようにより一層工夫を凝らしていくように努力したものである。	1	1	1
家庭支援論	曾和信一	全体的に見て、学内平均と授業平均との間にそれほど開きが見られないという結果になっている。	私語に関して、教師が積極的に注意をしようとしてほしいといった内容の意見が複数あった。	授業への理解を問う項目が授業平均とほとんど同じ評価であり、そのことから授業内容への分かり易さに心掛けることがより必要であると思った。	1	1	1
家庭支援論	曾和信一	授業の中身を問う質問項目について、授業平均がやや学内平均を下回っているという結果になっている。	授業内容に即してのパワーポイントやビデオを用いたことについては、評価する意見が見られた。	全体的に授業平均をより高めるために、より視聴覚教材の活用創意工夫を加えていきたいと考える。	1	1	1
社会福祉	合田 誠	すべての項目において、「学内平均」より上回った評価を得た。とくに学習環境を整える意味でも、「私語」に関しては厳しく対処した結果からか、高評価を得た点は満足している。	記述してくれたほとんどが「難しい内容であったが、自分自身のためになった。」という感想が多かった。反面、授業評価アンケートをしたのが、最終授業であったため改めて「持ち込みなし」等の諸注意事項をした関係で、「範囲を絞って教えてほしい、持ち込み可にしてほしい。」等のテストに対する要望も散見された。	「社会福祉」は保育系の原理科目となるため、学生にしっかりと修得してもらうために、安易な妥協は許されないと考えている。可能な限り、具体的に事例や生活の密着した事例を提示しながら、少しでも理解につなげていけるように努力したい。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会福祉	合田 誠	殆どの項目で「学内平均」を上回り、満足している。ただ、「授業中の態度」の項目が「学内平均」を下回っていた。授業を通じて「私語」に関しては厳しく対処した関係で、私語はなかったと思われる。原因としては、授業内容が理解しがたく「居眠り」が多かったためと考えられる。	内容として大半が「聞き取りやすく、自分のためになる授業であった。」と記載してくれている。改善してほしい意見としては、板書と口頭説明が同時進行のため、ついて行くのに困ったとの意見があり、可能な限り板書の様子を見ながら、授業をすすめていきたい。	「社会福祉」は保育系の原理解科目となるため、学生にしっかりと修得してもらうために、安易な妥協は許されないと考えている。可能な限り、具体的に事例や生活の密着した事例を提示しながら、少しでも理解につなげていけるように努力したい。	1	1	1
相談援助	石川 肇	評価点が低いですが、約50名のうち12名の回答であったため十分に結果が反映されているか不明である。	難しい内容であったが事例など実際の話があったので関連づけて理解できたと言う内容が多かった。板書の量が多い、児が読みにくいとの指摘が多数あった。	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
相談援助	石川 肇	高い評価点であったが、約50名のうち9名の回答であったため十分に結果が反映されているか不明である	分かりやすい内容だった、事例も聞いていて楽しかったとの意見が多かった。将来のために内容だったとの何名かの記述が印象に残った	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
社会的養護内容	合田 誠	全項目が「学内平均」を上回り、担当者としては一応安心した。担当者としては「新カリ」になり、初めての授業であったため、試行錯誤を繰り返しながらの授業であったが、何らかのことは伝わったようである。	昨年に実施した「施設実習」の振り返りを授業内容に組み込んだが、「実習時期」すでに半年以上前に遡っているため、記憶が薄れていて、対応に困った意見があった。その他は特記すべき内容は見られなかった。	記述したが、はじめて取り組む授業であったので、いかに学生に学習させようかと試行錯誤を繰り返しながらであった。今年度の経験と反省を糧に次年度に向けて取り組んでいきたい。	1	1	1
社会的養護内容	合田 誠	別のクラスと同様に、全項目が「学内平均」を上回っており、満足している。ただし、気になるのがこの授業だけでなく、他の授業も含めて、「有効回答数」の低さが大変気になる。実際に授業を受けていた人数との開きが大きい。	「施設実習」の振り返りができて、良かった。」とする内容が多かった。時折「プリント学習」の授業を数回したが、記入に大変手間取ったとの感想もあった。	はじめて取り組む授業であったので、いかに学生に学習させようかと試行錯誤を繰り返しながらであった。今年度の経験と反省を糧に次年度に向けて取り組んでいきたい。	0	1	1
保育内容総論	伊東美栄子	月曜日の1時限目で集中しにくかった学生が多かったです。授業内容の理解が学内平均を下回っていたが、学生からはよい評価をいただいた。	授業の合間に絵本や手遊びを教えてもらって楽しかったとの記述あり、実践に役立つものを増やし、保育士志望が高まるように努めます。	板書も読みやすく、資料も分かりやすく見やすかったと意見もあり、より授業の改善に取り組みます。また、私語は厳しく注意していきます。	1	1	1
保育内容総論	伊東美栄子	授業内容の理解が学内平均を少し下回りましたが、学生から予想以上の評価を頂いた。	授業の合間に絵本や手遊びを教えてもらって楽しかったとの記述あり、実践に役立つものを増やし、保育士志望が高まるように努めます。	板書も読みやすく、資料も分かりやすく見やすかった、難しい言葉の意味も丁寧に説明してもらったとの意見もあり、より授業の改善に取り組みます。	1	1	1
保育内容総論	伊東美栄子	授業内容の理解が学内平均を上回り、学生から予想以上の評価を頂いた。	授業の合間に絵本や手遊びを教えてもらって楽しかったとの記述あり、実践に役立つものを増やし、保育士志望が高まるように努めます。	板書も読みやすく、資料も分かりやすく見やすかった難しい言葉の意味も丁寧に説明してもらったとの意見もあり、より授業の改善に取り組みます。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
言葉・人間関係	城野富美代	評価は厳しく、学内平均を下回る授業内容となっていることから、授業の組み立てを見直していきたい。	授業は楽しかったといった意見が多かったが、講義内容の面で難しかったのではないかと考えられる。また、うるさい学生がいて集中しづらいといった意見もあり、その都度注意はするのだが席を変える等の策を講じてみる。	ワークショップ的な授業は楽しかったようで、毎回したいといった希望があるが、講義内容は教科書を利用していないため、難しかったのではないかと考えられることから、検討していきたい。	1	1	1
言葉・人間関係	城野富美代	アンケート調査結果において、学生自身が授業中集中できなかったといった結果となっていることから、授業内容に集中できるような工夫が必要とされていることを痛感。	書くことが多すぎるといった意見があることなどから、自分でノートを取ることで身につくのではといった思いもあるが、プリント等を利用して書き込む方法を検討してみたい。	授業の最後に、その日の授業が理解できたかどうか、わからない所はあるかどうか、その都度聞くようにしているが、その時は手があがらないので、方法を考えていきたい。	1	1	1
言葉・人間関係	城野富美代	プリントの作成等を昨年度と変更するなどして工夫を試みたが、理解しづらいといった評価のため、今後、プリントと教科書とを併用しながら進める方法を考えてみたい。	自由記述の内容については、「楽しかった」「わかりやすかった」といった意見も多いのだが、白紙で提出する学生も多数いることなどから、それが評価にもあらわれていることをしっかりと自覚して取り組んでいきたい。	一人でも多くの学生が授業内容の理解が深められるような指導方法及び資料の作成、教科書の使用も含めた見直しをしていきたい。	1	1	1
保育内容演習【環境・健康】	美越芳枝	昨年と同様に学内平均に達していなかったことに対して、授業の進め方等について再考の必要性を感じる。	昨年と同様に板書が追いつかない、授業の進め方が早いという意見、理解しやすく、よく判ったという意見がある。	昨年の評価を受けて、授業内容については基礎的なものに重点を置きながら進めていたが、シラバス消化のために授業の進行が早くなる傾向となった。今後は内容をより基礎的なものにし、理解度の向上に努めたい。	1	1	1
保育内容演習【環境・健康】	美越芳枝	昨年と同様に学内平均に達していなかったことに対して、授業の進め方等について再考の必要性を感じる。	昨年と同様に板書が追いつかない、授業の進め方が早いという意見、理解しやすく、よく判ったという意見がある。	昨年の評価を受けて、授業内容については基礎的なものに重点を置きながら進めていたが、シラバス消化のために授業の進行が早くなる傾向となった。今後は内容をより基礎的なものにし、理解度の向上に努めたい。	1	1	1
保育内容演習【環境・健康】	美越芳枝	昨年と同様に学内平均に達していなかったことに対して、授業の進め方等について再考の必要性を感じる。	昨年と同様に板書が追いつかない、授業の進め方が早いという意見、理解しやすく、よく判ったという意見がある。	昨年の評価を受けて、授業内容については基礎的なものに重点を置きながら進めていたが、シラバス消化のために授業の進行が早くなる傾向となった。今後は内容をより基礎的なものにし、理解度の向上に努めたい。	1	1	1
総合表現	香月欣浩	昨年よりも満足度が高いことに喜びを感じている。授業担当者同士の連絡、連携がうまくいき、学生も納得して授業を進めていたと思う。	意見の衝突はあったものの、いい作品を作るために妥協し、上手くいったときの感動は大きかったようだ。	評価の良い理由を分析し、次年度にいかせるように検討し、いい点は継続させていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
総合表現	香月欣浩	かなり評価が低い。どこに原因があったのか正直分からない。アンケート回答率が低いのも気になる。	毎年の事だが、学生同士の意見の衝突が多いこと、1クラスに美術、音楽、体育の指導者が関わり、意見の違いに学生は戸惑うことがある。しかしこれは価値観の違いを知る意味で必要なことだと感じている。	評価が低い理由を担当者で検討して次年度にいかしていきたいと思う。	1	1	1
総合表現	香月欣浩	学生の集中力評価が高い。このクラスは雰囲気もよく、協力がうまくいっていたことが影響していると思う。	指導者間の意見の違いに、学生は戸惑ってはいたものの、逆にそれを楽しむ余裕を感じた。結果的には授業は理解しやすかったようだ。	評価の良い理由を分析し、次年度にいかせるように検討し、いい点は継続させていきたい。	1	1	1
月5(隔週) 木4 保育実習 指導Ⅰ 1・2組	合田 誠	総合評価と教員の取り組みと姿勢の勉強しやすい環境づくりの項目については若干だが学内平均を下回った。他の項目ではほぼ平均の評価結果だった。昨年度より全体として高い評価結果となった。	授業がわかりやすかった楽しく学べたという意見が複数あり大いに力づけられた。勉強しやすい環境づくりについては、一層の配慮が必要であることが分かった。	現場での実例やエピソードなどを多く取り入れ、わかりやすかつ充実した内容の授業にと、考え配慮して進めた。さらに工夫改善に努めたい。	1	1	1
月5(隔週) 木2 保育実習 指導Ⅰ 3・4組	合田 誠	学生からの評価は予想以上によく、総合評価をはじめほぼ全項目で平均を上回った。また学生自身の取り組みの姿勢が平均を大幅に上回っていた。昨年度より全体として高い評価結果となった。	授業がとてもわかりやすかった、多くのことが学べたという意見が複数あり、とても力づけられた。授業の進め方が少し早かったとの意見もあり、その点について配慮も必要であることが分かった。	実例やエピソードなどを紹介して、現場の様子をわかりやすく伝えながら、授業を進めた。授業の進行については、さらに配慮し改善に努めたい。	1	1	1
水5(隔週) 木1 保育実習 指導Ⅰ 5・6組	合田 誠	学生自身の授業への取り組みの姿勢が学内平均を上回っておりこの授業への関心、意識が高いように思われる。教員の取り組み姿勢と授業内容については学内平均より少し低い結果となった。昨年度より全体として高い評価結果となった。	授業の雰囲気がとても良く、話がわかりやすかった、楽しく学べたという意見が複数あり大いに力づけられた。勉強しやすい環境づくりについてはさらなる配慮が必要であることが分かった。	現場での実例やエピソードなどを多く取り入れ、わかりやすかつ充実した授業内容にと、考え配慮して進めた。評価を踏まえ、一層の工夫改善に努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
卒業ゼミ	鍛冶谷静他	(淡路)全項目学内平均を上回っているが、「総合評価」の項では4・5回答の合計が85.7%という高い評価を得た。(曾和)全体的に授業平均が学内平均を上回っているという結果が見られる。(合田)結果的にではあるが、専任と外部講師の授業方法が功を奏したと思える。(工藤)全体的に学内平均を上回っていて学生の期待と満足度の高さが見てとれる。(山田)学生の自己評価が学内平均を上回っており、授業をしっかり受けられたと感じていることはとてもよいと思う。(長谷)多様な形での取り組みが新鮮だったのか全体的に高い評価であった。(香月)平均より上をいっている。いい授業だったのかは不安だが結果を信じたいと思う。(鍛冶谷)オムニバス形式で興味をひいたのか学生の自己評価も高い。	(淡路)現場の先生の話や踏まえ、将来の自分の姿を思い描いて前向きな記述が多かった。(曾和)多様なスタイルでのプレゼンへの評価が高かった。(合田)各教員の専門領域を改めて知る機会になったようである。(工藤)様々な知的刺激がありよかったようだ。(山田)現場の話にはとても興味を持ち、よい感想を述べていた。(長谷)現場の先生方の発表とブログαの話や実践の紹介がとてもよかったようである。(香月)人はみな感じ方が違うのだなあと感じました。(鍛冶谷)現職の先生方の研究発表が好評だった。	(淡路)各学生の研究意欲を高め、充実した研究が可能になるよう努力したい。(曾和)後期のゼミに前期の評価を積極的に反映させていきたい。(合田)本来の「研究」について各自に伝えていけるかどうか後期にかかっていると思える。(工藤)各ゼミに分かれてこの満足度をさらに高められればと思う。(山田)学生の自己評価がさらに高まるよう、自ら学ぶ姿勢でゼミが進められるよう努力したい。(長谷)ゼミの内容と進め方についても学生の満足度、評価をさらに充実できる様に工夫したい。(鍛冶谷)研究のイメージが具体的に伝わるよう伝え方を工夫したい。	0	1(5名) 0(2名)	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
モチベーション演習	新田真一 他7名	シラバスの授業目標は概ね達成されたとことが示されているが、学内平均を全体的にわずかであるが下回った。	先輩たち(卒業生・2年次生)の話を聞くことができよかった、との記述内容が多く見受けられた。	集中授業であることより、折に触れての気分転換の時間と工夫が必要である。	1	1	1
くらしのマナー(い)	富森 盛史 奥田 玲子	この授業のねらいと内容をしっかり理解してくれていることがわかった。昨年度よりも高評価だったが、さらに授業内容を精選し、工夫を重ねたい。	「ためになる内容でよかった」、あるいは「話やプリントがわかりやすかった」という記述が多かったが、少数ながら難しかったという指摘もあった。	内容をわかりやすくするため、見てわかる教材の用意や、動き等も工夫して具体的に示していきたい。	1	1	1
くらしのマナー(ろ)	富森 盛史 奥田 玲子	まったく同じ内容の授業を4展開しているが、この授業では教員の話方、授業の工夫、授業内容の理解について厳しい評価であった。また総合評価は他の3授業に比してもっとも低い数値となった。原因について検討したい。	「ためになる内容でよかった」、あるいは「話やプリントがわかりやすかった」という記述が多かったが、少数ながら難しかったという指摘もあった。	内容をわかりやすくするため、見てわかる教材の用意や、動き等も工夫して具体的に示していきたい。またさらに興味・関心を高めるため、より身近な内容を扱うなど、工夫したい。	1	1	1
くらしのマナー(は)	富森 盛史 奥田 玲子	受講者に比して回答数が少なかったことが惜まれる。授業中、勉学に集中しているかどうかの質問では、やや残念な数値となった。他の項目は平均的結果となった。	「ためになる内容でよかった」、あるいは「話やプリントがわかりやすかった」という記述が多かったが、少数ながら難しかったという指摘もあった。	授業への集中をいかに持続させるかが問われていると考える。興味のある、また将来役立つ内容を精選しているが、授業展開の方法、興味づけを工夫したい。	1	1	1
くらしのマナー(に)	富森 盛史 奥田 玲子	回答数の少ないのが惜まれる。授業への総合評価は同じ授業を行っている他の3クラスよりもっとも高い評価となった。内容もよく理解されているようである。授業時の集中も高い数値である。なお、授業時の工夫、質問などに関しては予想よりもやや低い評価となった。	「ためになる内容でよかった」、あるいは「話やプリントがわかりやすかった」という記述が多かったが、少数ながら難しかったという指摘もあった。	授業の展開、教材の提示などにさらに工夫を行いたい。学生に興味と関心をもたせ、将来に役立つ知識を持ち、実践できるよう指導したい。	1	1	1
日本語表現法(A)	富森 盛史	各項目とも高い評価だったが、学生に質問してもなかなか反応がなく、演習形式とするのに苦労した。適宜プリントによる課題を課し、練習問題に取り組んだり、手紙を実際に書いてみる、などの学習は効果があったと思われる。昨年度と類似の教材を活用したが、扱う内容やことばをより精選した。そのため、より理解が深まったと思われる。	授業がよくわかった、という好意的な記述が多かったが、板書の量が多い、との意見もわずかながらあった。	内容に興味を持てるよう、できるだけ身近なことを活用するとともに、望ましい表現、言葉づかいができるよう教材を工夫したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
日本語表現法(C)	富森 盛史	各項目とも、予想していたよりも高い評価を得たが、学生に質問してもなかなか反応がなく、演習形式とするのに苦労した。プリントによる課題や練習問題、手紙を実際に書いてみる、などの学習は自分で取り組むことができ、効果があったと思われる。昨年度と類似の教材を活用したが、扱う内容はことばをより精選した。そのためより理解が深まったと思われる。	授業がよくわかった、という意見が多かったが、板書の量が多い、また内容が多い、との意見もあった。	内容に興味を持てるよう、できるだけ身近なことを活用するとともに、望ましい表現、言葉づかいができるよう教材を工夫したい。	1	1	1
英語(英会話A)(い)	奥田 純	全体では学内平均を上回り、授業の「教え方」も評価は良好であったが、授業の「中身」についての評価は学内平均とほぼ同じ水準であった。昨年度との比較では、「教え方」に関しては評価がアップし、「中身」については横ばいであった。	自由記述を書いた学生は約半分にとどまったが、「分かりやすかった」というコメントが大半であった。	入学当初のクラス分けテストでスコアの良かった学生のクラスで基本的に教えやすいクラスであるが、英語に興味を持たせ、かつ理解度を上げる工夫を考えたい。	1	1	1
英語(英会話A)(ろ)	奥田 純	授業全体、「教え方」、「中身」のいずれの項目でも学内平均を上回る評価であった。今年は回答率がやや低くなったのが気かりである。評価に関しては昨年とほぼ同じ結果であった。	回答率と同じ比率の学生が自由記述を書いた。「英語が分かりやすくなった」というコメントもあったが、「難しかった」という声も結構あった。	上記のクラス分けで2番目にスコアの良いクラスだが、実力的にはかなり差がある。来年は教科書を「は」、「に」のクラスのもの合わせ、英語の理解度アップを図りたい。	1	1	1
英語(英会話A)(は)	奥田 純	今年はこの「は」のクラスの評価が4つのクラスで一番良く、且つ昨年度比大幅に評価が上がった。上記のクラス分けテストでは英語の力に関しては決して良好とは言えないが、英語を勉強して少しでも英語が聞けたり、話せるようになりたいという気持ちを持ち、そのためには勉強も必要という学生がかなりの比率を占めたことが原因と思われる。	自由記述も大半の学生が書いてくれたが、「分かりやすかった」というコメントが圧倒的に多かった。	英語を自分で発音し、さらに話せるようになるための練習ができるよう工夫を図りたい。	1	1	1
英語(英会話A)(に)	奥田 純	英語の必修クラスではこの「に」のクラスだけが学内平均を下回った。評価は「教え方」、「中身」、全体とも同じ水準であった。回答率は比較的良好であった。昨年比では評価はかなり上がった。	自由記述は回答率と同じくらの学生が書いてくれた。「難しかった」というコメントと並んで、「分かりやすかった」、「楽しかった」とのものも多かった。	クラス分けテストの結果では英語がかなり苦手な学生が多いので、教え方、内容にも気を配っているが、一層の工夫が必要である。	1	1	1
情報基礎(い・に)	孫一	学内平均を下回った結果となっている。集中力、私語などについての対策が不十分と言える。授業内容に関しては、授業目的がほぼ達成したと思うが、分かりやすくするための工夫がさらに必要と考える。	授業に分かりづらい時がある、ハワポアのスライドを見せるとき、メモをするかしないかの明確な指示がなかった。などの意見があった。	授業内容をもっと分かりやすく説明すべき。授業中使うスライドをメモしてもらうことで、集中力アップにもつながると考える。そして、私語に対して、強く指導すべき	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
情報基礎 (ろ・は)	孫一	学内平均を下回った結果となっている。集中力、私語などについての対策が不十分と言える。授業内容に関しては、授業目的がほぼ達成したと思うが、分かりやすくするための工夫がさらに必要と考える。	授業に分かりづらい時がある、ハワポーのスライドを見せるとき、メモをするかしないかの明確な指示がなかった。などの意見があった。	授業内容をもっと分かりやすく説明すべき。授業中使うスライドをメモしてもらうことで、集中力アップにもつながると考える。そして、私語に対して、強く指導すべき	1	1	1
情報倫理	三木大史	有効回答率が低くどの項目も「どちらでもない」の選択率がほぼ半分と高いので平均点をどのように受け止めればよいのかよくわからない。しかし「どちらかといえば」を含め「そう思わない」を選択した学生が3名程度いるということを受止めている。	内容が難しかったという意見が多数見られた。視聴覚教材の使うことについて高い評価があった。	授業内容の厳選と授業形態を見直したいと考えている。	0	1	1
情報倫理	三木大史	同じ科目の別のクラスよりも評価が高い。「どちらかといえば」を含め「そう思わない」を選択した学生が3名程度いるということを受止めている。	内容が難しかったという意見が多数見られた。視聴覚教材の使い方についてよくないという意見が一人あった。	授業内容の厳選と授業形態を見直したいと考えている。	0	1	1
自分探しの心理学	北村瑞穂	「教員は質問や発言に適切に対処していた」という項目の得点が高かった。少人数の授業であったため、学生と対話しながら授業を進めることができた。	楽しかった、後期も心理学を受講したいという意見があった。	ほとんどの学生が興味をもって授業に参加してくれたが、一部寝ている学生がいたので、声かけを心がける。DVDについては、新しいものを探す。	1	1	1
自分探しの心理学	北村瑞穂	授業に関する項目は得点が高かったが、私語や居眠りをした学生が多数いた。前年度より私語、居眠りが多くなった。	楽しかった、DVDが古い、後ろの学生がうるさいなどの意見があった。	試験を持ち込み可としているせいか、必ず合格できると思い込んで、まともに授業を受けない1年生が複数いた。来年度は評価の仕方を検討する。	1	1	1
くらしと環境	伏木真理子	教員の話し方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りの全てにおいて良いという評価で、授業内容も理解しやすく、総合評価も良いという結果であった。	環境についてよく学べました。環境問題について、興味を持った。細かく説明してくれるから良かった。Eco検定対策もきっちり教えてくれたりして、生徒のことがよく考えてくださっているのが、すごく伝わってきました。テキストを読むのをずっと聞くのは眠くなる。ノートを取ったりするほうが良かったと思います。	eco検定受験の一助ともなる授業を目指しているのので、今後も受験対策も兼ねたテキストを使用していこうと思う。	1	1	1
スポーツ I	新野弘美	少人数の回答でしたが、高評価をいただき、うれしく思っています。ただ途中から何らかの理由で、出席しなくなった学生さんがいたので、出来るだけ全員が最後まで、授業に参加するように促したいと思いません。	楽しかったという意見が大半でした。他に球技をもっとしたかった、プールのプログラムがしたい、ヨガやエアロビックダンスなどの種目をもっとしたいという意見もありました。	実施内容の理解度や技術及び体力差によって、多少は実践課題を変化させました。これからもコミュニケーションを活発にとり、1年生と2年生が円滑に関わりが持てたり、スポーツを通して、マナーや気配りが出来るように、配慮していきたいと思えます。	1	1	1
くらしとパソコン (い)	岡本久仁子	おおむね去年に引き続きよい評価をいただいた。教員の対応についての評価が前年度よりあがったのは、クラス人数が減ったからだと思われる。	進むのが早くてわかりづらかったという意見と、もう少し早めてほしいという両極端の意見があった。	現在の方向を維持しつつ、個々のレベルに対応した教材の準備が必要かもしれない。	1	0	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
くらしとパソコン(ろ)	岡本久仁子	昨年度とほぼ同じ評価であるが、学生に対する対応と、シラバス内容についての評価が下がった。	わかりやすかったという意見と、難しかったという意見があった。	基礎的な部分の差が大きいので、それを埋めるべく、指導方法を考えていきたい。	1	0	1
くらしとパソコン	渡邊伸樹	学生からは予想以上にいい評価を頂いた。ただ、改善する余地があることが分かる。	特に無し	改善する余地がまだあるので、教え方も中身も改善しようとする。	1	1	1
くらしとパソコン	渡邊伸樹	学生からは予想以上にいい評価を頂いた。ただ、改善する余地があることが分かる。	特に無し	改善する余地がまだあるので、教え方も中身も改善しようとする。	1	1	1
ファッションコーディネート演習	中野恭子	授業内容の理解は学内平均をやや上回っていたが、皆勤の生徒や熱心な生徒は、私語の多い生徒により集中できなかった。しかし、私語の多い生徒のなかで優秀なマップを完成しながらも、注意すると簡単に欠席し、単位を取得できない生徒もいた。	「内容は難しかったが、ファッションについて理解できた。自分なりにできて楽しかった。」との意見が多く、マップから自分の服を購入した学生もいた。また丁寧に取り組み、文字による説明文を記入できる学生もおり、マップに込められた意図がよく理解できた。	ますます無店舗販売が黒字経営になり、カタログ編集の仕事に就く学生が出ると嬉しい。また、昨今は若者の新型うつが問題になっているが、ファッションの喜びからも、精神的なエネルギーを充電する糸口を見出だせることを理解してほしい。	1	1	1
ファッションビジネス	中野恭子	授業内容の理解は学内平均をやや上回っていた。31名中、私語の多い生徒は5名であったが、毎回注意したが、まじめな生徒にとって、集中の妨害になった。さらに、何度も依頼したが、有効回答数が5名であるのが気になる。	本年度は、3級の問題集を使い、直接受験に取り組むやすくなったが、「進度が速く、難しかった。」との意見があった。つまり、通年分を半期で講義するので、別途用意した解説プリントを説明する時間が無く、未消化に終わった学生もいた。	本年度は31名と受講者が多かったが、ほとんどが単位取得のみを求めており、検定試験受験を目的とする学生に焦点を当てると難しくなる。未消化のまま進むことを避けたいので、問題集と解説プリントの両方に時間をさく工夫をしたい。	1	1	1
メイクアップ(ネイルアート・演習含む)	渡辺千裕	前回と同様、高評価でこの状態を維持できるように努めたいと思っております。	ネイルを増やしてほしいという意見がありました。	授業内容を、より充実させるために工夫していきたいと思っております。	1	1	1
トータルビューティー演習	新野弘美	少人数の回答でしたが、高評価をいただき、うれしく思っています。ただ途中から何らかの理由で、出席しなくなった学生さんがいたので、出来るだけ全員が最後まで、授業に参加するように促したいと思います。	興味があり、自宅でも実践出来る内容が良かった、楽しかった、健康のためになった、エアロビックダンスが良かったという意見でした。	女性が興味のある講話やプログラムを実践する中で、健康啓蒙や氾濫する情報の良い選択方法の伝達などを積極的に行いました。この授業をきっかけに身体活動量が増えるように努めます。	1	1	1
ジュエリーデザイン	池田マイケル	初めて調査をいただいたが、グループワーク中心の授業にどれくらい有用性があるか(学生同士の結束によるため)分からなかった。	課題はむずかしかったが、楽しかったという意見が目立った。	課題に関して、より学生のレベルに合わせた内容に改善していきたい。	0	0	1
ブライダル演習Ⅰ	國田育代	学生からは予想以上にいい評価を頂いたが、筆記テスト・レポートの内容については学生の中で非常に差があり、結果として出席率も考慮したが単位を出せない学生も数名いた。	良い内容が多く恐縮しています。	ただ、授業に来ていただけという学生も多く見受けられる。こういった受け身の姿勢をもう少し改善する為に今以上に発言環境を整えていく授業にしていく	0	0	1
ブライダルプロデュースⅠ	國田育代	当初、開講できない可能性もあったが、受講する学生達決定後は非常に真面目で熱心でした。期日厳守で課題を実行していました。	同上	少人数の為、もう少し個別指導の時間を持っていく			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
プレゼンテーション 概論	畑野 清司	学生たちは授業に真剣に取り組み、大いに努力した。その結果、ほぼ全員に満足していただける授業となった。評価はほぼ例年通りである。	「この授業を受けてよかった。」という評価がほとんどでした。その理由は①授業内容が判り易かった。②適切なアドバイスをいただいた。③誉めてくれた。などでした。	課題を発表するためには十分な準備が必要です。しかし年度ごとに学生達の課題に対する取り組み速度が異なるのも事実です。課題の提供などでレベルの調整が必要だと思う。	1	1	1
プレゼンテーション 概論	畑野 清司	ほとんどの学生は良く理解し、努力した。しかし、中には「もっと楽に単位が取れる。」と思って受講した学生もいて厳しい評価となった。その分、全体的に例年と比べて幾分低くなった。	「何度も発表している内には人前で発表することが苦手でなくなった。授業はとてもよかった。」①授業内容は判り易かった。②質問に親身に答えてくれた。③アドバイスをしてくれた。④誉めてくれた。などでした。	課題を発表するためには十分な準備が必要です。しかし年度ごとに学生達の課題に対する取り組み速度が異なるのも事実です。課題の提供などでレベルの調整が必要だと思う。また意欲向上を図るための更なる努力を惜しむことなく取り組んでいきたい。	1	1	1
プレゼンテーション 演習 I	服部美樹子	学生からは予想に反して低い評価であった。とくに、教員の話し方は3.33であったが、科目の特性からして担当者本人が一番気を付けているところなので、どこがどうなのか記述していただきたいところである。それによって今後の改善としたい。	授業の理解が3であった。どの点が理解し難いのか、この点についても詳しく指摘してもらうことによって、今後の改善とした。	授業で課題を出すことによってプレゼンテーションをしてもらうわけであるが、その準備は面倒だという指摘があった。このような考え方をされているのは授業にならない。シラバスをきっちり理解して受講してほしい。プレゼンが即興で話すことではないことを理解するための工夫をしなければならぬ。	1	1	1
プレゼンテーション 演習 I	服部美樹子	学生からはおおむね良好な評価を得た。2223111のクラスと同じことをしているが、受け取り方が違うことに驚いた。受講者数の違いがあるかもしれない。	このままでよいという評価を得た。	受講者数や学生の個々の理解力の違いにより、評価が異なることが分かった。今後は理解力不足の学生の対応を考える。	1	1	1
色彩の基礎 I	倉本真紀	同じ科目が2科目あり、2時間目と足並みをあわせていたため物足りないのではないかと気にしていましたが、比較的好い数値が出たため、授業の進行について工夫した結果が出たのではないかと思います。	今回は実践の授業をできるだけ増やし、進行スピードについてもかなり緩やかにしていたため、例年にみられる「わかりにくい」「難しい」という意見はありませんでした。	理解度アップ=理論と実践と考えているため、現在の比重を変更することなく、より理解と興味を示してもらえそうな授業内容にしていきたいと思います。	1	1	1
色彩の基礎 I	倉本真紀	人数に関して1/2程度の有効回答数しかなく、潜在的に満足度が低かったのではないかと思います。持参物について何度も言っているにもかかわらず、一度も持ってこなかった生徒がいました。対応に苦慮しました。	「楽しかった」という意見もありましたが、昨年までの意見も踏まえ、実験的なことも取り入れていたため、物足りないこともあったのかな、と思いました。	理解度アップ=理論と実践と考えているため、現在の比重を変更することなく、より理解と興味を示してもらえそうな授業内容にしていきたいと思います。	1	1	1
色彩の演習 (シルクスクリーン含む)	中路規夫	いつも通り良い評価を頂き喜んでいいる。実技なので、後片付けなどを含め時間通りに終了することができず、学生には居残りをしてもらっているのが心苦しい。	みんな楽しかったと言ってくれるのがとても嬉しい。楽しく作品を創りあげるのが、やはり、良い作品につながると思っている。	学生に合った時間配分で授業を進めなくてはならないと思われる。制作の作業の基本をもっとしっかりと教えるのが一番だと思われる。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
色彩の活用	倉本真紀	色彩検定に合格するためだけの授業なので、満足度よりも理解度重視の内容となったが、総合的には意外に高評価で驚きました。今年は学校から受験した全員が合格したということで、私にとっても感慨深い授業でした。	記憶する内容の多さと、あまりの内容の複雑さに「つらい」という意見もありましたが、色を学ぶことに対して前向きな意見が多く、モチベーションの高さがうかがえました。	色を楽しむ授業と色彩検定対策とは内容が異なってくるので、基礎Ⅰと基礎Ⅱからどのようにつなげていくかを再度見直そうと思いました。	1	1	1
カラーセラピーⅡ	倉本真紀	今年はカラーセラピーⅠの授業内容を深く理解している生徒ばかりで、総合評価100%を達成でき、今後もこの数字を維持できるように授業内容を組み立てていきたいと思いました。	色を学んだことで人との付き合い方がラクになれた、自分を知ることができた、恋愛の悩みが解消できたという意見が多かったことがうれしかったです。今後もこのように生徒が自分をより輝かせるための観点から、色彩をレクチャーしていきたいと思いました。	カラーセラピーⅠの授業内容をよりカラーセラピーⅡに近づけられるよう、組み立てなおしたいと思っています。	1	1	1
医療事務総論	倉戸啓子	内容の理解度について「どちらでもない」評価が多く、内容が理解しにくいと感じている人もあり、授業自体への満足度は学内平均よりも低い。	内容が難しくついていけないという感想が多い。	教える内容を整理して減らし製本したプリント集を作るなどの工夫をしてきたが、ついていけないという感想が多い。質問に個別に対応できるような方策があればよいと感じる。	0	0	0
医療事務演習	倉戸啓子	概ねどの項目も4, 5の評価が多いが、一部3の評価もあった。	パワーポイントでの説明がわかりやすかったという感想。また難しかったが総論のときより理解できたという感想もあった。	授業中積極的に質問できる学生とそうでない学生がいるので、なるべく質問する機会が偏らないように配慮したい。	0	0	0
医療秘書実務	東野國子	全体的に良い評価を頂いた。「授業内容は理解しやすかった」の評価が高かったことに対しては満足している。	学生の人数が少なく自分自身が楽しんで授業を進めることができた。学生も楽しかったようだ。		1	1	1
公衆衛生学	植村 興	すべての項目に関して、きわめて厳しい評価を頂いた。	授業内容が多岐にわたるが、総合的に「理解できなかった」と述べた学生と「有意義であった」とするコメントに2分された。小数といえども「理解できない」受講生を生じたことは問題である。	授業内容や「教え方」の改善等で問題解決に当たらなければならないが、講義担当者の交代によって抜本的解決を図ることも視野に入れなければならない。	0	0	0
公衆衛生学	植村 興		授業手法がよかった、新しい知識を得たなど、長所を指摘するコメントの一方、白紙での提出が複数あった。コミュニケーションの意義と技法を強調してきただけに、白紙の提出は遺憾であった。	ほぼ同じ授業内容や教え方であっても、クラスによって受け取られ方が異なるので、できるだけ早く担当クラスの「特徴」を把握して授業に臨まなければならない。	1	1	0
解剖生理	奥田喜一	学内平均をすべての項目で下回った。特に、話し方、対応が目立った。	一部に難しい、声が小さい、板書の字が小さいという意見があった。	授業の進め方、説明の仕方を改善し、授業に対する興味を誘うようにしようと思う。	1	1	1
薬理学	大西義博	全体として学内平均を下回る結果となった。	「むずかしかった」とか、「ためになった」とかの意見があった。	授業内容をもっと分かりやすく説明すべきかみしれない。教科書を読ませるなどの改善が必要と考える。	1	1	1
社会福祉概論	保科和久	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし、自分自身の体感では、不十分な点もあるんで、今後につなげていきたい。	特に、注目すべき記述がなかった。	授業中の様子を見てみると、1年生には内容的に難しい部分が多いようなので、少し、注意して、工夫したいと思う。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
病院実習	小西浩実	授業内容評価は、学内平均を上回る良い評価を頂いた。しかし、総合評価では学内平均を下回っており、授業での創意工夫、授業態度において注意喚起を促したい。		授業内容評価に関しては、前年度より改善が見られた。更に内容の視点を実践に主眼を置いたものに変更し、プリント配布やスライドを増やし理解力の向上に努める。授業態度に対しては、その都度、注意喚起を促し教室内全体の学習環境を整える。	1	1	1
介護概論	植北康嗣	残念ながら、ほぼすべての項目において、学内平均を下回る結果となった。学生が主体的に授業へ取り組めるように指導を試みたが、思うようにモチベーションを高めることができなかった。それには、授業の進め方だけでなく、この科目への興味関心をひきつけることへの工夫がより必要と感じた。	1の結果とは逆に授業の内容に満足したという意見が多かった。特に高齢者の特徴や認知症についての関心が高くわかりやすかったという意見もあった。	より多くの学生が主体的に講義に参加できるよう、身近な生活に結びつけた解説やもう少し視覚教材なども取り入れ、具体的な情報を提示していきたい。	1	1	1
臨床医学概論Ⅱ	河口祐子	いい評価をいただいた。思ったよりも授業内容が理解されていた。	パワーポイントが少し見にくいという意見があった。	視覚的に解りやすい見せ方、資料づくりに努めた。	1	1	1
医学医療用語	河口祐子	思った以上の評価をいただいた。反面、理解度の差が大きかった。	体験談を取り入れたり、パワーポイントの使い方など授業に工夫がみられたという意見があった。	医療用語の難しさに挫折した学生もいるため、苦手意識を感じさせない工夫や説明を考える必要がある。	1	1	1
診療情報管理論Ⅰ	河口祐子	あまりいい評価ではなかった。	授業の進め方が速く、内容が難しかったという意見があった。	法律等の理論的な内容であるため、かみ砕いた説明、視覚的に興味を持つような工夫が必要である。	1	1	1
ICDコーディング実務演習Ⅰ	富永純子	15人という人数だったため一人一人見てまわれる学生への対応が出来ました。学生からはかなり高い評価を頂きました。	授業の中でも同じ問題をさせても早く解いてしまい時間があまる、一方ゆっくりした学生は時間内に仕上げることが出来ないという個人差がありました。	設定された時間に問題を解き仕上げる事に集中できるように学生に対応していきたいと思います。	0	1	1
医療事務コンピュータⅠ	倉戸啓子	授業については概ねよい評価であった。	少人数なのでわからないところはすぐに質問でき、丁寧に教えてもらえるのでよかったという感想があった。	医療現場の実務に即した内容をより多く取り入れる。	0	0	0
医療事務コンピュータⅡ	倉戸啓子	同上	同上	同上	0	0	0
食生活と健康	奥田玲子	学生からの評価は予想外に低く、全ての項目で昨年度を下回った。授業中は私語もなく、学生が集中しているように見ただけに意外である。原因を検討し改善したい。	食生活の大切さに気づき、日常生活に活かしたいという意見が多くみられた。内容が難しいという意見が少数あった。	食、栄養、健康などについて、世の中で今話題になっているトピックスなど学生の関心を高める内容を盛り込む、参加型の演習を行うなど、もっと学びたいという気持ちで集中していけるよう努める。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
食生活 アドバイザー	奥田玲子	全ての項目に於いて、平均を大きく上回る大変高い評価をいただいた。昨年との比較では、特に教員の話し方、学生の理解度、総合評価の点数が上がっていた。	要点がわかり易かった、理解しやすかったという意見が多かった。自ら積極的に問題に取り組む姿勢も感じられた。また、作成した「勉強ナビ」でスムーズに勉強を進められたとの意見も多く、効果が確認できた。	さらに検定試験の合格率向上に努めたい。	1	1	1
食の歴史と文化	坂口守彦	授業開始前に想像したよりも良好な評価を得た。授業のスピードを遅くし、プリントを配布して、カラー写真やビデオを示して授業を実施したことなどが好結果を生んだものと思われる。	一般常識として既知であったり、高校の歴史の教科の中で、すでに学習したところまで重複して教授しているところがあるので、今期はこの点に注意を払ったが、一部には理解しがたいという不満が見られた。	授業評価アンケートで好評であっても、期末試験の結果がこれに見合うものになっていない。来期はショートテストを実施しつつ、授業の理解度を深めたい。	1	1	1
食の安全性	坂口守彦	本科目は比較的教授しやすい科目に属するが、学生の評価は学内平均を下回っていた。熱意をこめて授業の実施に努めたが、内容が十分理解されていないのは遺憾である。	全般的に好評であったが、授業のスピードがやや遅いというものもあった。しかし、積極的な意見の陳述は少なかった。	授業は主としてプリントを配布して進めたが、ときおり写真、図表などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせて授業の要点を明示し、これまで以上によく理解させることに努めたい。	1	1	1
食品材料の基礎知識	坂口守彦	授業開始前に想像したとおりきわめて平均的な評価を得た。これで学生が正當に評価したのかどうか疑わしい。昨年度と授業内容、方法などはあまり違いはない。授業に臨んでわかりやすく講義を進めた点が十分に評価されたとはいいがたい。	科目の性格上基礎的な部分が多く、学生の興味をつなぎとめにくいところがある。授業内容が難解だ、授業内容のポイントが明確ではないなどの指摘がみられた。	今年度はカラー写真などの補助教材を多用し、学生の興味をつなぎとめる方向で授業をすすめたが、これがどの程度学生の理解度増加につながったのか明確ではないので、今後も継続して実施し効果を確認したい。	1	1	1
テーブルコーディネート実習	中出真理子	授業評価は総じて良かったが、授業中の「居眠り」の項目に関しては、去年と同様に平均を少し下回った。手を動かしている間はいいが、食文化や歴史の話になると眠くなるようで、さらなる改善が必要だと感じた。	説明が少し早く、書くのが大変だったとの意見が少数あった。	説明や板書の時に一呼吸おいて書く時間をとるようにしたい。また、眠気防止には「プリントの空欄を埋める」、「具体例のパネルを回す」などとして、できるだけ手を動かす時間を増やしたい。	1	1	1
調理実習Ⅰ (テーブルマナー含む)	奥田玲子	全ての項目に於いて、平均を大きく上回る大変高い評価をいただいた。学生の私語以外の全ての項目で昨年度より高い評価点であった。	メニューが充実している、楽しく実習できた、日常生活に役に立っており今後も活かしていきたい、という意見が多くみられた。	学生が積極的に学べ、生活に役立つ授業、実習に、と昨年度より取り組んできた成果が見られた。引き続き、このような高い評価をいただけるよう努めていきたい。	0	0	0

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
調理実習Ⅰ (テーブルマナー含む)	末吉明美	前年度と比べて総合評価は変わりなく良い評価をもらった。(授業の工夫・内容の理解が評価アップ。居眠りをした・授業目標を達成するのに適した授業内容であったに対する評価はダウンしていた。)	少数の学生ですが、「いろんな調味料・料理を教えてもらって、よかったし役に立った」という意見あり。(家で作っているとのこと)ほとんどの学生は「おいしかったし楽しかった」という意見です。	説明の時の居眠りゼロを目指せるよう、デモンストラーションを多くしようと思います。前期に続いて後期も個々に対応した綿密な指導をしてゆきたいと思います。調理の技術アップだけでなく、食材を育てる苦労、どんなものを食べると安全か、又健康になれるのか、食事の作法など正しい知識を理解させ、食への関心を持ち続けられるよう、指導していきたいです。	1	1	1
製菓材料の基礎知識	林真千子	学生からは、思っていた以上に良い評価を頂きました。しかし、授業内容の理解度が悪かったようです。	製菓材料の色々な事を知れて良かったという意見を多数頂きました。しかし、私語に対する対処についての不満も少々ありました。	授業内容の理解度向上の為、今後更に詳しい説明、板書に努めたく思います。また、学生の私語対策として、注意以上の何らかのペナルティーを設けるように努めたく思います。	1	1	1
製菓・ラッピング実習	栗村初音	昨年同様、教員の姿勢、教え方、授業の内容等、学生からは学年平均を上回る良い評価をいただいた。	「ラッピングは為になるけれど、リボンを結ぶのが難しかった。」「お菓子はとても美味しい。」「午前、午後の続けての授業は疲れる。」という感想が多かった。	製菓・ラッピングの授業は、実際に作りながらの説明になるのでやや聞き取りにくいところがあるようです。実習を始める前にひと通りレシピの説明をしていますが、白板に書く等工夫したいと思います。声のボリュームを上げたり、学生に師範台まで来てもらい、説明を聞いてもらうよう心掛ける。ラッピングについては、繰り返しで上達するので、毎回授業に取り入れ、手が慣れるまで練習をいたします。	1	1	1
カフェプランニング	勝又貴司	概ね学内平均を上回る結果となっていますが、履修登録数中50%程度の有効回答数のため実際の評価が出来ません。	実習授業に関して好意的な記述が多く講義中心ではなく「楽しめる」参加意識が高く評価されています。	結果としては比較的「まじめ」な態度で受講されていましたが、内容の一部の難易度が高い部分は理解し難かったようです。また、振り返りとしてもう少し出席率を上げる魅力的な内容を検討する必要があります。	1	1	1
アロマセラピー (演習を含む)	倉津三夜子	「良かった」と「どちらでもない」に2局集中している。受け身になりがちな学生を積極的に授業参加する姿勢へと引き出すことができなかったのを感じる。	実習が楽しいというコメントが多かった。また、好きな香りに出会えた学生は講義内容にも興味を持つようになっていたのが伝わってきた。	植物に関するDVDや写真画像などの視覚教材、フレッシュハーブ、ドライハーブなどの教材を取り入れたと考えている。	1	1	1
クロスカルチャー (比較文化)	中村真里絵	項目のなかでは、学生の取り組み姿勢の点数が低いと感じた。	特に具体的な改善点を求める記述はなかった。	受講学生が毎年変わるので一概には言えないが、学生が積極的に取り組む姿勢を持てるように、声をかけるなどの工夫をしていきたい。	1	1	1
情報活用演習Ⅰ	新田真一	学生の積極的な授業参加が伺われる結果である。このような授業が常にできればいいのだが。	授業の進め方が早かったが、理解ができない場合、助手の先生が手助けしてくれた。	とくにない。	0	1	0

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
情報活用演習Ⅰ	新田真一	授業内容の理解について授業平均が3.38であった。学内平均4.03を大幅に下回った。	授業の進め方が早かったが、理解ができない場合、助手の先生が手助けしてくれた。	学生の授業内容の理解を確かめながら授業をすすめること。	1	1	1
情報応用演習Ⅰ	新田真一	すべての項目において学内平均を上回っている。	難しかったけれど、楽しかった。	とくにない。	0	1	0
情報活用演習Ⅱ	新田真一	概ね学内平均を上回っている。授業での教員の話し方について、改善するようにとの声が聞こえる。	説明のスピードが少し早いですが、わからないとき、すぐに対応してくれたことがよかった。	教員の話方についての反省と工夫が必要である。	1	1	1
情報活用演習Ⅱ	新田真一	授業内容の理解度が少し学内平均を下回っているが、他の項目においてはどうか学内平均を上回っている。	先生の話すスピードが少し早いですが、助手の先生ともども、すぐにやさしい教えの手が差しのべられている。	この調子でいいようだが、学生の理解度をより注意する必要がある。	1	1	1
情報応用演習Ⅱ	新田真一	Ⅱ-A-1とⅡ-B-2以外は学内平均とほぼ同じである。話し方のスピードが速いことを示しているであろう。	難しかった、という内容が多く見受けられた。	話し方のスピードに注意すること、それが学生の理解度を増すということ。	1	1	1
情報システム論	三木大史	回答数が2であり、「どちらでもない」と「どちらかといえばそう思う」しか選択していない。	内容が難しかったという記述があったが、検定支援講座でもあるこの科目の目的からは「難しい」という感想は当然である。	内容のレベルを下げることなく、授業形態をさらに見直したいと考えている。	0	1	1
マルチメディア演習	眞下義和	悪い結果だと受け止めています。マルチメディアに触れ、またその作品を作るということ自体には親しみを持つ学生も多いので、私自身が問題だと考えています。	良い評価、悪い評価ともにあります。良い評価はおおむね作品制作の楽しさについて言及されており、悪い評価は私自身に向けたものであります。	学生の学びの志向性を汲み取り、講義に反映することが難しくなってきたと感じています。毎年少しずつ新たな取り組みを実施しており、それらについてはそれなりに手応えを感じてはおります。ですが様々な環境や、私の本業の忙しさ、学生とのコミュニケーションなどの部分で難しさを感じています。環境、スケジュールリングについては担当、関連する先生と相談も行いつつ本校にとって良い方向性を見出したいと考えております。	1	1	1
ウェブデザインⅠ	三木大史	受講者2名で回答者2名であり、高い評価はそのとおりには受け取れない。	「内容が難しかったが、だんだん理解できるようになった」という趣旨が2通あった。	さらにレベルの高い内容を修得できるように教材の選定と提示法を改善したい。修得効果を上げることに直結する演習室の教育支援システムを導入を提言促進したい。	0	1	1
ウェブデザインⅡ	三木大史	有効回答数12で授業全体について2人が「あまりよくなかった」一人が「よくなかった」と答えている。「そう思わない」がどの項目にも一人いる。クロス集計が見てみたいと思わせる結果である。項目間の回答の関連性を見なければ評価が見えてこない。	「内容が難しかったが、面白かった」という趣旨の回答が幾人かあり、そのほかほとんどが肯定的な評価であった。一人、課題の提示について不満を述べているものがあった。	検定試験対策となるようにするとどうしても「難しい」と学生が感じる内容となるが、到達目標を一定のレベルに保ち、無理なく能力が身に着く教育方法を工夫したい。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
ビジネス実務概論	仁平章子	学生の取り組みについては、学内平均以下であった。授業についての工夫に対する評価も低かった。月曜日と同じ授業を行っているが、評価が全く異なった。	ビジネスに関する言葉が理解しにくい、という意見があった。日頃使用しない言葉に対して理解しようという意識が希薄に感じられるが、分かりやすい表現が求められていることが分かった。	この授業は、ビジネス社会へ出て行く準備としての位置づけである。学生にとって分かりやすい言葉や、身近な事柄から導入して、ビジネス社会を理解してもらえるように工夫したい。	1	1	1
ビジネス実務概論	仁平章子	学生の取り組み、教員の取り組み、授業の内容全てに学内平均を上回る評価であった。少人数で行った授業であり、学生個々に対応ができたことによる満足度であったと感じている。	わかりやすかった、と意見している。	さらに、ビジネスという学生にとって分かりにくい授業を、理解してもらえるように進行について工夫をしたい。	1	1	1
ビジネス実務演習	仁平章子	全て項目において、学内平均より高い評価であった。つまり、学生にとって理解しやすい教科であったと考えられる。	言葉遣いや、お辞儀、電話のかけ方受け方などビジネス社会での出来事を想定した演習が良いという評価であった。	就職後、即戦力として働ける技能の習得を目指して授業を展開している。さらに、学生主体の授業になるように検討したい。	1	1	1
オフィスマネージメント (経営学を含む)	仁平章子	授業内容が理解できるような工夫がされているかどうかの評価が低かった。	ビジネスの言葉が理解しにくかった、と意見している。	ビジネス社会の事柄を分かりやすく懇切丁寧に説明することが要求されている。授業の工夫をしたい。	1	1	1
事務文書管理	仁平章子	授業内容の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境の構築が、学内平均より下回っている。	毎時間の演習が大変だったと記述している。	毎時間繰り返し小テストを行い、演習問題を行うことが、大変なことのようであった。日頃書くことが少ないのか、時間内に終わらせるために必死に取り組んでいた。それなりの効果はあったと考えるが、もう少し取り組みやすい演習問題を工夫する必要があると考えられる。	1	1	1
現代社会論	伏木真理子	教員の話し方、勉強しやすい環境作りで良いという評価であった。目標達成に適した授業内容であるが、理解についてはどちらでもないという結果となった。	いろいろと新たに勉強できたので、よかったです。知らなかったことをたくさん教えていただき、すごくよかったです。環境問題についての授業が楽しかった。今問題になっている原子力発電に対して真剣になった。同じことを何回も言うのが、また授業に関係のあるのかなのかよくわからない話が入り、わかりにくい。	理解度が低いのが気になるので、専門用語の説明など、例えば漢字の意味の説明も交えるなどして丁寧にしていこうと思う。また、少しでも多くの内容を伝えたいと教員は思うが、それが消化不良を起こしている恐れもあるので、教える内容も絞り込んでみようと思う。	1	1	1
Business English	奥田 純	今年は受講者が1名で、授業評価アンケートとしては良い評価をもらったが、参考にならない気がする。評価は昨年と同じ結果であった。	自由記述も書いてくれたが、分かりやすく面白かったとの評であった。	受講者の多寡と関係なく授業は準備しているが、受講者が1名となるとその学生の力に合わせた教え方になる。引っ張りあげねばいけないこともあるが、教えていてこういうところが理解しにくい、難しいのかと思いついたことを今後の授業に生かしたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
人間関係論	北村瑞穂	授業に関する項目は得点が高かったが、私語や居眠りをした学生がいた。しかし、前年度より私語、居眠りは減少している。	身近なことがテーマだったので関心をもって授業に参加できたという意見があった。	ほとんどの学生が興味をもって授業に参加してくれたが、一部寝ている学生がいたので、声かけを心がける。試験前になってもテキストを購入していない学生がいたので、早めに購入させる。	1	1	1
臨床心理学	北村瑞穂	すべての項目において、学内平均以上の評価を得た。	うつ病やカウンセリングについて知ることができて役に立ったという意見があった。	今年度初めて担当する授業で内容も高度だったので、評価を心配していたが、高評価で安心した。しかし、私語や居眠りはあったため、授業中に声かけをしていく。	1	1	1
家族心理学	森石加世子	総合評価が良かったので、今後は細部に配慮して授業を行いたい。	全体的に評価が良く、アンケート結果との差異について考えたい。	学生個人の意欲が授業評価に関連している点を考慮したい。	1	1	1
性格の理解と把握	北村瑞穂	私語、居眠りの項目を除く、すべての項目において、大変高い評価を得た。前年度より全体的に高い評価を得ている。	双子のDVDが面白かった、心理テストが楽しかった、自分の意外な面に気付いたなどの意見があった。	ほとんどの学生が興味をもって授業に参加してくれたが、一部寝ている学生がいたので、声かけを心がける。	1	1	1
心理学演習	北村瑞穂	私語、居眠りの項目を除く、すべての項目において、大変高い評価を得た。死語の項目を除けば、前年度より全体的に高い評価を得ている。	間違った情報に騙されないようにになりたいと思った、先生が学生の発言に適切に対応してくれたなどの意見があった。	ほとんどの学生が興味をもって授業に参加してくれたが、一部寝ている学生がいたので、声かけを心がける。	1	1	1
カウンセリング概論	鍛治谷静	前年度とくらべ、授業内容の理解しやすさに関する評価がアップしていた。内容を変えたわけではないので学生の受講態度によるところが大きいように感じている。	概ね専門的な内容に興味をもってもらえたようであるが、眠かったとのコメントも散見された。	授業の進め方が一方的な講義形式なので、もっと双方向のやりとりを取り入れていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
くらしと情報	村上和繁	全体的に、よい評価をいただいた。授業での集中の項目について、平均を下回る結果になった。	一部、内容に苦手意識を訴える学生もいたが、学習意欲を失うことなく、受講できたという意見があった。	授業中の集中についての項目が悪く、そのほかの理解度などは、十分な数値であった。おそらくは、学生は、授業内容を平易と感じ、集中せずとも課題を行なうことができると考えたため、こうした結果が出たと考えている。次回は学習内容をより多くしていこうと考えている。	1	1	1
くらしと音楽	仲宗根稔	項目 I-2以外は学内平均より高い評価であった。選択科目で希望者のみの授業。もっと学生の満足度を得るような授業工夫をしたい。	6名の受講者で悪い記述は書きづらいと思う。前向きなコメントが殆どであった。	授業に対する学生の姿勢は熱心であった。演習形式であったため学生自身の活動も多く、自然発生的に私語もあった。しかしこの行動が授業を妨げるのではなく、目標に向かって活動する意欲につながったと考える。			
くらしと音楽	仲宗根稔			授業の到達目標を達成を感じてくれた調査結果と受け止めている。次年度も担当することになればよりスキルアップにつながるよう改善したい。	1	1	1
社会の理解B	石川 肇	6割以上の学生が総合評価で高い評価してくれたが、どちらでもないと答えた学生が4割近くいたので授業の意図が伝わるように工夫したい	プリントの配布はテキストを使うより理解しやすかったと言う学生が何名書いた。社会の仕組みの基本が学べたことが将来役に立つと考える学生も多数いた	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったのと書く量が多いとの指摘があったので、量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
介護の基本E (介護実践における連携)	植北康嗣	授業内容については満足している学生が多かったが、居眠りや私語に対する注意は不足していたようである。また、学生自身も私語、メールなどで授業に集中していないという者も多かった。	多職種との連携や具体的な事例の紹介に満足した学生も多く概ね高評であった。	職種間の連携の理解は、説明だけでは困難なためケーススタディなども取り入れ意識を高めるような授業を行っていきたい。	1	1	1
生活支援技術G	吉井珠代	全般的には学内平均を下回る授業評価となった。これは、一部の受講態度不良学生による悪影響が原因の一つではあるが、その学生たちに興味を抱かせられない私自身の授業の進め方によることが最大原因であるので反省すべき点である。	「今まで知らなかった家事の仕方がわかってよかった」「家で実際にやってみたら褒められた」という好意的な感想が数枚あったが、「白紙、未記入」のものも数枚あり、評価が分かれた。	実技演習系の授業は受講者数と学内の設備・備品の数が大いに影響する。特に、家事援助の器具物品については、全般的に数・品数が少なく、学生の授業中の演習回数が十分に満たせなくて、学生は手持ち無沙汰な状態にされることが多くなるため、私語が増える。このような学生・教員双方にとっての教育環境要因が背景にあるのが事実だが、次年度以降は、授業中の演習項目の種類を増やして、物品の不足を手法でカバーしたいと考える。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
生活支援技術H (栄養・調理)	林真千子	学生からは、思っていた以上に良い評価を頂きました。しかし、授業内容の理解度が悪かったようです。学内平均とほぼ同じくらいの評価を頂きました。しかし、授業内容の理解度が、少々悪いようでした。	調理実習が大変楽しく、ためになったという意見を多数いただきました。しかし、板書の書き方、量についての不満も少々ありました。	授業内容の理解度向上の為、今後更に詳しい説明とわかりやすい板書に努めたいと思います。	1	1	1
介護過程Ⅲ	吉井珠代	全般的に学内平均より下回る授業評価となった。『利用者への“個別援助計画”を自分で実際に立てられるようになる』という授業の目標を達成させるために、どうしても宿題(課題レポート)が多くなるが、一部の特定の学生は“未提出”が常になってしまい(宿題をする時間がないというよりも、課題が理解できなくてお手上げ状態であるという理由が濃厚である)全体の授業評価に影響していると推察する。	「授業中に他の学生のケアプランが聞けて、いろいろな援助計画があることがわかり参考になった」「宿題を頑張ったので、自分で援助計画が立てられる自信がついた」などの好意的な記述と、「難しくわかんなかった」「一人で援助計画を立てられない」といった両極端なコメントが寄せられた。	2年生次9月に、1か月の介護実習に参加させるための条件である“個別援助計画の立案・実施・評価：介護過程の展開”には、いくつかの介護事例を通して、「実際に援助計画を立案すること」が必須条件である。そのため、ペーパー事例2題、ビデオ事例1題を出したのであるが、それを減らすことはできない。したがって、次年度は4事例を増やして、初めの2事例は数人の学生が共同して、介護上の課題を見つけることができるようにしてみようと思う。	1	1	1
介護過程Ⅳ	石川 肇	Ⅱの項目で、すべて41.7%がどちらでもないと答えているのに驚いた。あまり印象のない授業であったのかと反省している	授業の進行が速いと言う指摘が数名の学生に指摘された。援助計画を90分で完成させるには少しボリュームがあったかなと反省している	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
介護総合演習Ⅲ	植北康嗣	教員の取り組み姿勢や授業内容については学内平均を上回る高評価を受けることができた。しかし、学生個々の取り組み姿勢については反省している点もあり、授業に集中できていない学生も多かった。	発表や演習の機会もあったため苦労したという意見も多かったが、その分、身につくことも多かったという意見があった。また、実習前の指導はわかりやすく、安心したという意見も聞かれ、満足しているようだった。	この授業は実習前後のフォローをすることが大きな目的のため、実習への期待を高め、不安を軽減するような授業をさらに意識して進めていきたい。	0	1	1
認知症の理解B (認知症ケアの実際)	榊原和子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし、授業中に配布したプリントなどの活用を再考しなければならないと考える。	授業の進め方は、声が大きくははっきりしていたという意見が多かった。また、理解しやすいという評価も多かったが、数名からは言葉が難しく理解しにくいという表記があったので、配慮しなければならないと考える。	2年生が対象の授業のため、専門用語や認知症の基礎理解ができていたので、良い評価に結び付いてた考えられる。しかし、視聴覚教材の積極的な活用により、より理解を深めさせてゆきたい。	1	1	1
障害の理解A	石川 肇	Ⅱの項目で、多くの学生が(平均40%)どちらでもないと答えているのに驚いた。あまり印象のない授業であったのかと反省している	様々な障害や薬物の影響などを知ることが出来たという意見が多かったのと、板書が多いとの指摘も多数あった。	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
いのちの科学	坂口守彦	理解度、満足度などが学内平均をいくぶん下まわっていた。一部の意見に授業内容が難解で進め方が速すぎるというものがある。本科目は理科系科目の中で重要なものであるから、授業のはじめにこの点を強調するが十分に理解されていない。また授業の過程で難解なところが出現しても授業後に質問したりして十分に内容を把握してほしいものである。	授業のスピードはとくに問題はないが、内容が高度で理解し得ないという意見が少数だが認められた。自由記述の用紙に何らかの意見を述べているのは、きわめて一部に過ぎない。	授業にたいする熱意が希薄であるため、内容をより基礎的なものに変更し、また授業内容の範囲を限定する。	1	1	1
くらしと環境	伏木真理子	使用したテキスト、学生の質問や発言に対する対応で評価が特に低く、授業内容が理解しにくい、総合評価もあまり良くないという結果となった。	もう少しゆっくり進めてほしかったです。学生の質問に対して、すぐに対応してくれない。聞きたいことがあるのに後でこたえるのはあまりよくないと思う。声が大きいの、マイクはいらないうと思う。問題を先にやってから、解説を読んでも意味がないと思った。ホワイトボードに書くようにしてほしい。わけわかめでした(学生の表現のまま)。授業はわかりやすいし聞きとりやすいです。Ecoは大切やと思った。	eco検定で問われる内容は、受験のいかに関わらず一般教養としても大切なものであると教員は考えるので、テキストは受験対策も兼ねたものを使用した。良い結果につながらなかった。テキストを変えてみようと思う。また、進み方が速いという声が多く、それが理解度にも影響したと思うので、教える内容を絞り込んでみようと思う。学生の質問に対する対応は、教員の説明が一区切りつかないうちにどんどん質問してくるので、対応に苦慮した。直ぐに聞きたい、直ぐに聞かないと質問することを忘れてしまうという声もあったが、質問内容のメモを取り、教員の説明を遮らず一段落ついたらとところで質問するという習慣をつけることも必要と思う。	1	1	1
日本語表現法	富森 盛史	各項目とも高い評価だった。授業時の学生の反応がよく、さまざまな質問が出たことで、授業に反映させることができ、授業のねらい・内容がよく理解されたと考えている。今後も工夫を重ねたい。昨年度よりも積極的に学生が質問や感想を述べてくれたので、授業の効果は高まったと思われる。	言葉の使い方、手紙の書き方や言い慣わされていることばなどがよくわかった、という声が多かった。	学生の関心のある分野を活用してことばの理解に誘導するよう工夫をしたい。	1	1	1
人間の尊厳と自立	石川 肇	7割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれた一方、理解しにくかったと言う学生も多かったので授業方法の工夫が必要と感じた	自由記述では難しかったと言う学生より分かりやすい内容だったと言う学生が多かった。授業の雰囲気もリラックスできると指摘された	授業のテーマが固いのでどうしても理論的にならざるを得ないのだが、できるだけ分かりやすく理論を分解して説明したい	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
人間関係とコミュニケーション	榊原和子	予測通りの総合評価となっている。特に、「学生の授業中の私語、メール等をしましたか」という問いに対して、昨年は約22%の学生が「そう思わない」という回答であったが、今回は3.8%という結果になっている。このことについては、昨年の自由記述を参考にした事が功を奏していると考えられる。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。しかし、声が大きくははっきりしていたという意見も多かった。	授業内容に自己理解等身近なテーマから関係性の樹立、さらにはコミュニケーションの果たす役割といった学習過程から、理解度アップに努める。	1	1	1
介護の基本A (自立に向けた介護)	榊原和子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。特に「授業に集中している」という問いに対し、全ての学生が「そう思う」あるいは「どちらかといえば」の両項目0%であった。このことは、授業中の質問に対し、より詳しい説明を追加する等の対応が講義内容の理解や積極性につながった結果と考えられる。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が数名にあった。しかし、声が大きくははっきりしていたという意見が多かった。また、説明が理解しやすかったという意見も約多くの意見としてあった。	学習に対して、積極的にかかわる学生以外にも興味・関心をもってもらえるような授業構成にしてゆきたい。	1	1	1
介護の基本B	吉井珠代	全般的に学内平均を下回る授業評価であった。唯一の高得点は、「教員の話の方が聞き取りやすかった」であった。当該科目は、介護の概念や本質論などの抽象的な事柄を理解させる科目なので、学生には難易度の高い科目だと思われる。	視聴覚教材と具体的な説明について学生から「わかりやすい」といった好意的な感想を多く受けた。視聴覚教材とその説明が、日ごろ高齢者との接触頻度が低い学生にとって、介護に対する良いイメージ形成に役立っているようである。	視聴覚教材に対する学生の反応は良いものの、理解度(学生の成績も含め)を考えると次年度以降はさらに平易な表現やイメージが必要であり、授業後の理解度を確認できるようなレポートを取り入れてみたい。	1	1	1
介護の基本D (介護福祉士とはたらく場)	植北康嗣	ほとんどの項目が4以上と評価されていたのは良かった。ただ、教員が学生の私語を注意し、勉強できる環境を作ることに限っては、やや評価が低かった。	また、板書の際にももう少し時間をとってほしいや私語をする学生にもっと注意を促してほしいという意見があった。記述の多くは、事例についての解説には満足しているというものが多くあった。	具体的な事例の説明については今後も、取り入れていきたい。授業の雰囲気や流れを崩さないために、意図的に私語の注意を最小限に抑えてきた。今回の結果を踏まえ、進行方法を検討したい。	1	1	1
コミュニケーション技術I	榊原和子	教員の取り組みの姿勢と授業内容について、学内平均を上回る評価を頂いた。特に「授業に集中している」という問いに対し、全ての学生が「そう思う」あるいは「どちらかといえば」の両項目が0%であった。特に、学生参加型の授業を心がけた結果と考えられるので、次年度も継続したい。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が数名あったが、ほぼ全員から理解しやすいという評価を得た。	学習に対して、積極的にかかわる学生以外にも興味・関心をもってもらえるような授業構成にしてゆきたい。	1	1	1
生活支援技術A (居住環境)・睡眠	植北康嗣	授業の内容などすべての項目が、学内平均を大きく上回る評価を受けることができた。今後は更なる向上を求め努力したい。	実技科目のため、自らが積極的に取り組めたという意見が多かった。	実技演習をすべての学生が、経験し実践できるようになるため、複数の実技をこなすスタンプラリーを取り入れたこともあり、授業時間以外での練習の機会も充実していた。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
生活支援技術D	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る授業評価が得られた。当該科目は、介護技術の習得を目指しているため、学生に繰り返しロールプレイによる演習を体験させた。また、各班で気づきを語り合うという方法も取り入れたので学生の満足度が高くなったのではないかと推察する。	「実技演習が多くて楽しかった」という感想から、体験学習には興味を感じてくれているようである。また、「レポートの書き方を説明してくれたのでうまく書けるようになった」といった、日常のきめ細かな指導に対して好意的な感想があった。	実技演習系の授業であるため(受講者数が増加すると、物理的に実技演習回数を減少せざるを得なくなるが、今年のように各班で気づきを語り合うという方法も取り入れると学生の満足度は高くなったので、継続させたい。	1	1	1
介護過程 I	植北康嗣	授業の内容などすべての項目が、学内平均を大きく上回る評価を受けることができた。今後は更なる向上を求め努力したい。	楽しみながら授業が受けられたと満足しているといった記述が多かった。また、板書の量が多く、苦勞したという意見も複数あった。	板書の内容や分量については、検討したい。ただ、学生の集中力を高めるために考えさせる授業の工夫をしたい。	1	1	1
介護総合演習 I	吉井珠代	全体的に学内平均を下回る授業評価になった。学外での介護実習に関する心構えや、多くの書類準備など、学生が提出しなければならぬ項目が多く、礼儀・礼節を重んじることの重要性を繰り返し伝える中で、実習への期待感を増す学生と負担感を抱く学生に分かれたように推察する。	前述したように、実習へのモチベーションが高まった学生は、準備書類清書や実習日誌練習が楽しいと答え、逆に、モチベーションが高まらなかった学生は、提出書類の多さや、日誌記述の難しさに不満を表すコメントが寄せられた。	実習準備や実習日誌記入することに自信をつけさせる方法(望ましい記入例を示すなど)を取り入れようとする。	1	1	1
発達と老化の理解A	吉井珠代	学内平均に近い授業評価であった。当該科目は、教科書の頁数も多く、授業内容が広範囲に及ぶため、学生にとっては理解しにくい科目であろうと考えていたが、視聴覚教材を効果的に取り入れ詳しく説明したので、学生の満足度が高く出たのではないかと推察する。また、乳幼児からの人間の正常な成長発育・発達の説明もあるため、関心が高かったと思う。	当該科目は、高齢者を中心とした知識だけでなく、乳幼児からの成長・発達も学習するため、学生は、自分の育ってきた過程(まだ自分の記憶にない幼少時のことも学ぶ)の学習に興味をもってくれたようである。また、「視聴覚教材が、わかりやすくよかった」との感想も多い。	今年度同様、授業で伝える項目をある程度絞りこみ、視聴覚教材映写前に要点を説明するという方法を継続したい。	1	1	1
こころとからだのしくみA(身じたく)	榊原和子	教員の取り組みの姿勢と授業内容について、予想以上の評価を頂いた。しかし、「学生の授業中の私語、メール等をしましたか」という問いに対して、約12.5%の学生がそう思わないという回答をしていることについては、講義内容が難しく、理解できないことが結果に繋がっていると考えられる。今後、精選したい。	授業の進め方で、板書が追いつかないという意見と図が下手という意見が多くあった。しかし、身体に強い関心を持って、楽しい授業という評価も多くあった。	学生が、自分の身体について専門的な知識を吸収したいという意欲が授業中に感じられた。したがって、確実に知識を習得できるように授業展開してゆきたい。	1	1	1
こころとからだのしくみB(移動・睡眠)	植北康嗣	授業の内容などすべての項目が、学内平均を大きく上回る評価を受けることができた。今後は更なる向上を求め努力したい。	ほぼすべての記述が満足しているという内容だった。また、「テストに向けて頑張りたい」という意欲的な感想もあった。	基本的な解剖も含まれる授業なので、もう少し資料を増やし、さらにわかりやすい授業を心がけたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
こころとからだのしくみC	吉井珠代	ほぼ全般的に学内平均を上回る授業評価を得ることができたが、「総合評価」に関しては学内平均を下回った。当該科目は、医学知識を覚えることが中心になるので、暗記が苦手な学生には難易度の高い科目だと思われるため、評価が分かれたと推察する。	「自分自身の体のことが知れて健康について理解できてよかった」「覚える科目は苦手だったが、医学知識が増えてきて嬉しくなってきた」という好意的な感想と、「覚えることが多く大変」「医学用語が難しい」の感想に分かれる。	私自身、授業で伝える内容をやや少なくして、復習の意味において、次の週の初めには、前週の知識確認をしながら新しい単元に入っていく方法(小テストも実施)をとるようにしていたので、今後もよりフィードバックを確実にしていきたい。	1	1	1
フードマネジメントとメニュープランニング	播 賢知	全体を通して、本当に解っているのかどうか、ほとんど反応が無い状態での講義だったのでかなり心配していましたが、結果は思っていた以上に理解してくれていた様子で安心するやら、それならもっと表現してくれていたなら更に深い話も出来たのに・・・と少々悔やまれます。	こちらも共通して多く記されていたのは、単に学問だけの話としてではなく、私達(学生)が将来的に仕事のみならず生活の中でも十分に役立つ内容で嬉しかったと有り、それを読んで嬉しかったです。それと元々何の勉強か全くわからずに受講した学生がこんな仕事(フードマネジメント)が有ることを知れたという声も少なくなかったです。	第1回目から、学生達とコミュニケーションを取れるようにと頑張ってきましたが、結局左記1.の通り反応が今ひとつ無かったのに、播の気持ちは伝わっていたようなので、今後は学生の気持ちを素直に表現出来るような話し方や態度に力を入れてみようと思います。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話B)	伊藤紀美江	昨年度と同様、1講時に比べ2講時になると授業はしやすいが、学生の集中力はあまり高く無いようである。ただし全く同じ内容なのに、他の評価は、1講時に比べずっと良くなるのが不思議である。	音楽やビデオを使った授業が楽しいと言うコメントが多かったので、次年度も取り入れようと思う。	1講時に比べたらまだマシンだが、やはり英語に興味の無い、もしくは苦手意識でがんじがらめになっている学生を、いかに楽しいと思わせるか、というのが一番の課題である。	1	1	1
英語 (英会話B)	伊藤紀美江	授業内容の理解に関しては評価が高かったが、居眠りや私語をしている学生への注意や学生の授業への集中度が低かった。	音楽やビデオを使った授業が楽しいと言うコメントが多かったので、次年度も取り入れようと思う。	月曜日の1講時に、学生が苦手でも専門外の語学の授業はかなり厳しく、いくら易しい教材を使っても基礎学力が低い場合、集中力を持続させることが非常に難しいと実感している。いかに興味を持って1時間半を過ごさせるかが課題である。	1	1	1
英語 (英会話B)	原川博善	英語に対する興味が低いことがI 2, 3の項目の回答(学内平均をかなり下回る)に表れている。 IIの1, 2では前期アンケートの要望に応じて話しと板書のスピードに配慮したがまだ十分ではなかったようだ。 IIAの3, 4では質問への対応、環境づくりが少し認められて学内平均レベルに評価されている。 IIB2では授業内容が理解しにくかった学生が回答者の14%いたのは残念である。	自由表記のアンケートでは、前期は授業の環境と板書への要望があったが、後期はいずれも授業のさまざまな工夫への評価とまた受けたいとの意見が見られありがたかった。	テキストは保育園を対象とした英語教材で内容的に適しているが、その英語レベルと扱い方をもっと学生の皆さんに合ったものとするためにさらに検討する必要がある。	1	1	0
スポーツII	鎔 功	学生からは良い評価をいただいたと思う。総合評価も、5良かったが一番多かった。	楽しかった。もっと体を動かしたかったという意見が多かった。	実技の授業を十分理解し、他の楽しめたと思う。	1	1	1
スポーツII	鎔 功	学内平均を下回っていたが、3どちらでもないに集中していた。環境づくりという点においては、少し評価が低かった。	体育館が狭いとか、遠いという意見が多かった。	環境が悪くても、個々で合わせるよう理解してほしいと思う。	1	1	1
スポーツII	鎔 功	学内平均とさほど変わらない評価であった。授業内容の工夫という点で、少し評価が低かった。	朝1限目で、体育館が遠いという意見が多かった。	環境が悪くても、個々で合わせるよう理解してほしいと思う。	1	1	1
スポーツII	鎔 功	学内平均とさほど変わらない評価であった。総合評価で5良かったという評価で良かった。	楽しかったという意見が多く、良かったと思う。	実技の授業を十分理解し、他の楽しめたと思う。	1	1	1
保育者キャリア支援演習B	工藤真由美	基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育者キャリア支援演習B(1・2組)	工藤真由美 鍛冶谷静	(工藤)基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。(鍛冶谷)回答数が少ない。	(工藤)小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。(鍛冶谷)具体的な指摘は少ない。	(工藤)学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。(鍛冶谷)学生の反応を見ながら授業を進めていきたい。	1	1	1
保育者キャリア支援演習B	工藤真由美	基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1
保育者キャリア支援演習B(3・4組)	工藤真由美 鍛冶谷静	(工藤)基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。(鍛冶谷)授業中の手ごたえと相反する結果に戸惑っている。	(工藤)小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。(鍛冶谷)具体的な指摘は少ない。	(工藤)学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。(鍛冶谷)学生の良い反応ばかりに目が行ってたのかもしれない点は反省したい。	1	1	1
保育者キャリア支援演習B	工藤真由美	基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1
保育者キャリア支援演習B(5・6組)	工藤真由美 鍛冶谷静	(工藤)基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。(鍛冶谷)授業中の取り組みが一番熱心だったクラスである。それが反映された結果と受け止めている。	(工藤)小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。(鍛冶谷)具体的な指摘は少ない。	(工藤)学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。(鍛冶谷)学生の反応を見ながら授業を進めていきたい。	1	1	1
言葉と表現Ⅱ	工藤真由美	学生の理解力を高めようとしたが、こちらの思いとはずれざる学生にたいして、説明を繰り返していく必要を感じた。内容をわかりやすく提供できる工夫を検討したい。勉強しやすい環境に努めたことはかなり思い通り高く評価されうれしい。今後も続けたい。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、好評な部分を残し、わかりにくい部分は再考したい。	1	1	1
言葉と表現Ⅱ	工藤真由美	学生の理解力を高めようとしたものの、その真意を理解できる学生とそうでない学生の差が大きいと感じた。繰り返し説明をする必要を実感した。授業環境を良好にする努力が高く評価されうれしい。今後にも生かしていきたい。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、再考したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
言葉と表現Ⅱ	工藤真由美	学生の理解力を高めようと期待したものの、その真意を理解できる学生とそうでない学生の差が大きいと感じた。繰り返し説明をする必要を実感した。授業環境を良好にする努力が高く評価されうれしい。今後にも生かしていきたい。	あまり記述がなく楽しかったという短いもののみで、授業評価としては物足りなかった。	資料の提示の仕方に一工夫したい。	1	1	1
音楽Ⅰ(Aクラス)	森脇由紀	項目によって学内平均より上下に差が有り、取り組みが評価された面もあると思う。	課題が多く大変だったという記述、丁寧に教えてもらえて良かったというものもあった。	課題の量の多さだけに目がいきましがちだが、課題の重要性、卒業後の学生にとって益となるものである事を、理解し前向きに取り組んでもらえるよう、努力したい。	1	1	1
音楽Ⅰ(Bクラス)	中東愛子	Iの項目については学内平均を上回っているが、IIの項目はほとんど学内平均より下回っていた。	自由記述のほとんどが、課題が多い、自分のレベルにあっていないという意見が多かった。	初心者にとって、多くの課題をこなすことはとても大変だと思う。課題の量だけで気持ちが下がってしまう学生が多かったので、ピアノ指導とともに、練習することを諦めず、弾けるようになる喜びや達成感も学生に伝えていけるようこちら側も努力していきたい。	1	1	1
音楽Ⅰ(学保1クラス)	久保雅世	前期とほぼ同じ評価で、学内平均平均を下回る結果であった。	自由記述では、授業に対しての前向きな意見が多かったが、アンケート結果を見ると、授業への満足度はまだまだ低いと思われる。達成感や充実感のある授業づくり、指導が必要だと感じた。	ピアノの実技は、授業の中だけで身に付くものではなく、個々が授業時間以外にも時間をかけ、取り組まなければならない。その面では学生にとってハードな授業であると思うが、技術の習得には毎日の練習・努力が必要であることを伝える事と、学生がやる気を持って取り組める指導を心がけたい。	1	1	1
音楽Ⅰ(学保2クラス)	森麻希子	全体的に学内平均を下回っているが、ほとんどの項目が前期に比べ評価がやや上がっている。しかし、授業履修者は40名ほどいるにもかかわらず、有効回答数は前期29に対し、21となっている。	課題曲(童謡)をたくさん合格できた、ピアノを頑張れて、声楽が受けられて良かった、という意見と、課題をどれくらいやったらいいのか分からない、各レッスンの時間配分を均等にしたい、再履修生にばかり力をいれないでほしい、という意見にわかれた。	童謡課題の到達目標が分からない、という意見は今回は少数だったが、記述していない学生もそれぞれ不安に思う事柄だったと思う。今回は合格曲数を集計しながらの判定だったので、その点も含め、学生にどのように周知、納得させるか考えていきたい。	1	1	1
音楽Ⅱ(1・2組)	木谷祐子	全体的に学内平均を下回っている項目が多く、前期に比べ評価がやや下がっており、反省すべきことと思う。	授業内テストの課題の量が多いという意見がいくつかあった。	課題の量が多いとは思わないが、そのように学生が感じているのならば、同じ量でも与え方の工夫が必要だと感じた。やる気をなくすことのないよう、課題をこなす目標をもてるように考えたい。	1	1	1
音楽Ⅱ(3・4組)	吉原千景	全体的に前期よりも高い評価をいただいた。各学生のしっかりした自主性がクラス全体のモチベーションアップにつながったのであろう。	「課題が多すぎる」などといった前期の意見が、後期では「もっと頑張りたい」という前向きな意見に変わっていることが印象的である。一方、ごく基本的な指導方針が理解されていない意見も見受けられた。	前向きな姿勢は大変喜ばしい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
音楽Ⅱ (5・6組)	永井美穂	全体的に学内平均を下回る評価が多かった。授業の中身についていくのが大変であったのだろう。	テストが多かったので頑張ろうと思ったという記述と、テストや課題が多すぎるといふ記述に分かれた。	9月の実習や就職試験対策として、課題の量やテストが増えるのは仕方が無い。頑張る練習してしんどい思いをした分だけピアノは上達するので、目標をしっかりと決めて練習してほしい。学生が前向きな気持ちになれるように工夫していきたい。	1	1	1
図工Ⅱ	林 有紀	授業の進行のスピードに改善すべき点があるかと思われたが、学生の印象では、授業の環境について意識の高さが窺えた。		敢えて、座席指定は行ってはいなかったが、私語が気になる学生に配慮し、学習環境を整えていきたい。	1	1	1
図工Ⅱ	林 有紀	学生が集中して授業に取り組める環境を作るという点において、まだまだ工夫の必要性を感じた。		個人個人の活動に合わせた授業の進行について改善すべき点を考慮し、今後の授業の計画をたてたい。	1	1	1
木2 生活Ⅱ 1・2・3組	長谷秀揮	全ての項目で学内平均より高い評価だった。総合評価が、学内平均より10%近く高い評価であったことをはじめ、全体としてかなり高い評価結果となった。	授業がとても分かりやすかった、との意見が多数あり、反面書くことが多く大変だったとの意見も若干あった。ノートすることの意義等について理解を促す必要性を感じた。	より多くの学生にとって理解しやすい授業内容となるように、視聴覚教材の一層の活用等も含め、さらなる授業の工夫改善に努めていきたい。	1	1	1
木1 生活Ⅱ 4・5・6組	長谷秀揮	教員の取り組みの姿勢と授業内容の全ての項目で学内平均より高い評価だった。特に総合評価が学内平均より10%以上高い評価結果となった。	ビデオ、DVD等の視聴覚教材が良かった分かりやすかった、との意見が複数あった。	学生の授業への取り組み姿勢の項目が1限目である為か学内平均よりも少し低い評価結果になった。授業の工夫改善に努め、学生の授業への参加・集中を促していきたい。	1	1	1
保育者論	伊東美栄子	月曜日の1時限目で集中しにくかった学生が多かったです。学年平均はやや低かったが、学生への私語の注意やシラバスに沿った授業内容など学生からはよい評価を得ることができた。(記述14枚あり)	絵本・歌・手遊びなどを取り入れてもらい楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業全般に保育者からの視点・観点のあり方を学び、実践に役立てられる内容を今後も続けていきたい。資料の難しい言葉の意味を丁寧に説明してもらったとの記述もあり、より授業の改善に取り組みます。	1	1	1
保育者論	伊東美栄子	授業内容がやや下回りでしたが、学生からは予想以上の評価を得ることができた。(記述30枚あり)	絵本・歌・手遊びなどを取り入れてもらい楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業全般に保育者からの視点・観点のあり方を学び、実践に役立てられる内容を今後も続けていきたい。資料の難しい言葉の意味を丁寧に説明してもらったとの記述もあり、より授業の改善に取り組みます。	1	1	1
発達 心理学Ⅱ (1・2組)	鍛冶谷静	5と3の回答がほぼ同じ比率だった。	コメントを書いた学生は2割ほど。「わかりやすかった」と「わかりにくかった」が半々で、1.の結果とも合わせて、学生間の差の大きさを感じた。	内容をもう少ししぼりこんで、学生の反応をしっかりと見られる余裕のある授業展開を考えたい。	1	1	1
発達 心理学Ⅱ (3・4組)	鍛冶谷静	同じ授業を3クラスで実施しているが、このクラスの評価が一段と低い。	寄せられたのは殆どが好意的なコメントであったが、板書が追いつかないとの意見があったので改善したい。	内容をもう少ししぼりこんで、学生の反応をしっかりと見られる余裕のある授業展開を考えたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
発達心理学Ⅱ (5・6組)	鍛治谷静	3クラス中、評価が一番高い。	前期の概論的な授業と比べ、事例を多く取り上げたことをよかったと記されていた。	内容をもう少ししぼりこんで、学生の反応をしっかりと見られる余裕のある授業展開を考えたい。	1	1	1
子どもの保健Ⅰ	内田クリ子	シラバスに適した授業内容以外の、授業集中・授業の工夫・環境づくり・理解度・総合評価等、前期・昨年に比べ改善傾向。だが、全体的には平均より下回っており、課題である。	授業中周りがうるさい、集中できない時があるが減少。少数だが、字が小さくプリント・スライドが見ずらい時がある。丁寧・解りやすい、楽しいもあるが、内容難しいもある。	学生の私語、態度に注意すると共に、授業に集中させる工夫が必要。盛りだくさんにならないよう内容精選、見やすい資料作成、専門用語の押さえ、板書、小テストの活用等授業方略の駆使・環境づくりを意識して行う。ゆとりを持つ。	1	1	1
子どもの保健Ⅰ	内田クリ子	授業集中・授業の工夫・環境づくり・授業内容・理解度・総合評価全般に、前期・昨年に比べやや改善傾向。だが、私語・授業集中並びに、全体的に平均より下回っており、課題である。	授業中うるさい、集中できない時があるが少数、静かに受けたいもある。少数だが、ゆっくり話して・どこの説明か分からない・覚えること多く大変もあるが、保健は深いと思うもある。また、良かった・真剣だったも半数近くあった。	学生の私語、態度に注意すると共に、授業に集中させる工夫が必要。盛りだくさんにならないよう内容精選、見やすい資料作成、専門用語の押さえ、板書、小テストの活用等授業方略の駆使・環境づくりを意識して行う。ゆとりを持つ。	1	1	1
子どもの食と栄養	石村哲代	今回は、数名の再履修組が、時間割の都合で別クラスに移動したため、受講者がわずか12名という非常に恵まれた環境の中で授業を進めることが出来た。学生自身による自己評価からも明らかなように、2コマ続きの授業であるにも関わらず、学生たちは真面目に真剣に授業に取り組んでくれた。学生ひとり一人の動向が把握でき、しっかりとコミュニケーションをとりながら授業を進めることができたことが学生の満足度を高める結果につながったと思う。	白紙提出を阻止するために、前回に引き続き、受講者全員に必ず5行以上は記述して提出するように伝えた上で実施した。その結果、人数が少ないこともあって全員がコメントを書いて提出した。内容的には、将来役立つ、実習が楽しかった、講義が2コマ続くのは辛かった、などが主なものであった。	保育学科の場合、携帯でのアンケートの回収率が低く、受講者の30～50%程度の結果が手元に来ることになる。今回は、少数であったこともあり、後で、一人ひとり、アンケートを実施したことを確認する、ということ伝えてから実施した。その結果100%の回収率になった。この方法は、多人数の場合には適応しないかもしれないが、回答した一部の学生の結果だけを取り上げてコメントしてみても、形式的なものになってしまい、真の授業改善にはつながらないのではないかと思う。担当者は、極力回収率アップのための努力をするべきであると思う。	1	1	1
子どもの食と栄養	奥田玲子	受講態度、集中度以外の全ての項目で学内平均点を上回る評価をいただいた。授業内容は良く理解されていた。	調理実習に積極的に参加し、楽しく多くのことを学んだという意見が多く見られた。	2コマ続きの授業であるため授業の後半部分で集中度がダウンしがちである。今後は学生の集中力の持続のための改善を行い、さらなる理解度アップを図る。	1	1	1
乳児保育	城野富美代	後期は実践が多く、学生が真剣に授業に取り組む姿が見られたことから、理解もしやすかったのではないかとと思われる。	後期は、プリント資料を使っての実践を中心に授業を進めたので、アンケートでは、わかりやすく、すぐに役に立てる内容で、とても勉強になったと言った意見が多く、最初から真面目に取り組んでいればよかったという声も多く聞かれた。	自分で書くことによって、頭に残るのではないかと考えた思いでこれまで板書も多くしていたのだが、後期はプリント資料を多くしながらの授業にしたことで、理解しやすかったようなので、引き続きプリントの活用やプロジェクターも取り組んでいきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
乳児保育	城野富美代	実践の取り組みもめんどくさいと言った感じで授業に集中できない学生も多く、授業に関心がもてなかった結果の評価と受け止められることから反省も含め、学生が関心をもてるよう授業の工夫をしていきたい。	プリント資料を使っの授業だったことから、板書のしんどさが少なかったようで、楽しかったという意見が多かったが、その裏には、私語や居眠りも見られ注意することが多かった。	授業に関心が持てるように、プロジェクター等も取り入れて工夫をしていきたい。	1	1	1
在宅保育	真下摩里	学生からは前年度と変わらずよい評価を得ることができた。板書を工夫したり、DVDの視聴や実技なども取り入れ、また内容もしぼったりして授業を工夫したのが良かったのではないかと思います。授業中の私語も、まめに注意し授業が受けやすい環境を作っていたつもりだったが、クラスによって若干差があった。只、回答者が少ないのに疑問を抱くと共に他の学生の意見も聞いてみたい。	この授業についての関心が年々増してきているように思う。学生が抱いているイメージと、実際の相違点が明確になり、いろいろな事が学べてこの授業を選択して良かったという意見が多くあり、在宅保育の理解が深まったと評価している。また、あそびの実技を取り入れたのも毎年評価が高い。	講義だけでなくDVDの視聴を取り入れることで、ベビーシッターの仕事内容などをより具体的にイメージしたり、理解しているようなので、次年度もこれらを取り入れていきたい。毎回配布しているプリントを昨年同様ポイントをしぼったものを配布しようと思う。授業に集中するように小テストを実施したが、あまり効果がなかったので考えなおしたい。	1	1	1
在宅保育	真下摩里	学生からは前年度と変わらずよい評価を得ることができた。板書を工夫したり、DVDの視聴や実技なども取り入れ、また内容もしぼったりして授業を工夫したのが良かったのではないかと思います。授業中の私語も、まめに注意し授業が受けやすい環境を作っていたつもりだったが、クラスによって若干差があった。只、回答者が少ないのに疑問を抱くと共に他の学生の意見も聞いてみたい。	この授業についての関心が年々増してきているように思う。学生が抱いているイメージと、実際の相違点が明確になり、いろいろな事が学べてこの授業を選択して良かったという意見が多くあり、在宅保育の理解が深まったと評価している。また、あそびの実技を取り入れたのも毎年評価が高い。	講義だけでなくDVDの視聴を取り入れることで、ベビーシッターの仕事内容などをより具体的にイメージしたり、理解しているようなので、次年度もこれらを取り入れていきたい。毎回配布しているプリントを昨年同様ポイントをしぼったものを配布しようと思う。授業に集中するように小テストを実施したが、あまり効果がなかったので考えなおしたい。	1	1	1
児童家庭福祉 456組	石川肇	半数以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。ただ、回答者が21名と少なく、多くの学生の意見でないことが残念であった。	表現が難しい、ノートに書く量が多かったとの指摘があったが、楽しかった何度の肯定的な評価も多く見られた	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
社会的養護	曾和信一	授業への取り組み姿勢について、私語や居眠りなどへの自己評価の授業平均が大きく学内平均を下回っているという結果になっている。	授業内容がややパターン化し、授業内容への興味・関心が途切れる時があるという意見が見られた。	授業への取り組み姿勢を問い直し、日常的によりよいものにしていく必要であると考える。	1	1	1
社会的養護	曾和信一	教員の姿勢を問う項目について、学内平均に近似であるものの、総合評価は学内平均よりもやや下回るという結果になっている。	授業に関して、好意的な意見が見られたが、授業内容についてやや難しかったという記述も見られた。	全体的に授業の質を高めるために、プリントや視聴覚教材などの活用に創意工夫を加えていきたいと考える。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
教育課程論	山田秀江	授業評価は全体的に学内平均より高かった。しかし授業の工夫についての評価が少し低かった。また、学生の自己評価も全体より少し低く気になった。	静かな環境で授業が受けられたのがよかったという意見が多かった。また、授業の進め方が早くついていけなかったという意見も少しあった。	金曜日5時間目の授業なので学生の意欲を高められるよう意識して授業に取り組んだ。その結果なのは分からないが、授業評価は全体的に平均より高く、熱心に授業に取り組む学生が多かった。今後は学生が分かりやすく意欲的に取り組めるような授業方法を工夫したいと思う。	1	1	1
教育課程論	山田秀江	授業の工夫や教員の話し方の項目が平均より少し低く気になった。	声が大きく聞き取りやすいという学生がいれば聞き取りにくかったという学生もいた。授業中に書くことが多く、スピードも速いのでついていけなかったという意見が結構あった。	学生のレベルを考えて授業内容を絞り、分かりやすく丁寧に授業を進めるよう工夫したい。	1	1	1
保育内容演習 (音楽表現 1・2組)	野間路代	まず気になるのが、有効回答数が非常に低い(8名)ということ。そして、いずれの回答も学内平均より下回っていることが気になるが、回答そのものは3~5が多いように思われる。	授業の前半(10月、11月)は行事に向けて取り組むので、達成感があった等の前向きな意見があった。反面、後半(12月~1月)は座学が多く、課題が多いという意見もあった。	後半の授業は2年生での演目発表につながる大切な授業であるので、毎年、課題や提出物の内容の練り直しが必要である。	1	1	1
保育内容演習 音楽表現	麴谷さつき	後期は授業の内容がかなり盛り沢山になったが、成果を上げられた反面、学生に十分な説明ができていない面もあり残念であった。	この授業は役だったとの意見もあり、学生の理解を得て安心した。	この授業の醍醐味である「実際に演じる」ことを勉強し、その経験を基に後期後半の授業は台本や曲を作るための基礎を勉強したが、予定していた課題を削ることが難しかったので、課題を十分に研究し発展させることが困難だった。次年度はこの反省点を踏まえ内容を工夫したい。	1	1	1
保育内容演習 (音楽表現 5.6組)	大森由美子	全ての項目において学内平均を下回っていることは、反省すべき点である。	「勉強になった」「楽しかった」という前向きな記述が多かった。「楽典の勉強をもう少し詳しくしてほしい」という貴重な記述もあり、次年度の授業内容に取り入れるべきと感じた。	学生の持っている能力を最大限に引き出せるよう、授業内容を工夫する。	1	1	1
造形表現	香月欣浩	学生からの評価が予想よりも良かった。内容も理解してくれているようだ。	制作する時間が少ないという感想は毎年あるが仕方がない	欠席が多かったのが気になるが、学生の興味を持つようなアプローチを今後とも考えていきたい。	1	1	1
造形表現	香月欣浩	学生からの評価が予想よりも良かった。内容も理解してくれているようだ。	提出期限がよく分からないという感想もあった。欠席すると聞き逃すのが困りものだ。	自主選択の制作では思い切りARTを行うことを目的として、とらわれなく出来た学生が多かった。これをヒントに来年度も授業実践をしていきたい。	1	1	1
造形表現	香月欣浩	学生からの評価が予想よりも良かった。内容も理解してくれているようだ。	制作が楽しくなったとう感想が多く見られてホッとしている。	とらわれのないダイナミックな制作をする雰囲気があったのは環境づくりの影響だと考えられる。来年度もこれを参考にしていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習(身体表現)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、私の怪我の為、前半が講義と少しだけ実技、中盤は保育祭の練習となり、北条体育館に上がってたっぷり体を動かす時間が少なかった。学生からの評価はありがたく、学内平均を上回っていました。	もっと動きたかったとの記述がありました。	学生から良い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。場所の関係もあり、授業中の学生の動きが弱いように思います。今以上にやる気の出る授業を作り出せるように努力したいと思います。	1	1	1
保育内容演習(身体表現)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、私の怪我の為、前半が講義と少しだけ実技、中盤は保育祭の練習となり、北条体育館に上がってたっぷり体を動かす時間が少なかった。学生からの評価はありがたく、学内平均を上回っていました。	楽しかったという記述がありました。	学生から良い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。午後から3時間目清風学舎で授業を受け、着替えをしてすぐに北条校舎に移動しますので、くたくたなのでしょう。集合、あいさつなどきちんとできないので、困りました。やる気の出る授業を作り出せるように努力したいのですが、学生方の悪環境も同情します。	1	1	1
保育内容演習(身体表現)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、私の怪我の為、前半が講義と少しだけ実技、中盤は保育祭の練習となり、北条体育館に上がってたっぷり体を動かす時間が少なかった。学生からの評価はありがたく、学内平均を上回っていました。	動くことが苦手だったが、楽しく受講できたという記述がありました。	学生から高い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。3時間目4時間目の内容と同じだけの内容をこなすことができれば、早く終わることも可能です。挨拶、集合などもきちんとすれば、時間を有効に使えると学生方に理解を求めましたので、きちんと話を聞くことができるクラスにできました。学生の中から「早くしよう」と促す声がかかるので、クラスが良くまとまって授業もスムーズに進めることができました。今以上にやる気の出る授業を作り出せるように努力したいと思います。	1	1	1
指導法の研究	美越芳枝	学内平均に達していなかったことに対して、授業の進め方等について再考の必要性を感じた。 * 回答学生(16/46)以外の意見も知りたく思う。	授業の進み方が早いという意見、また、声が大きく聞き取り易かったやプリントなどで理解し易かった。という意見もあり、今後、授業構成の参考としたい。	アンケートI 2, 3の学生評価から授業への取り組む姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
指導法の研究	美越芳枝	学内平均に達していなかったことに対して、授業の進め方等について再考の必要性を感じた。 * 回答学生(20/40)以外の意見も知りたく思う。	授業の進み方が早いという意見、また、事例やプリントなどで分かり易かったという意見もあり、今後、授業構成の参考としたい。	アンケートI 2, 3の学生評価から授業への取り組む姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。遅刻、欠席も多かったが、評価には影響しなかったよう。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。ごく少数に、説明が早いときがあるという指摘もあった。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。朝1限目の授業であるが、遅刻欠席をしないように指導したい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均と同じ程度の評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたが、クラス人数が多く、欠席者も入れ替わりよくあったためと考えられる。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。ごく少数に、説明が早いときがあるという指摘もあった。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。人数が多くても個別指導が行き届くように気をつけたい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。ごく少数に、説明が早いときがあるという指摘もあった。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。ごく少数に、説明が早いときがあるという指摘もあった。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。	1	1	1
教育相談	森石加世子	学生の授業態度に比して、理解度はやや良かった感がある。	授業内容に対する満足度の大きさがうかがえる評価を頂いた。	1と2の結果に差があり、学生個々の理解度にばらつきがあると思われる。その点への配慮を考えていく。	0	1	1
教育相談	森石加世子	学生自身の評価が学内平均より高かったことは、自由記述の内容とも一致しており、受講者の人数が適していたことが奏功したと思われる。	授業内容に対する満足度の大きさや理解度の大きさがうかがえる評価を頂いた。	1と2の結果に差があり、学生個々の理解度にばらつきがあると思われる。その点への配慮を考えていく。	0	1	1
教育実習指導	山田秀江	IIの項目は全て平均より高かった。しかしIの項目が学内平均より少し低いのが気になった。	実習に役立つ実践的な内容がよかったという意見が多かった。	今後も教育実習に活かせるような実践的で内容の深い授業を心掛けたい。学生の授業意欲が高まるような様々な工夫をしたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
教育実習指導	山田秀江	全ての項目において学内平均より高く非常によい評価をいただいた。	とても分かりやすく楽しい授業だったという意見が多かった。	本クラスは学生の意欲が高く熱心に取り組む雰囲気があった。私自身も学生とのよい関係ができて楽しい授業であった。教員の姿勢や学生との関係も授業評価には大きくかかわることを実感した。今後も「よい保育者を育てたい」という強い志を持ち熱心に授業をしていきたいと感じた。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ	合田 誠	全項目、学内平均以上の評価をもらい、大変満足している。しかしながら、その項目の中で「私語、メール居眠り」に関する問いかけの数値が、最も低くなっていた。授業を通じて、私語や居眠りは見受けられなかったが、受講者の自己反省の中で、そのような行為があったのかも知れない。	記述者全員が、「大変分かりやすい授業であった。」や「具体例を提示しながらの説明であったので、理解しやすかった。」などの記述が大半であった。ただ、課題を次々に課した関係もあり、「提出期間の延長」を期待する意見もあった。	この授業は、実習時期の関係と授業回数関係で、前期は隔週の変則授業で、後期に残りの8回の授業を実習が開始される11月末までに完了しなければならぬため、受講者にとってリズムを掴むには、時間が必要であったかと思う。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ	合田 誠	このクラスは、他の2クラスとは異なって、「私語、メール等」、「集中しての勉強」及び「シラバス内容」の3項目が「学内平均」を下回っていた。「集中」できていたかどうかは、受講生の個人判断となるが、「私語、メール」に関しては「自由記述」には「静かな授業で大変良かった。」の感想が数名見受けられ、担当者としても「私語」で授業ができなかったことはなかったため、大変意外である。	1. でも述べたように記述内容は、受講生にとって大変満足いく授業内容であったとのコメントが大半を占めている。他方、「教室内の空気が悪く、授業開始前等に換気の必要性を訴えた受講生があり、冬場など多くの学生が「寒さ」を訴える傾向にあったので、「換気」の観点が見失っていた点が今後の反省となった。	施設実習の開始時期や前期の保育所実習の課題と重複させないために、「課題」に関しては後期に集中せざるを得ない。「自由記述」の中に「課題を早めに教えてほしい。」との要望がひとりあり、次年度からは後期授業の第1回目に提示したいと思う。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ	合田 誠	全項目すべてに関して、「学内平均」を上回る結果を得て、担当者としては満足している。「私語、メール」等に関する項目もグループ全体では7割以上がきちんとコントロールできたことが伺える。	記述全体としては、好評な記入内容であった。しかしながら中には、「子どものことが学びたいのに、大人の施設で実習すること」への疑問を呈した学生や施設の事前オリエンテーションが平日となり、「無遅刻・無欠席」を継続してきたのに複雑な心境と記述している学生があった。	「自由記述」にあった子どもの施設で実習できず、成人施設での実習に対する「不満」に関してだが、実習先の受け入れの関係で、そうせざるを得ない実態があるものの、事前指導の中で、もう少し説明が必要であると感じた。また、「平日の事前オリ」についても、実情としては「いかなる理由も欠席とする」ため、公的な理由をもってしても、「欠席」となる現状では、対処方法が見つからない。	1	1	1
金3 保育実習指導Ⅱ 1・2・3組	長谷秀揮	学生の授業への取り組みの姿勢が学内平均を大きく上回っており、この授業への関心が高いように思われる。教員の取り組み姿勢と授業内容については学内平均より少し低い結果となった。	実習の事前及び事後課題など初めて取りくんだ内容が良かったという意見と、難しかったという意見があった。。	学生の勉強しやすい環境づくりについては、より丁寧に取り組むようにしたい。また理解しやすい内容となるように、さらに授業の工夫改善に努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
金5 保育実習 指導Ⅱ 4・5・6組	長谷秀揮	総合評価は学内平均より若干高い評価だった。しかし教員の姿勢の2つの項目と授業内容の2つの項目で学内平均を少し下回った。	実習の事前の課題及びその指導など初めて取りくんだ内容が参考になり、とても良かったという意見が複数あり、大いに力づけられた。	学生の授業への取り組みの姿勢が学内平均を上回っており、この授業への関心の高さがうかがわれる。その期待に応えられるようにさらに授業の工夫改善に努めたい。	1	1	1
保育実習 指導Ⅲ	合田 誠	全項目にわたり、ハイスコアの評価をもらい、担当者も指定も大変満足している。実習受け入れ人数の関係で、受講生が8名と非常にコンパクトで、一人ひとりへの関わりが、十分にとれた証ではないかとも思える。	担当者と同様に、受講生の意見も「少人数での授業のため、深い学習ができた。」や、「学習の発表を1時間すべて任されたことが貴重な経験になった。」など、全体的にプラス評価のコメントが大半であった。	実習の「事前・事後指導」が初めて達成できたのが素直な感想である。言うまでもなく、少人数で臨めた授業であったからこそ、担当者も従来は人数や時間的制約を理由に踏み込めなかった内容まで、伝えることができた。今後の授業に関して大いに参考になった授業である。	1	1	1
保育・教職 実践演習	合田誠 鍛冶谷静 山田秀江	(山田)全ての項目において学内平均より高くよい評価であったが、回答人数が少ないのが気になる。(合田)全項目が「学内平均」を上回っており、結果としては、良い評価を得たと言えるかも知れないが、肝心の「有効回答数」が「8名」のみになっており、結果の有効性が甚だ疑わしい。(鍛冶谷)回答数が少なく、高い評価だが信頼性はどのようなのだろうと気になった。	(山田)よい授業だったという前向きな意見が多かった。(合田)3名の教員が、それぞれの専門を活かした授業内容であったため、記述内容はおおむね好評であった。改善を求める意見はとくに見当たらず、現状の形式で次年度も進めていっても良いのではないかと考える。(鍛冶谷)事例検討は勉強になったとのコメントがあった。	(山田)保育現場に出る直前である時期に3年間の集大成として保育という仕事を意識して意欲的に取り組めるような工夫を今後も続けたい。(合田)アンケートを実施した最終回には、43名が受講していたにもかかわらず、入力したのはその2割弱であり、言うまでもなく、結果の有効性を高めるためには、入力方法の再検討が必要となっていると思われる。(鍛冶谷)演習形式で毎回学生へのフィードバックができたことが学生の関心を高めたと考えるが、うまくモチベーションを高められなかった学生もおり、次年度の課題としたい。	1	1	1
保育・教職 実践演習	合田誠 鍛冶谷静 山田秀江	(山田)全ての項目において学内平均より高く非常に良い評価をいただいた。(合田)全項目が「学内平均」を上回っており、学生自身の自己評価と教員への評価がともに、高い評価となっている。ただ、「有効回答数」がもう少し高まればと思われる。(鍛冶谷)高い評価であるが、学生の欠席が多い授業だった。	(山田)3人の教員が5回ずつ交代で授業を受け持つのであるが、それぞれの専門的なことが学べてよかったという意見が多かった。(合田)記述内容はおおむね「良かった。」という感想が多々あった。しかし、3名で取り組む授業内容に疑問を呈している意見があった。さらに、教材として提供した映像に対してかなりショックを受けたという感想が書かれてあった。(鍛冶谷)もっと真面目に取り組むべきだったとのコメントがいくつかあり、2年間の総仕上げという本科目の意味を十分伝えきれていなかったかと反省した。	(山田)保育現場に出る直前である時期に2年間の集大成として保育という仕事を意識して意欲的に取り組めるような工夫を今後も続けたい。(合田)この教科の「ねらい」は殆どの学生は理解してくれていたようだが、一部の学生が疑問をもっているのが分かった。次年度の取り組みとしては、この授業の「ねらい」や「意図」の説明を最初に十分行うべきと思った。(鍛冶谷)演習形式で毎回学生へのフィードバックができたことが学生の関心を高めたと考えるが、うまくモチベーションを高められなかった学生もおり、次年度の課題としたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
卒業ゼミ	淡路和子 曾和信一 合田誠 工藤真由美 山田秀江 長谷秀揮 香月欣浩 鍛冶谷静	(淡路)どの項目も学内平均を上回っている。学生の授業への取り組み姿勢については平均以上ではあるが、集中度・私語など反省の姿勢が見られる。(曾和)卒業ゼミへの回答を総合評価で見れば、8割強の学生がよい評価をしている。しかしながら、良くなかったという回答も若干ではあるが、見られるといえる。(合田)自ら関心のあるテーマを希望して授業に臨んでいるためか、学生自身及び教員への評価の両方が高い数値につながったと考える。(工藤)総合評価が非常に高い。自らの興味関心でゼミを選択したこと由来するのだろうか。(山田)学生の取り組みも教員の評価もどちらも学内平均を上回っている。充実した内容であったということか。(長谷)総合評価が学内平均を大きく上回っているが、各教員の取り組みの充実度が反映していると考えられる。(香月)平均以上なことに正直よこんでいる。来年ももっと上へ行けるように研究していきたい。(鍛冶谷)前期よりも評価が上がっている。一年通して研究成果を仕上げた達成感の反映かもしれないと感じた。	(淡路)音楽の色々なジャンルを経験できたが、一つ一つについて掘り下げて勉強したかったとの意見があった。(曾和)絵本の冊子を作って、貰えたことが嬉しかったことと、布絵本作りは大変だったけれども、できてよかったという意見が複数回答で見られた。(合田)テーマ内容を絞り、自身で調べ、それをまとめてゼミ生の中で発表するという経験が初めてで大変だったが、貴重な勉強ができたとの記述が多い。(工藤)自ら関心を寄せているテーマについての学びであった為、とても充実していたという声が多かった。(山田)自分が興味をもったことを自ら調べ、まとめるという学び方が大学生らしく、楽しく取り組めたという学生がいた。(長谷)現場で役立つ実践的な知識やノウハウも理論とともに学ぶことができ良かったとの感想が多くあった。(香月)自分の興味ある工作を選んで実際に作っていったことはとても役に立ちそうだと感じてくれており、最後の発表も自信がついたようだ。(鍛冶谷)自分の考えを人に伝えるためにまとめた文章を書く経験ができてよかったとの感想があった。	(淡路)各人の研究テーマの決定について多くの選択肢を示すようにしたい。(曾和)多くの学生は卒業ゼミに対して、よい評価をしているが、マイナスの評価をした学生に対して、何故そのような授業評価をしたのかを分析し、検討する必要があるのではないかと。(合田)問題意識の持ち方や課題達成能力の差異があるため、毎回の設定に苦慮した。この点を念頭に置きながら対応策を考えたい。(工藤)学生が自ら調べたり深めたりできるように助言の方法も模索したい。(山田)学生が意欲的に自らの課題を見つけ調べたりまとめたりできるように環境を整え整理しながら支援していかねばと思う。そのため自分自身ももっと研究しなければならないと感じている。(長谷)学生の取り組みの姿勢をさらにレベルアップすることができるように一人一人のアプローチや配慮を充実させたい。(香月)中だるみが見えなくなるように大まかな計画をこちらが用意し、助言できるようにしていきたい。(鍛冶谷)ハードルが高すぎても低すぎても一年間のモチベーションは保てない。課題の与え方を工夫したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
日本語表現法	富森盛史	身近なことばかりやや難しい日本語表現までを網羅したので、抵抗感があったのではないかと危惧したが、予想を超えた総合評価であった。昨年度、本年度前期もほぼ同じ教材を扱ったが、配布プリントの内容を整理し、学ぶポイントが明確になるよう努めたことで、評価がアップしたのではないかと考えている。	説明はわかりやすかった、という回答が多かったが、配布プリントや板書が多すぎる、という厳しい意見もあった。今後、精選して進めたい。	日頃の会話や生活文化が基礎になるだけに、できるだけ身近な例を扱うよう配慮しているが、プリント等の内容、練習問題をさらに工夫して、より関心を持ち、場に応じた適切な言語表現ができるように学習を進めていきたい。	1	1	1
英語 (英会話B)	奥田 純	受講者5人の少人数のクラスであったが、全員がアンケートに回答してくれ、評価も高かった。昨年度と同じ教科書を使用した。本年度の学生の方が、学生の間での英会話の練習もスムーズで授業で学ぼうという姿勢が顕著であった。	「プリントが分かりやすく会話の練習が楽しかった」「単語をよく覚えるようになった」「授業は難しかったが少人数なので楽しかった」というコメントがあり、クラスの雰囲気良かったことが分かる。	昨年度と同じ教材を使ったが、英語を学びやすいように、学習対象を絞り込んだり、理解を助けるプリントを作ったりした効果が出たものとも思われる。さらに、工夫を重ねたい。	1	1	1
ライフデザイン特論	仁平章子 奥田 純 奥田 玲子	総合評価は学内平均を下回ったが、授業の教え方、授業の中身双方の個別項目では平均を上回る結果であった。前年度は上記の関係が反対で、総合評価の方がやや高目であった。回答率が本年度は前年度比大幅に低下したことが特記事項としてあげられる。総合的に見て、前年度と同じく準必修科目としてはまずまずの反応であったと思われる。	自由記述を書いたくれた学生の中では「分かりやすかった」「ためになった」という意見が3分の2程度あったが、一方で「難しかった」という意見が少数意見ながら結構あり、前年度と同じ傾向であった。	学科としてカリキュラム編成が25年度より変更されるため、本科目自体はなくなる。但し、キャリアデザインという新科目の中に、内容的に一部継承される。新科目では学生の参加型授業を大幅に取り入れることとしており、学生自らがより考え、学生同士が話し合う中で、各自理解が増すよう授業展開を工夫したい。(本科目の担当教員のうち2名で新科目を担当する)	1	1	1
教養の文学	富森盛史	受講者3名のうち回答は2名であった。教員の取り組み姿勢と授業内容は各項目とも高い評価を受けたが、総合評価は1名から厳しい判定があり、授業平均値は残念な結果となった。昨年度もこの科目の受講人数は少なかったため、慎重に比較検討したい。	作品の梗概や価値についてプリントを配布して進めたので、授業はわかりやすかった、と記述があった。	文学に関心を抱くことができるよう、授業内容、進め方に大きな工夫が必要と考える。	1	1	1
情報倫理	三木大史	受講者が10名で各項目で1～3名が1または2の評価を行っている。総合評価は10名中8名が4または5と答えている。	内容について役に立つとの記述があった。	授業に興味をもてるようにさらに取り上げる教材について、時宜にかなったものとなるよう工夫をしたい。	0	1	1
くらしと政経	伏木真理子	教員の話方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りにおいて良いという評価で、授業内容も理解しやすく、総合評価も良いという結果であった。	今まで知らなかった、値動きのある金融商品である株式のこと、消費税のことなどについて知れて良かった。	良いという評価ではあるが、金融商品の理解に必要な利息の計算などが苦手な学生が多いようなので、もう少し時間をかけていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確にな った	授業改善 への意識が 高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
くらしと環境	正岡 明	学生から予想以上に良い評価をもらった。全体的に私語も居眠りも少なくおとなしく聞いてくれた。ただ本当に内容を理解してくれただかどうかは疑問点が残る。	全体に教室内の講義より学外授業の方が具体的に理解しやすいという意見が多かった。前年の2回から3回に増やしたのも学生の評価が上がった要因かとも考えられる。	この2年間の授業で最も気になったことは学生が皆おとなしすぎて何に対しても反応がないことである。要するに元気がなさすぎる。あいさつもできない。学生同士も余り話さないし、静かに退出し帰って行く。改善策としてはこちらから教壇を降り(生徒の中に入って話しかけたり学外へ連れ出し歩きながら話しかけたり、先ず心を開かせるという講義以前のメンタルな問題を改善せねばならない。一方的に話すだけではだめで、学生に意見を聞いたり、庭園の設計図を描かせたりして、学生が面白いと感じてくれてメンタル面のボルテージを上げていくことに努力したいと思う。先ず、短大に何故来たのかという目的意識と物事に対する好奇心を持てるように少しでも導いていければと考えます。	1	1	1
くらしと陶芸	叶雅夫	よい評価を頂いた。	より楽しく、集中して制作出来る授業にしたいと思う。	生徒の意見、気持ちを聞いて授業の中で取り入れられる事があれば取り入れていきたいと思う。			
日本国憲法と人権	曾和信一	有効回答者数が4名と少ないが、総合評価を見る限り高い評価結果になっている。	授業に関して、難しい内容を分かりやすく教えようと努力しているという意見が見られた。	授業の内容のわかりやすさに今後とも精進していきたいと思う。	1	1	1
スポーツⅡ	新野弘美	学生さんからの評価は、回答数は3名でしたが5.00をいただきました。実技中心で、それぞれの興味がある種目や要望に沿いながら、授業を進めた結果と思っております。基本的には、シラバスの記載通りに運動することの必要性や重要性を伝え、効果的な実践方法を体験していただいています。運動前後に体重、計脈、長座体前屈の測定を実施し、効果や変化を記録しています。	いろいろなプログラムが体験出来て、楽しかった。体が柔らかくなった。という意見がありました。	大学教育での体育は、これからは活かせるものでありたいと意識しております。女性の体のメカニズムの理解や体の悩みにも返答出来るようにしています。多様なエクササイズを体験することでエクササイズ(運動)の良し悪しを賢く選択する目も養っていききたい。	1	1	1
くらしとパソコン	渡邊伸樹	前年度同様、予想以上に学生から良い評価を頂いた。しかし、私語などに関しては、改善の余地があると考えられる。		私語などに関しては改善の余地がまだまだあるので、私語がないような演習を心がけようとする。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確にな った	授業改善 への意識が 高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
社会人としての一般常識	富森盛史 ほか7名	受講者にとって苦手な内容が多かったためか、各項目とも評価は厳しい。説明の方法や話し方、授業が工夫されていたか、また授業の内容についても残念ながら低い評価となった。昨年度の回答結果と同様の傾向になっている。	自由記述の提出は受講者の半数強にとどまったが、この授業の必要性について理解できていることがわかる。授業前半で行ったコミュニケーション能力については記述が少なく、後半で学んだ非言語問題の理解が難しかったことをほとんどの受講者が述べている。	この科目は新年度より改編予定であるが、同様の内容を扱う科目においては苦手意識を克服する意欲を持たせたい。そのために内容の精選、プリント、説明のためのパワーポイント等を工夫したい。またよりきめ細かく指導し、学習の進捗状況を把握するために、可能な限り少人数展開することも検討していきたい。	1	1	1
社会人の英会話	奥田 純	昨年度に引き続き高評価であった。本年度は社会人の参加人数も増え、学生には刺激になったものと思われる。英会話の教材も日常生活に沿ったもので、誰もがこんなことを英語でどうなのかという関心を持って学べるものがとつきやすいのかんしれない。	学生からは「大人の人達とも会話の練習ができて楽しかった」「楽しく授業出来て良かった」というコメントがあったが、社会人の方からは「学生と一緒に楽しく勉強でき新鮮だった」という意見と同時に、さらに「ためになる英語の授業だったが、欲を言えばもう少し英語で会話できる時間を増やしてほしい」という注文も頂いた。	教材はネイティブと英会話をして友達になることを狙い、日常生活全般をカバーし比較的分かりやすい英語表現が学べる点が学生にも、社会人にも共通して好評な理由だと思われ。比較的理解が容易で自分でも使いやすい英語表現が身につくような会話の練習を工夫し続けたい。	1	1	1
生活文化と伝統	富森盛史	本年度初めて開講した科目であるが、受講者4名のうち、残念ながら評価アンケート回答は1名。各項目とも最高点がついたが、受講者全員の実際的评价はどうであったのだろうか。	記述回答は3名。歴史が好きだったので楽しかった、映像で見ることができてわかりやすかった、宗教や慣習の話がおもしろかった、等の感想があった。	受講者の興味・関心を喚起しながら、現在の生活のなかに慣習や伝統がどのように息づいているかを気づかせることが課題となる。具体的に映像で紹介することが深い理解に有益と考える。	1	1	1
ファッションマーケティング	中野恭子	ほとんどの評価は学内平均を上回っていたが、私語については下回っていた。しかし、コミュニケーションしながら、マップを完成する2グループと、単独の生徒の席を離したり、アンケートの結果を説明して、学生自ら自制させたいと考えていたが、来年度はさらに教育的配慮を説明したい。	「難しかったが楽しかった」という意見が多かった。マーケティングは自分の本心をマップに露出し、自覚することから、他者のニーズが理解できるので、講師の生徒へのカウンセリングが重要となる。以上を来年度はさらに詳しく学生に説明したい。	例年より成績は優秀でスピードも早く、課題を増やしたが、総合評価は昨年より下がっていた。来年度は、より充実観を感じる授業内容へ工夫したい。	1	1	1
メイクアップ	渡辺千裕	前年度と引き続き、高評価を受けて良かったと思いますが、より満足してもらえる内容を意識していきたいと、改めて思いました。	全体的には、メイクの基本的なテクニックがわかりやすく学べて良かったとの意見が多かったです。日々の生活の中でも活かしている様子で、満足してもらっているみたいでした。	来期からは、前期はセルフメイク、後期は人に対するメイクを伝えていくので、知識面、テクニック面をより充実させながら、わかりやすく、楽しいと思える内容にしていきたい所存です。	1	1	1
ブライダル演習	國田育代	高い評価だった	授業内容については特にありません。	予想以上に高い評価を頂いているがももとの集計人数が少ないからだと捉え、学生のパーソナリティに合わせて、目的をもった授業を行いたいと考えている。			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
ブライダルプロデュース	國田育代	高い評価だった	授業内容については特にありません。	もともとの集計人数が少ない為、高い評価となっていると認識している。ブライダルの授業を通して、今後活用できる内容にしていけるような授業を取り組んでいきたい			
プレゼンテーション演習Ⅱ	服部美樹子	学生からは、大変良い評価をいただいた。受講生が少ないこともあって、一人ひとりに対してきめ細かな指導ができたと思われる。	課題に取り組むのは大変だったが、終わったときに達成感があった。前期に比べかなり成長したように思う、的確なアドバイスをもらったなどのコメントをいただいた。	積極的に取り組もうとする学生ばかりで、大変指導しやすかった。また、プレゼンのための準備時間を十分とったこともよかったように思う。昨年度と比べ、学生の質がかなり授業のあり方を左右することも分かった。学生の個性を見極めながら、今後もきめ細かな指導を心がける。	1	1	1
色彩の基礎Ⅱ	倉本真紀	人数に関して1/2程度の有効回答数しかなく、潜在的に満足度が低かったのではないと思う。現在の通信環境では携帯電話を規制するのは難しく、対応に苦慮した。	「もっと学びたい」という意見もありましたが、昨年までの意見も踏まえ、実験的なことを多く取り入れていたため、物足りないこともあったのかな、と思った。	通常の講義をすれば難しいといわれ、実験を増やせば私語が必然的に増え、生徒のモチベーションコントロールがいちばん難しいと感じた。	1	1	1
カラーセラピー	倉本真紀	カラーセラピーⅡに向けての基礎となる内容だったため、少し理解しにくい部分もあったようだが、結果的には平均を上回る点数だった。	色の面白さを知ったという意見や、オーラライトの資格を取りたいという前向きな意見が多かった。	より色に親しみを持ち、より生活に活かせるように、興味を持ってもらう内容を心がけていきたい。	1	1	1
医療事務総論	倉戸啓子	授業への集中、理解度、総合評価など概ねよい評価になっていた。昨年度の評価と比較してもほぼすべての項目で評価が上がっているが、授業の進め方や資料はあまり変えていないので、理由は不明。	再受講の学生の感想として前期と比較して今回は人数が少なかったのによくわかったというものがあつた。難しかったという感想もあつた。	講義だけでは内容の理解が十分でないと思われるので、説明後に練習問題などを取り入れて理解を促す。	1	0	1
医療秘書実務	東野國子	「授業内容は理解しやすかった」と、「学生の質問や発言に適切に対応している」の評価が高く、その件については満足している。	「ロールプレイや車イスの実習があり、楽しかった」という意見が多かった。		0	0	0
解剖生理学	奥田喜一	すべての項目で学内平均を上回った事はよかったと思う。	難しい内容だったが、良く理解でき興味深かったという意見があつた。	今回のアンケートでは理解度が上がり良い結果が得られたが、受講生が少なかったのも一つの要因だと思われるので、受講生が多い場合の努力も必要。	1	1	1
薬理学	大西義博	回答が低調であったのは残念であった。また、評価結果も学内平均を下回った。(回答数1名)	薬理学を積極的に受講しなければならないとの認識を得たが、授業内容が難しいとの指摘を得た。(回答数4名)	学生に積極的に受講させるために教科書を読ませたり、積極的な質問を考えさせるなどの工夫が必要だと思われた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会福祉概論	保科和久	学生からは予想以上にいい評価を頂いた。しかし、テストの成績などから考えると、授業内容の理解が充分とは言えず改善が必要と考える。	特になし	板書の内容や資料などをより学生が授業全体を理解し易いように工夫していきたい。	0	1	1
介護概論	小室八千代	学内平均より低かったのは総合評価でした。これは頑張らなくてはいけないと思いました。	学生の記入量が少ないのに驚きました。授業が楽しかったという意見がうれしかったです。	私自身が四条畷短大で初めての非常勤になり、知らないことが多く、どこかで良くない点があったと思います。私の授業の工夫が不足なのは板書です。今後はもっと理解できるように板書の工夫をしていきます。	1	1	1
臨床医学概論Ⅰ	河口祐子	思った以上の評価をいただいた。しかし、理解度に関きがあるため更なる工夫が必要である。	難しい内容であったが説明が解りやすかったとの意見をいただいた。授業のスピードが少し早かったとの意見が少数あった。	授業の理解度に関きがあるため、飽きさせない工夫と内容を習得するための進め方を考える必要がある。	1	1	1
診療情報管理理論Ⅱ	河口祐子	思った以上の評価をいただいた。	難しかった。説明が丁寧であったという意見が多かった。	難しい内容であるため、理解しやすい説明資料の作成と習得できるような授業スタイルをつくる必要がある。	1	1	1
ICDコーディング実務演習Ⅱ	富永純子	学生からは予想以上にいい評価を頂きました。人数が少なかったため、学生との距離感がなくコミュニケーションがうまく取れたのではと思います。	理解度の高い学生が若干いました。平均的な授業の進め方に、不満を感じているようでしたが、授業はみんなに解るように配慮をしています。	学生一人々学力の差があるため、進行度を確認しながらシラバスに沿って理解度もアップするように努めたいと思います。	1	1	1
医療事務コンピュータⅠ	倉戸啓子	授業については概ねよい評価であった。昨年度と比較してもあまり変わっていない。	最初は難しかったが課題をこなすうちに理解できていった。わかりやすい授業だったという感想があった。入力の説明時にスクリーンに(窓からの?)光が入って見にくかったという感想があった。	医療現場の実務に即した内容をより多く取り入れ、内容の充実を図る。	0	0	1
医療事務コンピュータⅡ	倉戸啓子	同上	(診療報酬)請求の仕方がよくわかった。これから先、就職先でも学んだことを生かしていきたいという感想があった。	同上	0	0	1
診療報酬請求事務演習	河口祐子	いい評価をいただいた。	検定問題が難しい。	授業の進捗が検定問題の内容に追いついていないため学生には解けない問題が多かった。検定合格に向け、的を絞った進め方に見直す必要がある。	1	1	1
食生活と健康	奥田玲子	全ての項目で学内平均を上回る評価をいただいた。平均欠席回数は少なく、学生は集中して良く学び、理解していた。	自分の食生活を見直す良い機会となり、食生活の重要性を再認識できたという記述が多く見られた。	食と健康について、日々発信される情報の中から、学生にとってより身近で役立つものを、授業の中に取り込む。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確になった	授業改善 への意識 が高まった	授業の具 体的改善 に取り組む
食の 安全性	坂口守彦	本科目は比較的教授しやすい科目であり、熱意をこめて講義したが、学生の評価は学内平均を上回るものではなかった。講義内容が十分に理解されていないのはきわめて遺憾である。前年度後期の評価結果との間に顕著な相違は見られなかった。	全般的に好評であったが、授業のスピードがやや遅いという意見もみられた。しかし、スピードを速めると内容を十分に消化できない可能性があるため、改める必要はないと判断した。その他には積極的な意見の陳述は少なかった。	授業は主としてプリントを配布して進めたが、ときおり写真、図表などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせて授業の要点を明示し、これまで以上に理解させることに努めたい。	1	1	1
食品材料の 基礎知識	坂口守彦	授業開始前に予想したとおり、きわめて平均的な評価を得た。昨年度と授業内容にはあまり大きな違いはない。授業に臨んでわかりやすく講義を進めることを心がけたが、これが十分に評価されたとはいいがたい。また、前年度後期の評価結果との間に著しい相違は見いだされなかった。	科目の性格上基礎的な部分が多く、学生の興味をつなぎとめにくいところがある。授業内容が難解だ、授業内容のポイントが明確ではないなどの指摘がみられた。	カラー写真などの補助教材を多用し、学生の興味をつなぎとめる方向で授業をすすめたが、これがどの程度学生の理解度増加につながったのか明確ではないので、今後も継続して実施し効果を確認したい。	1	1	1
食空間の デザインと 演出	播 賢知	『親の心、子知らず。子の心、親知らず。』のとおりなかなか学生の気持ちが変わりません。昨年はこちらの説明等が伝わっていないかと思っていれば予想以上に大きな反応があったにもかかわらず、今年は何とか伝わっているかと思っていれば、そうではないような回答だったので、ここに来てまた自信喪失気味です。ただ、アンケートの回答が本当に信憑性があるかどうか疑問です。学生自身の都合の良いことには高い評価をつけておきながら、自分たちの居眠りを棚に上げて講師の評価を低くするのは如何なものかと・・・。	今まで以上に『良かった』『勉強になった』『知らなかったことが知れて良かった』(←これは当たり前なことなんですが)と講師の評価ではなく講義の内容を評価してもらって良かったですし、嬉しく思います。	アンケートの回答と自由記述の内容とにズレがあります。1でも記したように学生の本心はどれなのか把握できないのです。推測するには真面目に受講している学生は公正に回答してくれているのですが、寝ている学生がこのズレを生み出しているのかもしれない。(私語は慎むように。携帯電話の使用は禁止。講義中の弁当、化粧も禁止。ただし寝るのは学生の意志に任せると初回に言っています。当然平常点は減点にすることも。)	1	1	0
食空間の デザインと 演出	播 賢知	このクラスは本当に少人数でしたので、家族的な感じで話が出来るかとも思っていたのですが、それでも堂々と眠る学生も少なく、そんな学生のアンケートの回答(かなり良い評価ですが)に対してこのように真剣に考えるのが哀れに思えます。	講師の評価ではなく将来役に立つ内容で良かったなど講義内容を高く評価してもらって良いのですが、嘘ではないにしても授業態度を考慮すると、100%喜んでみられません。	同上	1	1	0
テーブル コーディネート 実習	中出真理子	学生の評価はほとんど全てが学内平均を上回っており、満足度も高いと感じた。実習中は作業進行速度が学生によって違うために、どうしても私語が多くなりがちであるが、そのことに関してはもう少し厳しく注意することが必要である。	実習はとても楽しかったようで満足度も高かった。説明もわかりやすく親身になって教えてくれたとの評価をいただいた。しかし、お茶の準備をする時に特定の人に負担がかからないようにするよう、ローテーションを組むなど工夫をする。	まずは作業の進行速度をできるだけ合わせるようにする必要がある。また、授業中は私語を慎む、短時間で作業を終わらせるなど、これまで以上に注意を促したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点 が明確にな った	授業改善 への意識が 高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
ブレッド&テーブル 実習	中出真理子	学生の評価はほとんど全てが学内平均を上回っており、満足度も高いと感じた。実習中は作業進行速度が学生によって違うために、どうしても私語が多くなりがちであるが、そのことに関してはもう少し厳しく注意することが必要である。	実習はとても楽しかったようで満足度も高かった。説明もわかりやすく親身になって教えてくれたとの評価をいただいた。しかし、お茶の準備をする時に特定の人に負担がかからないようにするよう、ローテーションを組むなど工夫をする。	まずは作業の進行速度をできるだけ合わせるようにする必要がある。また、授業中は私語を慎む、短時間で作業を終わらせるなど、これまで以上に注意を促したい。	1	1	1
食からの健康美 (インナービューティー)	関 宏美	学生の皆様からは、総合評価として「よかった」を頂けて、感謝しています。最終講義でも、「毎日の食事が身体の基盤を作ることがよくわかった」「毎日の食生活に、教えてもらったことを取り入れたいとおもう：など、我々が願っているご意見をいただいたことがとても嬉しく思いました。高校卒業後のこの時期は、まだ間体力にも自信があり、なかなか「日々の食」に意識をもつことは難しいかもしれませんが、反面、女性としての身体をつくる大変大切な時期と言えます。全体の講義がとてもためになり、なにより楽しかったというご意見をいただきましたが、野菜ソムリエ、栄養士、薬膳、女医の観点から、「インナービューティー」という観点を楽しみながら、学んでいたことがとても意味のあることだと思えました。	最後、インナービューティーの開発と題し、班に分かれてプレゼンテーションしていただいたが、提出物には、やはり熱心実際に身につけたものを画像として残している生徒がいた中で、まだまだ想像の世界で記載している生徒もあり、課題に対する取り組みの姿勢もやはり多少の差は生じた。でも学生の意見では、このように実際に課題として取り組むことで、実際に世の中で販売しているものの、インナービューティー効果や、特徴などを考えるきっかけに繋がったとのこと意見もいただき、とてもよかったと思う。	終始、欠席をして、出席が足りないため、やむなく『不可』にした生徒がおり残念だった。全体的に、不具合を伝えた意見はなかったが、講義中、朝は眠い～という居眠りをしようとする学生もいらっしやって、色々参加できる工夫をした。今後も、身体に優しい調理実習や、DVD、プロジェクターでの解説など生徒の皆さんが楽しく興味を持ってもらえる内容に進めていけるよう、さらに取り組んでいきたいと思う。	1	1	1
調理の基礎と科学	奥田玲子	総合評価が、学内平均を下回った。原因として難易度と、スピードが考えられた。内容が理解できるような授業の工夫、授業環境、受講態度の評価点は高かった。	やや難しかったという意見が少数あった。	授業内容について、難易度の見直しを行う。また、学生の理解度に重きを置いて授業を進行する。	1	1	1
調理実習II(調理機器含む)	末吉明美	前年度(後期)と比べて総合評価はわずかにアップしたが、II A 2,3,4, B1については少しずつダウンした。	「珍しいものを作ったり、見たり、食べたりで、新しいものの発見が多く、とても楽しかった」との意見や、「技術アップできた」「嫌いなものが食べられた」中には、「習った料理を何度も家の人に食べてもらって、自分が得た喜び、家族の笑顔、自分は大きな一歩を踏み出した」と書いていました。これからも食に興味を持ち続けて欲しいです。	切り方については、その都度くりかえし実演する。テーブルマナーと試食の場で徹底させる。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確にな った	授業改善 への意識が 高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
製菓材料の基礎知識	林 真千子	学生からは予想以上により評価を頂きました。しかし、一部の学生にとっては、総合的に見てあまり興味をもてなかったようでした。	お菓子の材料についての科学的作用が理解でき、いろいろな知識をえることができたという意見や、今後のお菓子づくりの時に生かしたいという意見が多数ありました。	今回の結果から、ほとんどの学生にとって、わかりやすい授業を行うことができましたが、どの学生にも興味をもって集中して授業にとりくめるように、今後、さらに視聴覚教材の取り入れに力を入れていきたいと考えています。	1	1	1
製菓ラッピング実習Ⅱ	岩崎初音	回答数は少なかったが、教員の姿勢、授業の内容等、学生からは学年平均を上回る良い評価をいただいた。	「リボンを結べるようになって良かった。」、「色々な種類の結び方があるので、これからそれを活用していきたい。」、「お菓子はどれもとても美味しかった。」という感想が多かったので、次回に活かしていきたい。	製菓・ラッピングの授業は、2013年度よりさらにレベルアップをします。前期終了後に希望者にはラッピングコーディネーターの資格試験を受験していただき、その合格者かつ希望者には後期終了後にラッピングコーディネーター上級資格試験を受験していただくこととなります。学生のみなさまには前期でラッピングコーディネーター資格試験の合格レベルに到達するために、覚えていただくこと、身につけていただくことが多々ありますが、学生のみなさまに理解していただけるよう誠意を持って授業を進めていきます。	1	1	1
アロマセラピー(演習を含む)	倉津三夜子	全般に良い評価を受けた。ただ学生の勉強への集中度、および学生の質問や発言への対応については平均レベルという回答も一名、見られた。個人と全体、それぞれに対応する時間や意識のバランスに留意したいと感じる。	実習も講義も興味を持って楽しめた、という回答が多く見られた。	個人の質問に対してはなるべく授業途中ではなく、全体への影響が大きくなるように、まとめの時間などに応じるようにしたい。また、実習の時間をゆつくりととれるように、スライドや視聴覚教材などを活用して効率よく進めたい。	1	1	1
ライフ&ウエア	緑川知子	アンケート回答数は受講生の半数で少ないが、全ての項目において学内平均を上回っており、教員の取り組みと授業内容はほぼ100%の評価を得たが、学生自身の授業への取り組みが低い。	自分のことを見つめ直すきっかけとなって、服を大切にしようとおもった。この授業をとって良かった、楽しかったの意見とともに、受講生が少ないとの記述があった。	受講生を多くするための取り組みはシラバスの工夫を考えている。学生自身の授業への取り組みを向上させるためには、学生自身の受講態度・生活態度さらには生き方に働きかける講義を考えている。	1	1	1
インテリア論	叶雅夫	そこそこよい評価を頂いた。	前半7週は講義、8週目から模型製作と授業内容が大きく違ってくる中で、前半の講義が後半に役立つようにより一層工夫したい。	生徒からの疑問、質問に出来るだけ、具体的に答えられるよう工夫したいと思う。			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
クロスカルチャー(比較文化)	中村真里絵	全ての項目の評価が昨年度より良かった。ただ有効回答数が7という少ない数であるため、今回の評価に甘んじてはいけなと感じている。	おおむね好評価であった。なかには、様々な国の文化を知れて興味深かったという声が多かった。	今年度は全ての項目が好評価であった。ただし、毎年、受講する学生の雰囲気異なるため、それに合わせて柔軟な対応をしていきたい。それには、講義の途中で学生の希望を取り入れたり、学生の理解度に合わせて講義の進め方を工夫する必要があると考えている。	1	1	1
情報応用演習Ⅰ	新田真一	すべての項目において予想外に高い評価であった。これまでにない結果である。ただただ驚いている。前年度に比べると、評価はビックするほど高くなっている。	わかりやすく丁寧な対応に感謝していただいた。	これからもよりわかりやすく丁寧な説明をこころがけること。	0	1	1
情報活用演習Ⅱ	新田真一	学内平均より高い項目と低い項目はほぼ同じ数であった。低い項目内容に対するの対応が高い項目内容になっている。前年度とほぼ同じような評価であった。	Excelは難しかったが、質問に対してわかりやすく説明した。まあ楽しく授業を受けられた。	質問に対して丁寧にわかりやすく対応する。	1	1	1
情報活用演習Ⅱ	新田真一	学生は授業にまあ集中していたが、教員の取り組む姿勢と授業内容については厳しい評価であった。前年度とほぼ同じ評価であった。	Excelは難しいこと、初心者のことを考えて授業してほしい。説明のスピードがはやい。	説明のスピードをもっと落とすこと。学生の理解を常に確認すること。	1	1	1
情報応用演習Ⅱ	新田真一	すべての項目において学内平均より高い評価であった。これは例年になく特筆すべき点である。前年度に比べて、評価は高くなっている。少し驚いている。	Excelは難しかったが、楽しく授業を受けられた。少数だが、説明が速いとの指摘がある。	良い意味で楽しく感じてもらえるようにする。	1	1	1
情報活用演習Ⅲ	新田真一	教員の話し方と授業の工夫については低い評価であった。概ね満足していた評価であった。前年度に比べて、評価は総合的により高くなっている。	Accessがどういうソフトであるか少しわかった。息抜きながらの授業だったので楽しかった。	うまく息抜き(小休憩)をいれること。	1	1	1
情報機器利用プレゼンテーション演習	畑野清司	学生からは昨年同様に、平均を上回る高い評価をいただいた。いずれの項目も昨年とほぼ同じ高い点数である。アンケートで示されているように学生自身の授業態度や集中度の高さが、授業そのものを充実し、内容を高めることを容易にしたものと思う。	1. 授業内容は分かり易かった。2. 追い込まれたときに相談すると適切なアドバイスがもられた。3. 楽しく集中して授業ができた。4. 自分自身の内面が強くなった。など。	就職活動を意識して、人前で自分の考えていることをきちんと発表できるように指導して行きたい。またそのためには十分な準備がいることも授業を通して教えたい。個々のアドバイスが適切であるよう、より努力したい。	0	0	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
通信ネットワーク論	三木大史	受講者55名に対して有効回答数が18名であり、この集計結果で全体の傾向が表れているかどうかはわからない。	「ネットワークの技術的な点がわかって面白かった」「安全にネットワークを使うための技術がわかった」など肯定的な記述があった。一方「内容が難しかった」「配布資料がわかりにくい」など理解が困難であったとの意見があった。	講義形式で内容も高度であり、受講者のレディネスが不足している面があったと思う。今後のカリキュラム全体の見直しの中で、この科目内容を学生の水準に合わせるため、科目統合による内容の精選や、演習形式の導入などを検討する必要がある。	0	1	1
マルチメディア論	畑野清司	昨年は学内平均をわずかに上回る評価だったが、今年は総合評価でも良い評価をいただいた。学生の理解を高めるため、幾分スピードを落とし丁寧に説明することに心がけた。	1. 授業は分かり易かった。2. 難しい内容だったが、静かな環境で勉強ができて集中できた。3. プリントがとても分かり易くまとめられていたので勉強しやすかった。4. 興味のあるところを深く知ることができた。	分かり易い学習資料を充実し、丁寧な説明を心がける。学生たちの満足度がより理解を深める原動力になる。最新の技術やトレンドが、どのように生まれ、今後の日常生活とどのように関わっていくかを理解できるよう地道な努力を今後も続けたい。	0	1	1
マルチメディア演習	眞下義和	受講学生人数が少なく、それぞれに対して注力できたせいか、評価は良かった。	みなさん肯定的で、楽しんで取り組んでもらえたようだ。また、個人的にマルチメディア作品に取り組む意欲をみせていた学生もいた。	今までに何度かあったのだが、講義は受講するのに、課題を提出せずに単位を落とす学生がいる。非常にもつたいないことなので、そういった最後の少しの努力を惜しまないように取り組むよう、学生の支援をしたい。	1	1	1
ウェブデザインⅠ	三木大史	学生自身の取り組みへの自己評価が高く、受講者は積極的に授業に取り組んだと思う。11人中7名が理解しやすさの評価を4または5とし、4名が評価3の「どちらでもない」と回答している。総合評価は8名が評価4または5とし、あとは評価3である。	すべて「内容が難しいと最初は感じたが最後にはわかるようになり、面白かった」という意味の記述であった。	ウェブデザイン入門は内容的に難しいため、わかりやすい新しく出版された教科書を採用することとした。	0	1	1
ウェブデザインⅡ	三木大史	受講者2名のうち1名は失格し、回答者が一人で全部評価が5である。	なし	受講者が少ないため、2013年度は後期にこの科目を開講しないこととなった。	0	1	1
ウェブデザイン演習	三木大史	本学のカリキュラムでウェブデザイン関連科目の最後に設定された科目であり、受講者9人中2名が、内容が難しく最後まで苦労したことがうかがえる。	「グループで作成したのが楽しかった」「Webページについて理解が進んだが、奥が深く、まだまだ勉強することあることがわかった」「作成には苦労したが完成のときは嬉しかった」などの記述があった。	どのような課題を出すかについてさらに研究したい。また協同作業をどのように取り入れるか、今回の試みをもとにさらに検討したい。	0	1	1
ウェブプログラミング演習	三木大史	受講者21名に対し、有効回答数15名でそのうち5名が総合評価で4または5としている。授業の工夫については15名中3名が評価1または2である。	「難しかった」との意見が大多数で、少数だが「よくわかった」という意見がある。	教授内容を工夫する必要がある。来年度は教科書をわかりやすいものに変更することとした。最低限のプログラミングの基本を教えることもたいへん困難な状況であり、内容の精選を行う必要がある。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
ビジネス実務概論	仁平章子	教員への評価、授業内容について良い評価であった。前年度も同じく全てにおいて高い評価であった。	ビジネス現場のことが分かって、働く準備ができたという意見であった。ただビジネス用語が難しかったという意見があった。	働く準備という位置づけの授業であり、ビジネス環境など用語も含めて丁寧に説明していくことが求められており、学生との対話を重視しながら理解を深めることに努めたい。	1	1	1
ビジネス実務演習	仁平章子	学生自身の取組は、学内平均を下回っていた。また、教員の評価では、[学生の質問や発言に適切な対応]では、学内平均を下回っていた。昨年度とは評価が異なり、授業の対応の仕方について示唆を得ることができた。	授業のスピードが早かったという意見があった。毎回のニュース発表が大変であった。敬語が難しいという記述もあった。	学生noに合わせて、丁寧に分かりやすい授業の展開をしたい。即戦力としての技能習得に力を入れたい。	1	1	1
ビジネス実務演習	仁平章子	学生の取組、教員の取組、授業内容について学内平均より少し良い評価であった。	社会に出て役に立つことが学べて良かった。敬語、ニュースが大変だった。	学生の理解度に合わせて授業を進めることが求められている。対話をしながら丁寧に授業を進めていくように努めたい。	1	1	1
オフィスマネジメント	仁平章子	全ての項目において高い評価であった。	将来役に立つ事柄を学んだ。難しい言葉もあったが、分かりやすかった。ゲームが楽しかった。	ビジネスに関する用語など馴染みのない用語が頻繁に出てくるので、ゲームを取り入れた。分かりやすかったと評価している。さらに楽しい授業になるように工夫したい。	1	1	1
事務文書管理	仁平章子	全ての項目において、学内平均を上回る高い評価であった。シラバスに準じた授業展開を高く評価している。また、学生の質問や発言に対して適切な対応に関しては4.15という評価であった。	難しかった。ビジネス文書が作成できるようになって良かった。	理論と演習を組み合わせながら、ひとりひとり丁寧に見ていった成果だと感じている。さらに上を目指せるように授業を工夫したい。	1	1	1
リテイリング(商品販売)	泉 稔	授業内容や総合評価は学内平均より低い評価であり、工夫が必要であることを痛感した。	授業内容が難しかったとか黒板の字が読みにくかったなどの意見がありました。	特に、授業内容の理解度が低かった点について改善が必要であり、次回から授業内容の理解度を高めるための工夫していきたい。	1	1	1
マスコミ論	竹原信夫	学生から平均を上回る良い評価をいただいた。ただ、授業中の態度、私語に対してもっと叱るべきだった。	この授業を聞きたくなるようなことが必要。	学生に何か自信につながるような工夫をしたい。	1	1	1
メディア論	竹原信夫	授業中の集中ができていなかったことに厳しい態度をとるべきだった。	一方的に話すだけでなく学生からどんどん質問してもらおう雰囲気づくりがいる。	一つのことをやりとげた感覚が持てるようにしたい。	1	1	1
International Communication	奥田 純	学内平均を上回る結果で、全体的に昨年度より向上した。本授業は「総合福祉コース」の中で医療事務の資格を目指す学生が資格上の必修科目として受講するため英語の好きな学生ばかりが受講するわけではないが、その割には評価は良かったと思っている。	「分かりやすかった」「楽しく勉強できた」という意見と同時に「もっと詳しく文法を勉強したかった」「分かりやすくノートを書いて欲しい」といった注文もあった。	昨年度と教材を変え、ビデオを視聴する点は同じでも内容を字で追えることができるようになり、学びやすくなったのではと思える。もう一工夫して、学生自らが表現できる英語の習得に力を入れたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
Media English	奥田 純	学内平均を上回る結果であったが、昨年度比では評価は低下した。ただ、回答率は本年度の方が高く、昨年度の結果より正直な評価のように思われる。	自由記述を書いてくれた学生の方がアンケートに回答した学生数を上回っていた。「分かりやすかった」「楽しかった」という声が大半であった。	比較的英語を不得手とする学生が受講者の過半数を占め、教材の選定に苦労したが、それなりの成果は上がったと思われる。Media Englishに代わって来年度からはReadingという科目に変更となるが、読むことを主にした授業として工夫を続けたい。	1	1	1
Travel English	奥田 純	学内平均を上回る結果であったが、昨年度比では評価は低下した。教科書を変え、中身を工夫したつもりであったが、内容がやや難しかったのかもしれない。	「英語の知識が深まった」「海外に行く際に役に立つ英語だったので良かった」といった教員からすると励みになるコメントがあった。	教科書には盛りだくさんの英語表現が登場するが、話題毎に絞り込んで、理解でき、自分でも言える表現を学べる授業としたい。	1	1	1
観光学	西川博	観光学の内容、授業の進め方について一定の評価をいただいたと感じました。	観光関係業界、とりわけ旅行に関して興味を深めてもらったという実感を得ました。プリント教材や教科書の利用について更に工夫をしていく必要があると感じました。	観光分野のトレンドな動きを入れるようにしていますが、学生の身近な話題や、わかりやすい事象をできるだけ取り入れながら、ライブな授業展開できるように努めていきたいと思えます。	1	1	1
人間関係論	北村瑞穂	私語・居眠りの項目を除いた、全ての項目において学内平均より良い評価を頂いた。特に授業内容の理解のしやすさの評価が高かった。	「身近なことをわかりやすく解説してくれたので楽しかった」という意見が複数あった。「後ろの方の学生がうるさい」という意見もあった。	一部の学生の私語・居眠りの抑止に努める。	1	1	1
臨床心理学	北村瑞穂	総合評価以外は、学内平均をやや上回る評価だった。	「他の心理学の科目より難しかった」という意見があった。	臨床心理学は扱う内容が高度なため、学生には理解しにくい。DVDなどを用いて分かりやすい授業になるよう工夫する。	1	1	1
社会心理学	田端拓哉	回答率が非常に低いためなんともいえないが、総合評価5点満点中2.75と低めであった。項目を個別に見ると、学生の授業態度が特に評価が低かった(2.75)。	具体的な指摘はなかった。	動機づけを下げないようにしつつ専門用語の理解の促進を計るために、よりわかりやすい例とその示し方を工夫したい。	1	1	1
文化心理学	田端拓哉	回答率が非常に低いためなんともいえないが、総合評価は5点満点中4であったため、学内平均は下回るが、値だけならば及第点と考える。	具体的な指摘はなかった。	動機づけを下げないようにしつつ専門用語の理解の促進を計るために、よりわかりやすい例とその示し方を工夫したい。	1	1	1
発達心理学	北村瑞穂	教員が私語を注意し、授業しやすい環境を作ったという項目のみが、平均値を下回った。残りの項目は良い評価を頂いた。	「将来子育てするときに役立つと思う」という意見があった。「一部の学生がうるさい」という意見もあった。	一部の学生の私語の抑止に努める。	1	1	1
恋愛の心理学	北村瑞穂	私語・居眠りの項目を除いた、全ての項目において学内平均より良い評価を頂いた。特に総合評価が高かった。	「役立つ内容が多かった」「恋愛心理学に興味をわいた」「分かりやすい説明で楽しかった」という意見があった。	今年度は80名を超える受講生だったこともあり、私語が多かった。来年度は、受講者が減ることが予測されるが、一部の学生の私語・居眠りの抑止により努める。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
カウンセリング演習	鍛治谷静	出席率も高く、意欲的な学生が多かったので担当者も気持ちよく授業を進めることができた。その印象がそのまま反映された結果と受け止めている。	疲れた、というコメントが2件あった。よく分からなかった、効率が悪いと感じることがあった、とその理由と思われる内容が続けて記されていた。授業のねらいが十分伝えられていなかったからかもしれない。	グループワークや体験的授業を多く取り入れると、場は活性化することが多いと感じているが、個への配慮を忘れてはならないと改めて感じた。	1	1	1
ピアヘルパー演習	北村瑞穂	居眠り・私語・授業中の集中の項目以外で、かなり良い評価を頂いた。	「心理学をこんなに勉強したのは初めてだった」「難しかったけど面白かった」「先生は学生の話をよく聞いてくれた」という意見があった。	検定試験対策ということもあり、真面目に勉強する学生が多かったと思う。一方で私語が多い学生も存在していた。今後は私語の抑止に努める。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
くらしと経済	伏木真理子	教員の話し方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りにおいてあまり良くないという評価で、目標達成に適した授業内容、理解しやすい結果であった。	株価の変動と経済について、また将来必要な知識を身に付けることができ、大きな力になったと思います。聞き取りやすく、説明もわかりやすい。声が大きすぎる。難しいところの説明がまた難しいので、わからない。計算と金融に関係する名前(学生の表現のまま)が難しかった。	経済や金融で使われる用語は難解で、教員としてはやさしく言い換えて説明しているのだが、それでも難しく分らないとなっていたのがよくわかった。理解できた学生からは、将来必要な知識を習得できたという声があるが、全般的には消化不良になってしまっているのでは、レベルを下げざるを得ないと思った。理解できている学生は質問してくるので、それを活用して発展的な内容も伝えるようにしたい。	1	1	1
人間関係のあり方とマナー	伏木真理子	教員の話し方、学生の質問や発言に対する対応でどちらでもない、授業の工夫、勉強しやすい環境作りはあまり良くないという評価であった。目標達成に適した授業内容、理解しやすい結果であった。	敬語など言葉についてのプリントは将来社会に出た時役立つので良かった。勉強に集中できる環境が整っていた。グループワークは苦手だが、授業は面白かった。むずかしかった。授業の内容が分からなかった。書いている時に話をされると、どちらに集中してよいかわかりませんでした。	授業の目標や内容についてのプリントは将来社会に出て説明しているのだが、それを理解した学生は意味がある、役立つと感じ、理解できなかった学生は分からないとなってしまうので、授業の目標や内容についての理解度を上げてから、クラスワーク等に入っていくようにしたい。書くのが遅い傾向があるのだが、もう一呼吸待つようにしようと思う。	1	1	1
聴覚言語障害者の生活と支援	荻野佐代子	学生の達成感が、良い評価につながったと思います。	難しいと思っていた「手話」を、自己紹介ができるまで習得したという喜びの音がほとんどでした。	楽しく興味を持ち続けられるよう工夫をし、聴覚障害者の福祉に役立つ授業を心がけたいと思います。	1	1	1
介護福祉総合	榊原和子	勉強に集中しているという質問に対する評価では、質問等も多く学生自身も積極的であった為、評価より良い態度であったという印象を持っている。また、2年間の総復習をする為、時間的にゆとりがなかったように感じていたが、学生からは良い評価を頂いた。	復習できて良かった、授業中に教授されなかったことも多くあり選択して良かったという意見がほとんどである。	専門科目全てを限られた時間で復習したため、資料の配布などで工夫したが時間的な余裕が無かったので、次年度は精選してゆきたい。	1	1	1
介護の基本F	石川肇	7割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	裁判例や感染症の具体例を通じてリスクマネジメントを楽しく学べたという意見が多かったと思う。ただ板書量が多い、文字が下手との指摘を多くの学生から指摘された	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確になった	授業改善 への意識 が高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
生活支援 技術E (排泄)	吉井珠代	当該科目は、演習科目であるが、授業評価は、学内平均を下回った。学生の理解を促すために実技演習を多くして、常に学生の興味を引き出す工夫を心がけたのであるが、排泄の介護技術の実技演習は、学生自身に抵抗があって、繰り返し練習するような熱心な学生が少なかったことによると思う(学生自身の勉強に集中したかの自己評価も低かった)。	「実技演習が上手くいかず、技術不足を感じた」や「介護実習でうまくできる自信がない」などの意見がでていた。	多くの学生が学内における介護実習室での実技演習に興味を示してくれているが、排泄援助の技術に関しては消極的である。次年度は、実技演習内容を変更して、学生の学習意欲を高める工夫をしたいと考える。	1	1	1
生活支援 技術I (ターミナル)	植北康嗣	総合評価はやや高い評価を受けたが、全体的には学内平均をやや下回る項目が多かった。学生自身の取り組み姿勢の自己評価は低かった。	終末期をテーマにした授業のため、考えさせられることが多いといった意見が多かった。授業の進め方については、話し方に抑揚が少ないこと、午後の授業ということで居眠りをしてしまったという意見もあった。	学生の自己評価が低いのは、授業に集中できていないともいえる。多くの事例を使い授業を進めたが、興味関心をひくに至っていないともいえる。学生が主体的に取り組める授業展開をさらに検討したい。	1	1	1
介護過程 V	吉井珠代	履修人数の半数しか授業評価にデータ送信してくれていないので、正しく分析できない。しかし、裏返せば、あまり興味・関心を感じていないからだと推察できるので、重く受け止めたい。	自由記述は、当日の出席者全員から回収できた。それによると、介護事例研究・論文作成と事例発表そのものが「難しくて、大変だった」や「うまくできなかった」の記述が多かった。それでも、「論文作成することで実習を振り返ることができ、勉強になって満足している」の感想もあった。	授業中の学生の反応が、熱心に取り組む学生と私語・居眠りする学生の両極端な態度であったことから、ある程度の記入見本を提示する必要性を痛感した。次年度は、記入見本やモチベーション高揚への工夫をしたい。	0	1	1
介護総合 演習IV	植北康嗣	教員の姿勢や授業内容の評価は、ややばつきはあっても平均的であった。ただ、学生の授業への取り組み姿勢はやや低い評価が見られた。	実習記録等だけでなく、介護実習でうまくできなかった介護技術も演習を通じて振り返ることができてよかったという意見が多かった。	総合評価も平均を上回り、一定の満足は得られているようだった。ただ、学習の進捗状況が乱れ、シラバス通りの進行がうまくいかないところもあった。内容が前後したところは改善していきたい。	1	1	1
障害の 理解B	石川肇	8割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	授業内容は難しかったが、いろいろな障害やその障害者への支援について興味を持って学んでもらえたと思う。ただ板書量が多い、文字が下手との指摘を多くの学生から指摘された	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
レクリ エーション 実技	池邊美保子	学生からの評価は一部では平均に満たない部分がありましたが、総合的には良い評価結果になっていました。一つのイベントに向けてクラス全体が取り組んで頑張ってくれたことが、結果的にクラスがまとまりやり遂げた充実感を感じてくれたと思います。	いろいろなゲーム、ソング、ダンス、お手玉にチャレンジし、楽しくなったし、レクリエーションの大切さがわかり資格を取ることにした。今後の仕事に覚えたことを活用していきます。正直こんなに楽しいとは思わなかった。レクリエーションは提供側だけでなく参加するがわの協力がないと成功しないことが実施してよくわかり気をつけたいと思いました。	毎回その時間のふりかえり用紙に書いて提出してもらって、状態を確認するようにしたいのが良かったかなと思います。今後は1枚の紙にプログラム全体を書いたプリントを準備し、その時間終了後ふりかえりを記入してもらい回収し理解度を確認しながらの取り組みにします。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点 が明確にな った	授業改善 への意識が 高まった	授業の具 体的改善 に取り組 む
くらしと情報	村上和繁	全体的に、よい評価をいただいた。前年度と比較すると、全体的に評価が向上したと考える。	授業進行上に不手際があり、その点を訴える学生がいた。しかし、理解や内容については、評価していただいたと考える。	全体的に平均を上回り、良い評価を頂いた。前年度と比較し、難易度を上げたが、十分に理解できたと意見があった。	1	1	1
社会の理解Ⅰ	石川肇	9割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	身近な福祉制度を通しての授業であったのでわかりやすかったと言う意図評価と理解しやすかったと言う感想が多いように思えた	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。重的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
コミュニケーション技術Ⅱ	榑原和子	学生自身も勉学に集中しているという評価が多く、予想以上によい評価を頂いた。コミュニケーションという性格上、身近な話題を多く活用したことが学生の授業態度につながったと考える。	これで良いという意見が多く述べられていたが、板書の字が見にくいという意見もあった。	板書の字を大きく書くようにする。略字を使わない。	1	1	1
生活支援技術B(身じたく)	榑原和子	援助技術のエビデンスから実際の習得という流れで授業を展開した。また実習や卒業後に関係してくるため、学生の欠席回数も少なく、積極的に授業に臨んでいた。その結果、よい評価を頂いたと考える。	これで良いという意見が多く述べられていたが、板書の字が見にくいという意見もあった。	演習時間が少なく、振返りの時間が充分に取れなかった為、今後の課題となる。	1	1	1
生活支援技術E(清潔)	吉井珠代	当該科目は、演習科目であり、今回の結果は「授業中、集中している(学生の自己評価)」と「授業内容が理解しやすい」において学内平均を上回った。学生の理解を促すために実技演習を多くして、機械浴槽入浴という実体験回数を増やし、学生の興味を引き出す工夫を心がけたことの評価ではないかと思う。	「説明がわかりやすく、重要なところは強調して教えてくれる」、「機械浴槽が気持ち良くて、実技演習は楽しい」「介護技術が上達したと思う」など、好意的な意見が多かった。	多くの学生が学内における介護実習室での実技演習に興味を示してくれているので、今後も実技体験の機会を多くして、技術の向上を図るとともに、学生の学習意欲を高める工夫をしたいと考えている。	1	1	1
生活支援技術J(介護予防とレクリエーション)	植北康嗣	すべての項目で高い評価が得られたことは、満足している。演習が多く、学生が主体的に取り組まなければならぬ内容だったこともあり、自己評価も高かった。	レクリエーションの企画・発表については充実していたとの意見が多かった。また、レクリエーション活動の種目をもっと多く体験し、知識と技術を増やしたいといった意見も多くあった。	演習が多く学生が、楽しみながら学ぶ場面が多いこともあり、満足度が高かったと思う。雰囲気だけでなく、学生がきちんとスキルを身につけているかをしっかりと確認していきたい。	1	1	1
介護過程Ⅱ	植北康嗣	学生の取り組み姿勢も含め、すべてが4以上の高い評価が得られた。実習を控え、個別援助計画に対する不安もあったため集中力も高かった。	本学の個別援助計画書や演習シートの説明については、わかりやすかったと難しかったという意見が分かれていた。また、演習を通じて記録を仕上げていくので、実習に向けてのイメージができたという意見も多かった。	授業の中で、一緒に介護計画書を作成するので、学生とのコミュニケーションもうまく図ることができたこともあり、満足度が高かった。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
介護総合演習Ⅱ	吉井珠代	結果は、全体的に学内平均を下回った。当該科目は、介護実習と直結しており、後期は入所系実習の事前準備時期にあたり、学生の実習にかかる意欲も高まり、授業態度は積極的であった。私も、必要書類の準備や事前学習の大切さなど、あらゆる場面において、学生の自主性を促すような授業運営を行ったのであるが、授業評価については、授業中の手ごたえとはかけ離れた結果であり、違和感がある。	当該科目は、介護実習のための科目であり、学生は前期に通所系施設での実習体験後の入所系施設での実習(利用者は介護度が高くなっていく)に臨むので、不安が多い反面、専門知識も増えてきて、モチベーションも高まっている様子である。各自、必要書類を整えていくことで着々と実習準備が進むことに、「聞き逃さないよう、集中して聞いた」「専門職に近づくという自覚ができた」「いろんな書類が完成して実習が楽しみ」と記入してくれている。	自由記述から、学生の満足感がある程度得られていると判断していたが、前述したように授業評価自体が学内平均を下回ったため、この結果を真摯に受け止め、授業改善を図りたい。	1	1	1
認知症の理解Ⅰ	榎原和子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし授業内容の理解は、同様のことを数回説明したり、講義終了後の時間を使ったりしたが、理解を得にくいように思われる学生がいた。この事が、学生の評価にも反映されていると考える。	これで良いという意見が多く述べられていたが、説明をもっと詳しくや板書の図が下手という意見もあった。	次年度からは、授業内容の理解を深めるため、視聴覚教材を多く活用してゆきたい。	1	1	1
こころからのしくみD(入浴清潔)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る結果がでた。当該科目は医学、看護など覚えなければならぬ専門知識が多く、私自身、沢山のことをわかりやすく伝えようと熱が入る科目である。学生も、その手ごたえを感じてくれているようであり、高い評価につながったと考える。	「医学知識は、自分の健康にも役立つので、一所懸命勉強した」と「説明がわかりやすく、ビデオも参考になる」「新しいことを覚えるのは大変だが、知識が増えて嬉しい」など、好意的な意見が多かった。	「総合評価」が4.24と高かった。一昨年までは、低い評価点だったが、昨年からは授業内容を精査して、伝える内容を少なく・確実に教える方法に変化させたので、急激に高い評価が得られるようになった。しかし、学習成果・成績は、今年も例年のように個人差が大きくて、再履修者を出す結果となった。	1	1	1
医療事務総論	河口祐子	思った以上の評価をいただいた。	解らないところは解るまで教えてくれたのがよかった。しかし、思った以上に難しい内容の授業だった。との意見が多かった。	理解できるまで丁寧に授業を進めるとシラバス通りに進まないことが課題であった。学生にとって解りやすいテキストの選定をし、難しいが苦手にならないようにしたい。	1	1	1
医療秘書実務	河口祐子	教員の姿勢は思ったより評価していただいたが、授業内容に興味を持っていない学生が多く、授業への集中力が保てなかったようである。	学生の質問に解りやすく説明してくれたのがよかったとの意見が多かった。	興味を持ってない授業内容であることが課題である。医療に従事しないであろう学生にも興味ももてるような工夫が必要である。	1	1	1
児童家庭福祉123組	石川肇	半数以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。ただ、回答者が17名と少なく、多くの学生の意見でないことが残念であった。	表現が難しい、ノートに書く量が多かったとの指摘があったが、楽しかった何度の肯定的な評価も多く見られた	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
医療事務演習	倉戸啓子	「話し方」や「質問に適切に対応」の項目では4、5の評価が多く学内平均よりも高いが2、3の評価も少しあった。授業内容の理解、総合評価は昨年度との比較ではやや低くなっている。	前期と同様にパワーポイントでの説明が見やすく、わかりやすかったという感想があった。よくわかったというもの、難しかったというもの、両方の感想があった。	授業中、質問しやすい雰囲気をつくり、一部の学生に質問の機会が偏らないように配慮する。	0	0	1
介護の基本C (介護を必要とする人の理解)	植北康嗣	教員の姿勢や授業の内容については、すべてが4以上の高い評価を受けることができた。学生の授業取り組み姿勢は平均は上回っているものの集中しているとは至っていない。	授業中に使用した視覚教材に感動したという意見が多くあった。授業はレジュメや資料配布に加えて、積極的に板書する方が集中できるという意見もあった。	学生の授業満足度は比較的高く、一定の満足度は得られたと感じている。さらに、授業環境を整え集中できるものにしていきたい。	1	1	1

2012 年度前期「授業についてのアンケート」実施要領

2011 年度前期から新しい方式での授業についてのアンケート調査を実施しております。実施に際しましては、下記の手順に従ってご進行下さいますようお願い申し上げます。従来のマークシート方式は廃止し、主に携帯電話を利用し補足的にパソコンを使用するアンケート実施となります。実施時間の目安は 15 分です。

授業コードの確認

封筒の担当科目の授業コードをご確認下さい。同じ科目であっても、曜日と時限でコードが異なる場合があります。ご注意下さい。

* UNIPA で使用している7桁のコードを使用しておりますので、UNIPA の「授業関連 → 出欠管理」からも授業コードを確認することが可能です。

但し、後述の自由記述アンケートのために用意します封筒にも授業コードを表示しています。

授業コードの告知

正確を期するため授業コードを板書して下さい。(コードを間違えて告知した場合は、正しいコードで再実施し、コード入力ミスがあった旨を事務室までお申し出下さい。)

アンケートの実施

携帯電話を使用する場合

学生に携帯電話を用意させ、すでにブックマークしてある「授業についてのアンケート」のページを開かせ回答させて下さい。

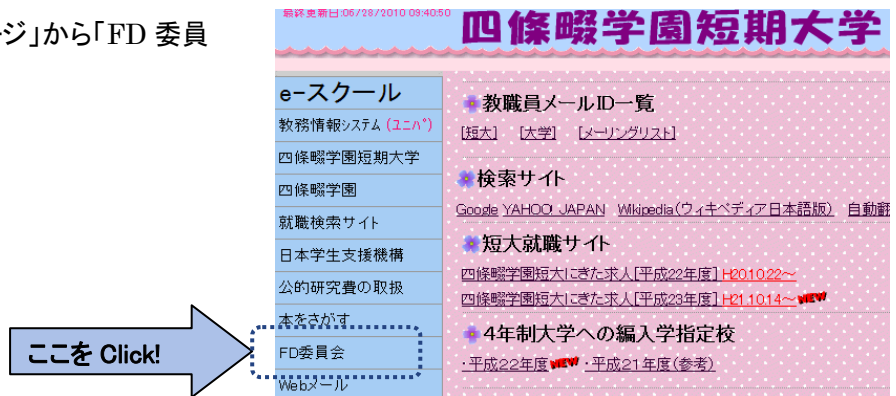
学生からの質問への対応

- 「ブックマークを消してしまった」
→ 「所定の自由記述用紙」(後述)に印字しています QR コードを読み取らせて下さい。
- 「携帯の電池が切れた」
→ 友だちの携帯を借りるようご指示下さい。

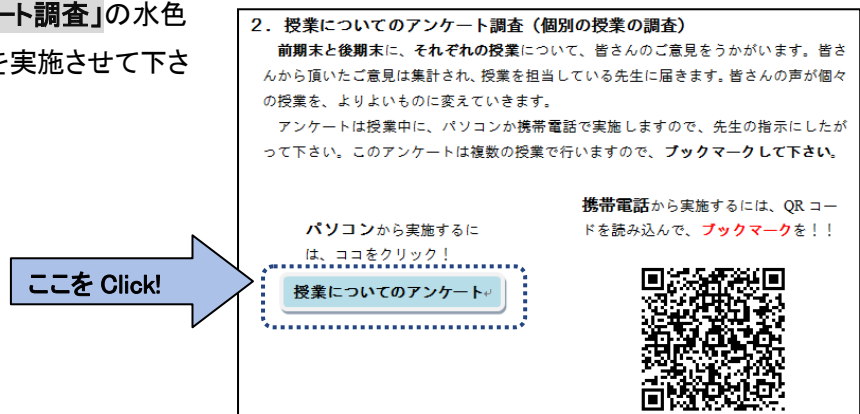
- 「ネット接続できない携帯なので、毎回は友だちに借りることができない」
 - 短大の学内リンクのページから FD 委員会のページに行き、授業についてのアンケートを実施するようご指示下さい。授業コードは、UNIPA の「時間割」のページなどから確認ができることも併せてお伝え下さい。
- 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

パソコンを使用して実施する場合（パソコン教室を使用する授業）

- ① 短期大学の「学内リンクのページ」から「FD 委員会」をクリックして下さい。



- ② 2つめの「授業についてのアンケート調査」の水色のボタンをクリックしてアンケートを実施させて下さい。



※1つめの「入学時動機調査」、3つめの「授業についての満足度調査」は今回対象外ですのでお間違いないようお願い致します。

学生からの質問への対応

- ◇ 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

自由記述式アンケートの実施

「所定の自由記述用紙」を学生に配布し、実施ください。下記のように、黒板やホワイトボード等に、学生に尋ねたいことを記載して頂いても結構です。

(例)

「授業で分かりにくかった部分は？」、「課題の内容と量は適切だったか？」

「学生の私語への注意は適切だったか？」、「興味をもった授業内容は？」

学生からのコメントはお持ち帰り頂き、授業改善に活用して下さい。

※ 後日「自己点検報告書」においてこの自由記述の内容についてもコメントを頂きます。

自己点検報告書の提出

後日、アンケートの集計結果をお届けします。このアンケート集計結果と自由記述式アンケートの内容を整理し、授業改善に活用頂くとともに、自己点検報告書として FD 委員会にご提出頂きます。

なお、自己点検報告書は、FD 委員会や学科で相互に検討を加える資料として使用する場合があります。またインターネット等で公開し、閲覧できるようにしております。

【自由記述用紙】この授業に対して、“こういうところに満足した”とか、“こういうところが不満であった”とか、“このようにして欲しかった”など、今後先生方が授業をされる上で、ご参考にして頂けるような皆さんの率直な意見を、できるだけ具体的に記述して下さい。

このアンケートに関する皆さんのプライバシーは完全に保護されます。

ご協力有難うございました。

- 授業アンケートに回答するには、携帯で右の QR コードを読み取り、アンケートサイトにアクセスして下さい。
(ブックマークに登録しておいて下さい！)
- パソコンで回答する場合は担当教員の指示に従ってアクセスして下さい。



「教員による自己点検報告書」—学生による授業アンケート調査結果を受けて—

ファイル名は「年度/〇期/担当者名」で保存して下さい。例:「2012前期四條花子」

※データが紛失した場合に備えてバックアップをお願いいたします。

※ワークシートは複数作らず、このシートにのみ記載して下さい。シート名を含め、シートの体裁を変えないで下さい。但し、行が足りない場合は下に追加して下さい。

例

※ご担当科目の自己点検報告をこの行より下にご入力下さい

年度	前期・後期	授業コード	科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
								授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
2012	前期	2200000	授業評価	四條花子	学生からは予想以上によい評価を頂いた。しかし授業内容の理解が学内平均を下回っており…	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。	授業の理解度が悪いと、内容を基礎的なものに変更し、理解度アップに努める…	1	1	1
2012	前期									
2012	前期									
2012	前期									

授業評価報告書 2012

—よりよい授業への改善を目指して—

©2013 年 10 月発行

編集 四條畷学園短期大学 FD 委員会
FD 委員長 奥田 純
FD 委員 仁平章子 石川 肇 鍛冶谷 静 北村瑞穂

発行 四條畷学園短期大学
〒574-0001
大阪府大東市学園町 6-45
Tel : 072-876-1321